令和５年度事業年報

すこやかな笑顔を守りたい

やさしさあふれる想いが届く健康づくりの輪を目指して

公益財団法人
福井県予防医学協会

〒918－8238
福井県福井市和田２丁目 1006 番地
TEL（0776）23-4810　FAX（0776）23-4876
E-mail　info@fukui-yobou.or.jp
URL　https://www.fukui-yobou.or.jp

公益財団法人　福井県予防医学協会

第 49 号　令和 5 年度事業活動報告

発刊にあたり　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

協会案内・事業概要・報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

検査・検診事業の集計
産　業　保　健　編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　定期健康診断　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　特定健康診査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
　特定保健指導　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　41
　人 間 ド ッ ク　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44
　特殊健康診断　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46

学　校　保　健　編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　53
　寄 生 虫 検 査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　54
　蟯　虫　検　査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　56
　尿　　検　　査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58
　心 電 図 検 査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60
　貧　血　検　査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　62

地　域　保　健　編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　64
　住民の健康診査等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　65

が　ん　検　診　編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　67
　胃 が ん 検 診　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　68
　肺 が ん 検 診　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　70
　大腸がん検診　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　72
　乳 が ん 検 診　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　74
　子宮がん検診　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　76

発 刊 に あ た り

平素より公益財団法人 福井県予防医学協会の事業運営につきましては、格別のご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

令和５年度の事業実施状況につきましては、職域健診で受診者数は前年比 109%でした。学校保健では、糞便検査や蟯虫検査を行っているのはごく少数になっております。さらに少子化などの影響で尿検査については前年比 97%、貧血検査は前年比 98%、心電図検査は前年比 99%でした。地域保健では各市町の住民を対象にしており、令和５年度では前年比 85%でした。がん検診については、胃がん検診は前年比 100%、肺がん検診は前年比 100%、大腸がん検診は前年比 103%、乳がん検診は前年比 107%、子宮がん検診は前年比 113%でした。がん検診については女性のがん検診について、受診率向上の傾向が見られます。当協会では緊急に精密検査が必要な方に連絡を行い、さらなるがんの早期発見に努めて参ります。

少子高齢化が叫ばれる昨今、当協会も巡回健診・施設内健診・人間ドックを積極的に展開し、がん検診・学校保健・さらに各地区で開催する集合健診を充実し、小規模事業所等を受け入れ、より精度の高い健診を実施して参ります。

この度、令和５年度に実施致しました各種健診・検査の実績を取りまとめた事業年報を発刊することができました。ご高覧の上、当協会の事業活動へのご理解を深めて頂ければ幸いに存じます。

今後とも、県をはじめ地域との緊密な連携のもと、協会全職員が一丸となって福井県民から必要不可欠とされる存在となるよう、法令を遵守しながら努力していく所存です。なお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和７年９月吉日

公益財団法人　福井県予防医学協会

理事長　嶋﨑　元博

基本理念

心と体の健康づくり

私たちは、社会の人々の健康保持増進と、より付加価値の高い予防医学体系の構築を図ります。

基本方針

1.社会貢献

私たちは、公益財団法人として、公益性を重視し地域社会の健全な発展に寄与します。

2.健診サービスの品質向上

私たちは、常に高い技術と最新知識の習得に努め、精度の高い健診・検査を行います。

3.顧客満足の向上に努める

私たちは、安全・安心で信頼される健診・検査を行い、迅速で正確な結果を提供します。

4.リスクマネジメント

私たちは、関連法令を遵守するとともに、個人情報を適正に管理します。

5.職員意識

私たちは、働きやすく、働きがいのある職場づくりに取り組み、職員の福祉を充実すると共に、人材育成に努めます。

6.環境保全

私たちは、医療廃棄物を適正に取扱い、省エネルギー、リサイクル促進に努めます。

平成 29 年 6 月 20 日
公益財団法人　福井県予防医学協会
理事長　嶋﨑　元博

【CSR の考え方】

「企業のモラルとは、企業の存在意義とは何であるのか。」という社会的な問題提起に対し、個人のみならず法人（企業）を取り巻く環境の激変に合わせ、様々な議論がなされているように伺えます。学説にも法人擬制説と法人実在説という対照的立場があるように、解釈は繊細で非常に難しいと言えます。その意味で、尽きることのない議論なのかもしれません。しかし、「利益の追求のみを企業の最終目的としてよいのか。」という視点から企業の存在意義を考えるならば、後者の法人実在説という立場に立ち、企業と社会の関係について、今一度考える機会を企業人一人ひとりが持つべきではないかと考えます。企業が、その内外の社会関係において、果たすべき役割と責任の重要性を認識し事業を遂行していくことにこそ、「企業のモラル(企業倫理)」と「企業の存在意義」があるのではないでしょうか。

民間非営利部門をして日本の社会経済システムの中でその活動の健全な発展を促進させるために、平成 20 年 12 月より施行された「公益法人制度改革」においても、CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)を問う社会的な背景の下で行われた改革の一つであったのではないでしょうか。“公益財団法人”として公益目的事業の履行・拡充に努める私たちは、そう感ぜずにはいれません。当法人は、“公益法人”として、その社会的役割と責務の重要性を真摯に受けとめ、開設時以来、予防医学事業を通じ、社会の公益（公衆衛生と福祉）の増進に寄与してきました。疾病の予防のみならず、「大切なのは心とからだのバランス」をスローガンに、心身両面の健康保持増進を図るべく“健康づくりの輪”を広げる活動をしてきました。“公益財団法人”となった今、「福井県民の健康の保持増進の向上を図るため、健康であることの大切さと尊さを広く呼び掛け、疾病の予防に繋がる健康づくりの普及啓発と健診・検診・検査・保健指導事業を実施し、公衆衛生と福祉の増進に寄与する事業」を通して社会に貢献することが、当法人の CSR であると位置づけ、下記に CSR の理念、基本方針及び推進体制を定めます。私たちは、それを誠実に遵守し、果たすべき社会的責任の遂行と、さらなる社会からの信頼の構築に努めていきたいと考えています。

【CSR の理念】

私たち、公益財団法人　福井県予防医学協会は、「大切なのは心とからだのバランス」をスローガンに、「社会の人々の健康保持増進と、より付加価値の高い予防医学体系の構築」を経営理念としています。その経営理念に基づき、産業保健、地域保健、学校保健を大きな３つの柱とし、日々事業を展開しております。予防医学という科学的立場から、社会の人々がいつまでも健康で安心して生活を営むことができるよう、お客様の目線に立って、微力ではございますが、お手伝いさせていただいております。

私たちは、これまで当協会の予防医学事業の根幹とし、目的としてきた「社会の人々の健康保持増進と、より付加価値の高い予防医学体系の構築」を経営理念を、当協会の CSR の理念とし、今後も果たすべき社会的責任の遂行に努める所存です。お客様一人ひとりが主体となって健康の大切さを認識していただくことが、私たち、公益財団法人　福井県予防医学協会の社会的存在意義であると認識し、今後も予防医学事業を展開していきたいと考えております。

【CSR の基本方針】

1. 現状に満足することなく、変遷する健診の社会的需要に応えるため、健診サービスの品質向上、精度管理に努める。
2. お客様ひとりひとりが主体となって健康の大切さを自覚していただくことが、我々の社会的存在意義であることを認識し、お客様にとってより付加価値の高い予防医学体系の構築に尽力し、顧客満足度の向上に努める。
3. 個人情報の保護対策、リスクマネジメントの実施により、情報の「機密性」「完全性」「可用性」※1 に留意したセキュリティの向上と、受診者のプライバシー保護の徹底を図る。
4. 事業運営に当っては、法令及び全衛連業務実践綱領を遵守し、公益性を重視した公正かつ合理的なものとする。
5. 職員の福祉の充実を図るとともに、個人の能力を最大限に発揮できるよう、時代に則した人材育成に努める。
6. 廃棄物処理を適正に行い、地球環境の保全に努める。

※1 機密性･･･アクセスを認可された者だけが、情報にアクセスできることの確実性
完全性･･･情報及び処理方法の正確性と完全性の保護
可用性･･･認可された利用者の情報及び関連する資産へのアクセスの確実性

【CSR の推進体制】

役員をはじめ、課長会、各種委員会(新規事業対策委員会，顧客対応・リスク管理委員会，コスト削減委員会，労働安全衛生委員会，システム委員会)を中心に、CSR の推進に努める。また、掲示板への掲示や各課課長を通した、全職員への周知徹底を図る。

理事長　嶋﨑　元博

発行日　平成 18 年９月 11 日

最新改定日　平成 25 年４月１日

［個人情報保護方針］

公益財団法人　福井県予防医学協会は、信頼の健康診断に向けてお客様に良い健康診断を受けていただけるよう日々努力を重ねています。「お客様の個人情報」につきましても、適切に保護し管理することが非常に重要であると考えています。そのために公益財団法人　福井県予防医学協会では確実に以下の事項の履行に務めます。

（1）個人情報の収集について

公益財団法人　福井県予防医学協会がお客様の個人情報を収集する場合、診察・看護・検査及びお客様の医療にかかわる範囲で行います。

（2）個人情報の利用及び提供について

公益財団法人　福井県予防医学協会は、お客様の個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて使用いたしません。またそのために必要な措置を講じます。

・お客様の了解を得た場合
・法令等により提供を要求された場合

公益財団法人　福井県予防医学協会は、法令を定める場合等を除き、お客様の許可なくその情報を第３者〔1〕に提供いたしません。

（3）個人情報の適正管理について

公益財団法人　福井県予防医学協会は、お客様の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、お客様の個人情報の漏洩、紛失、破壊、改竄又はお客様の個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

（4）個人情報の確認の修正等について

公益財団法人　福井県予防医学協会は、お客様の個人情報についてお客様が開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、公益財団法人　福井県予防医学協会の「診察情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合、調整し適切に対応いたします。

（5）法令の遵守と個人情報保護マネジメントシステムの仕組みの改善

公益財団法人　福井県予防医学協会は、個人情報の保護に関する日本の法令、国が定める指針その他の規範を遵守するとともに、上記各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護マネジメントシステムの仕組みの継続的な改善を図ります。

２００５年３月１日
公益財団法人　福井県予防医学協会
理事長　嶋﨑　元博
最新改定日　２０１７年９月１日

〔1〕第３者とは、情報主体及び受診者（事業者）以外をいい、本来の利用目的に該当しない、または情報主体によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体又は個人をさす。

※この方針は、お客様のみならず、公益財団法人　福井県予防医学協会の職員及び当協会と関係のあるすべての個人情報についても、上記と同様に取り扱います。

■問い合わせの窓口

公益財団法人　福井県予防医学協会の個人情報保護方針に関してのご質問や、お客様の個人情報に関する苦情、お問合せは以下の窓口でお受け致します。

「お問合せ窓口」担当総務部
E-mail　info@fukui-yobou.or.jp
電話番号　0776-23-4810
ＦＡＸ　　0776-23-4876

公益財団法人　福井県予防医学協会沿革

昭和33年	3月	31日	社団法人　福井県寄生虫予防協会を設立、事務所を豊島町に置く。
昭和40年	9月	7日	財団法人　日本寄生虫予防会福井県支部になる。
昭和42年	4月		血液型判定、便潜血反応検査業務を開始。
昭和44年	4月		尿検査、貧血検査業務を開始。
昭和45年	11月	8日	社団法人　福井県寄生虫予防協会を解散。
	11月	9日	寄生虫予防協会を吸収し、財団法人　福井県予防医学協会を設立。
昭和46年	5月	27日	財団法人　予防医学事業中央会福井県支部になる。
昭和47年	12月	27日	現在地に集団検査センターを建設し、事務所移転。
昭和48年	4月		心電図検査、腸内細菌検査業務を開始。
	7月	26日	福井県より衛生検査所「福井第1号」を受ける。
	9月	19日	福井県より附属診療所設置許可を受け、設置。
昭和49年	6月	28日	職域における健康診断業務を開始。
昭和50年	4月		検査・検診の事務処理にコンピュター方式を導入。
昭和51年	4月		有機溶剤、鉛、じん肺等の特殊健康診断業務を開始。
	11月		振動障害検診を開始。
昭和52年	4月		福井・大野・勝山・鯖江保健所管内17市町村の学童、住民(福井市を除く)の胸部Ｘ線間接撮影業務を開始。
昭和53年	4月		金津･敦賀･小浜保健所管内14市町村の学童､住民の胸部Ｘ線間接撮影業務を開始。
	11月	5日	全国労働衛生団体連合会の会員になる。
昭和55年	2月	14日	集団検診センターを増築。
	4月		武生保健所管内4市町村の学童、住民の胸部Ｘ線間接撮影業務を開始。
昭和56年	8月		昭和56年度予防医学事業推進全国大会を開催。
	10月		人間ドック業務を開始。
昭和57年	4月		保健相談事業を開始。
昭和58年	4月		老人保健法に基づく市町村の健康診断業務を開始。
	11月	24日	集団検査センターを増築。
平成1年	2月		第23回予防医学技術研修会を開催。
平成2年	6月	15日	中央労働災害防止協会より労働者健康保持増進サービス機関の認定を受けた健康測定事業を開始。
平成5年	3月		骨粗鬆症検診を開始。
平成8年	9月		病原性大腸菌0－157等の検査を開始。
平成9年	6月		施設内での婦人科検診を開始。
	7月		ＣＴスキャン導入、脳・胸部ＣＴ検査を開始。
平成12年	9月		本館増築工事完了、診療所拡充。
	10月		施設内での胃カメラによる消化器検診を開始。
平成13年	10月		超音波装置における心エコー、頸部エコー検査を開始。

平成13年	10月		労災二次健診等給付医療機関指定を受ける。
平成15年	5月		大腸内視鏡検査を開始。
平成17年	3月		政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施医療機関の認定を受ける。
	11月	15日	プライバシーマーク付与認定。
平成18年	2月		第40回予防医学技術研修会を開催。
	3月	24日	日本総合健診医学会優良総合健診施設認定。
平成19年	6月	1日	労働衛生サービス機能評価機構（健康診断機関・ＴＨＰサービス機関）良評価認定。
平成20年	4月		特定健康診査・特定保健指導事業を開始。
平成22年	2月	25日	乳房Ｘ線マンモグラフィ健診設備 施設内新設。
	11月		創立40周年記念式典の開催。
平成25年	4月	1日	公益財団法人の認定を受け、公益財団法人　福井県予防医学協会へ移行。
	10月		第58回 予防医学事業推進全国大会の開催。
平成27年	4月	1日	新ドック棟を増設
平成29年	4月		新健診システム稼働
平成31年	3月	8日	予防医学事業中央会　医師協議会の開催
令和 2年	11月		創立50周年
令和 6年	9月		検診車新車庫完成
令和 7年	2月		全国業務研修会開催

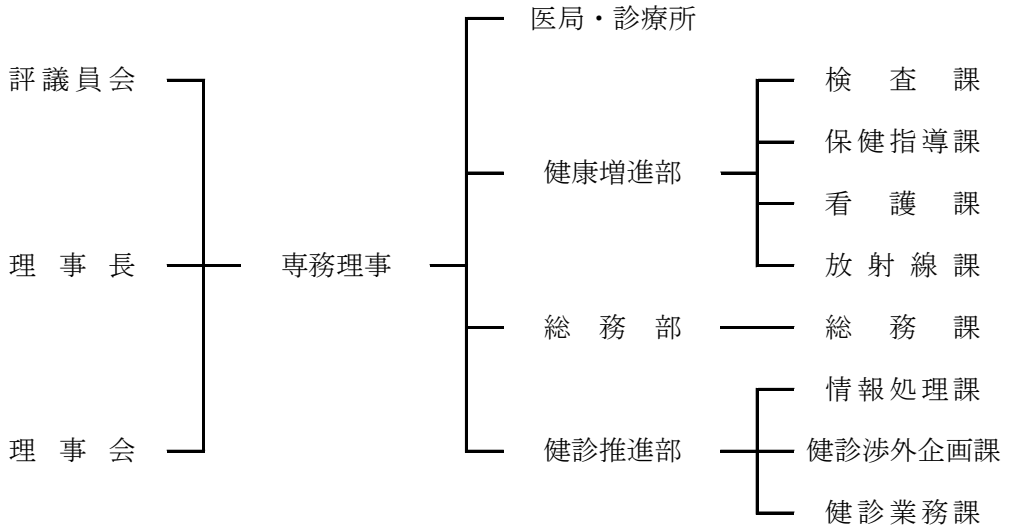
公益財団法人　福井県予防医学協会役員

（順不同：令和５年４月１日現在）

理事長	嶋　﨑　元　博	協会常勤
専務理事	上　坂　通　子	協会常勤（事務局長･総務部長）
常務理事	山　道　　昇	診療所長
評議員	大　橋　博　和	福井循環器病院理事長
〃	吉　川　久　則	木村病院常務理事
〃	長谷川　芳　博	林病院事務長
〃	宇賀治　智　世	佐々木会計事務所税理士
〃	大　嶋　勇　成	福井大学医学部附属病院院長
理事	山　形　章　夫	健診センター長
〃	勝　見　秀　樹	(株)土蔵労働コンサルタント事務所代表取締役
〃	山　口　明　夫	福井医療大学学長
〃	岡　田　正二郎	福井市歯科医師会会長
監事	湯　川　勢津子	合同社会保険労務士事務所代表
〃	小　寺　英　樹	(公財)福井県下水道管路管理業協会元事務局長

公益財団法人　福井県予防医学協会組織図

（令和５年４月１日現在）



健康診断機関としての認定・登録・指定

公益財団法人予防医学事業中央会福井県支部
中央労働災害防止協会福井県地区健診班
労働衛生サービス機能評価認定機構
健康保持増進サービス機関
登録衛生検査所(福井　第一号)
プライバシーマーク取得機関
労災保険二次健診等給付医療機関
公益社団法人全国労働衛生団体連合会会員
全国健康保険協会生活習慣病予防健診指定機関
日本総合健診医学会優良総合健診施設認定機関
THP サービス機関名簿登載機関(中災防)

産　業　保　健

労働契約法には「使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働をすることができるよう、必要な配慮をするものとする」と、労働安全衛生法によって、従業員に対する安全配慮義務を定めています。

この安全配慮義務には、従業員の健康診断及びその事後指導も含まれており、定期健康診断結果報告書を労働基準監督署に提出しなければならないことになっております。

こうした義務を果たさずに労災が起きてしまった場合、企業は労働基準監督署から指導・是正命令を受けたり、裁判で多大な責任を問われてしまうこともあります。

しかし、「産業保健」が企業発展の基盤となります。

企業における産業保健部門や産業保健活動を、新たな付加価値の創造や生産性向上に直結する、将来に向けた重要な投資として位置づけ、積極的に産業保健に取り組むべきと考えております。

【定期健康診断】

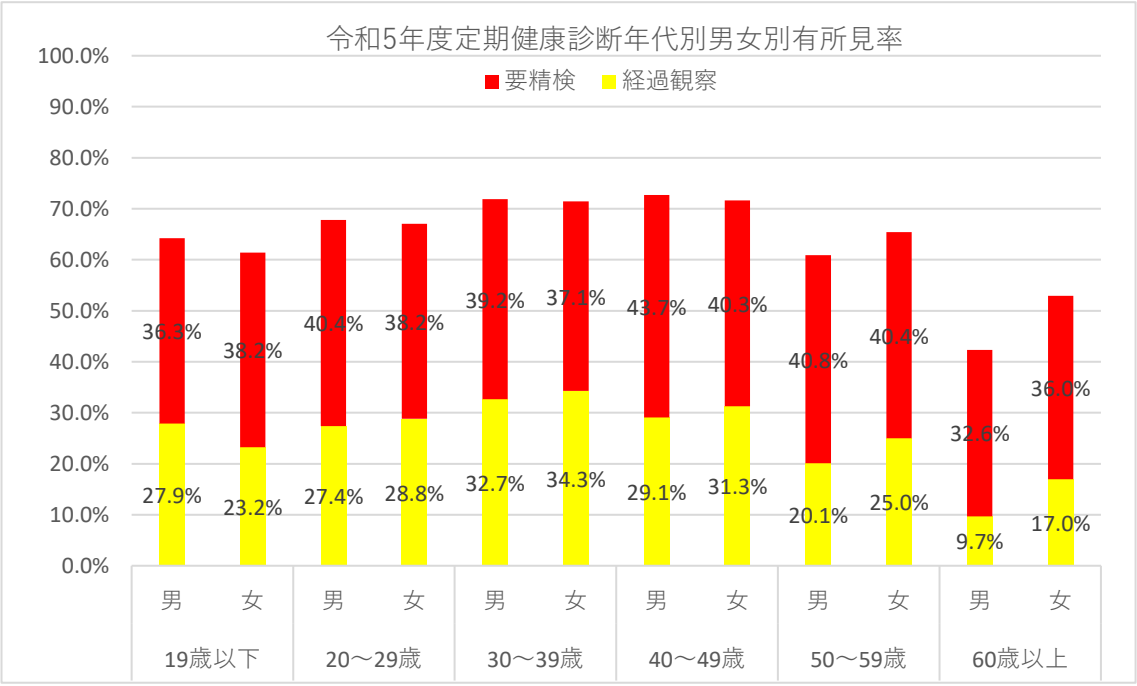
企業は、労働安全衛生法に基づき、労働者に対して、健康診断を実施しなければなりません。この義務に違反した企業は、ペナルティが課せられます。また、労働者は、企業が行う健康診断を受診しなければなりません。

当予防医学協会では、定期健康診断をお客様のニーズに応えるよう、事業所様への出張健診、協会内での施設内健診、各市町の会場をお借りし、周辺の事業所様にお集まりいただく集合健診にて実施させて頂いております。

令和５年度の年代別男女別有所見率は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別定期健康診断結果

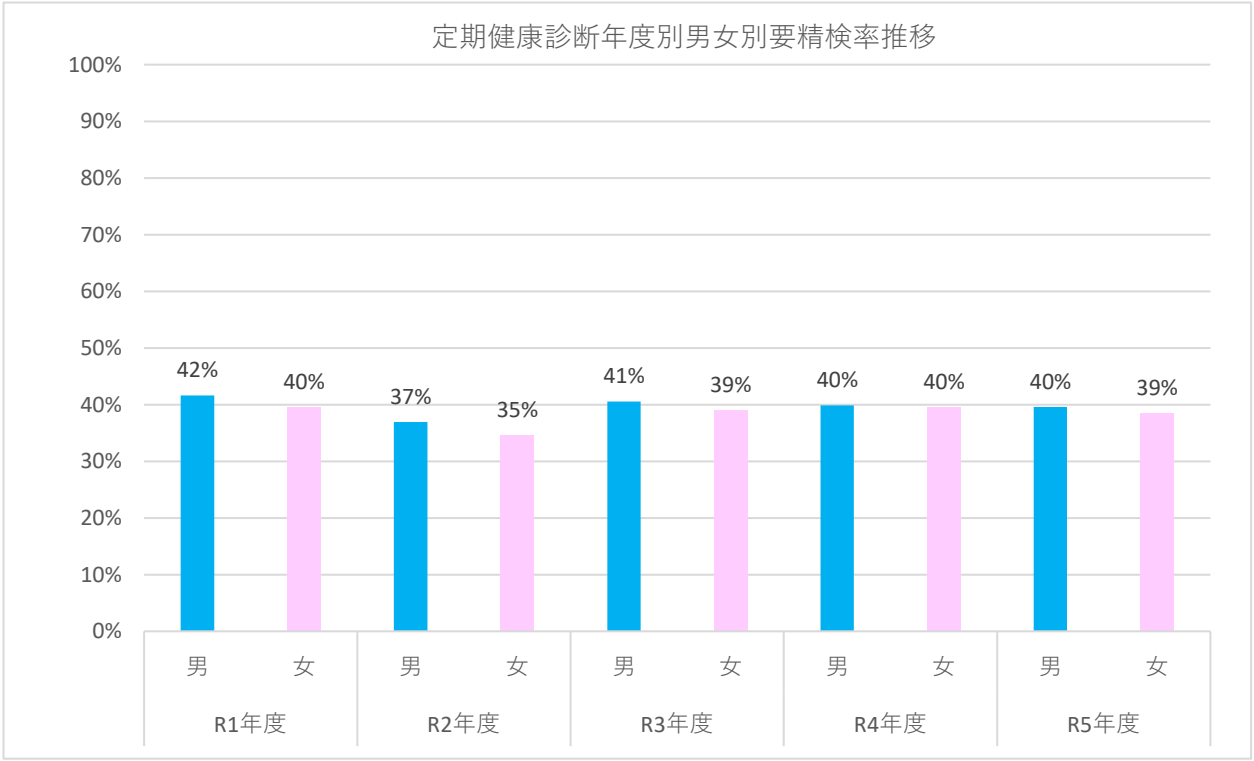
区分	性別	受診者数	有所見者			
			経過観察		要精検	
			数	率	数	率
19歳以下	男	1,420	396	27.9%	516	36.3%
	女	883	205	23.2%	337	38.2%
	計	2,303	601	26.1%	853	37.0%
20～29歳	男	12,438	3,404	27.4%	5,030	40.4%
	女	8,640	2,488	28.8%	3,303	38.2%
	計	21,078	5,892	28.0%	8,333	39.5%
30～39歳	男	14,193	4,635	32.7%	5,565	39.2%
	女	7,853	2,692	34.3%	2,916	37.1%
	計	22,046	7,327	33.2%	8,481	38.5%
40～49歳	男	14,713	4,276	29.1%	6,424	43.7%
	女	9,025	2,823	31.3%	3,641	40.3%
	計	23,738	7,099	29.9%	10,065	42.4%
50～59歳	男	13,490	2,712	20.1%	5,499	40.8%
	女	9,169	2,291	25.0%	3,708	40.4%
	計	22,659	5,003	22.1%	9,207	40.6%
60歳以上	男	10,868	1,054	9.7%	3,547	32.6%
	女	7,527	1,276	17.0%	2,710	36.0%
	計	18,395	2,330	12.7%	6,257	34.0%
合　計	男	67,122	16,477	24.5%	26,581	39.6%
	女	43,097	11,775	27.3%	16,615	38.6%
	計	110,219	28,252	25.6%	43,196	39.2%



過去５年間の受診者数、要精検者の推移は以下の通りです。

定期健康診断結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	要精検	
			数	率
R1年度	男	63,749	26,548	42%
	女	40,620	16,085	40%
	計	104,369	42,633	41%
R2年度	男	74,589	27,534	37%
	女	48,722	16,889	35%
	計	123,311	44,423	36%
R3年度	男	66,828	27,101	41%
	女	41,917	16,358	39%
	計	108,745	43,459	40%
R4年度	男	62,072	24,731	40%
	女	38,767	15,320	40%
	計	100,839	40,051	40%
R5年度	男	67,122	26,581	40%
	女	43,097	16,615	39%
	計	110,219	43,196	39%



【特定健康診査】

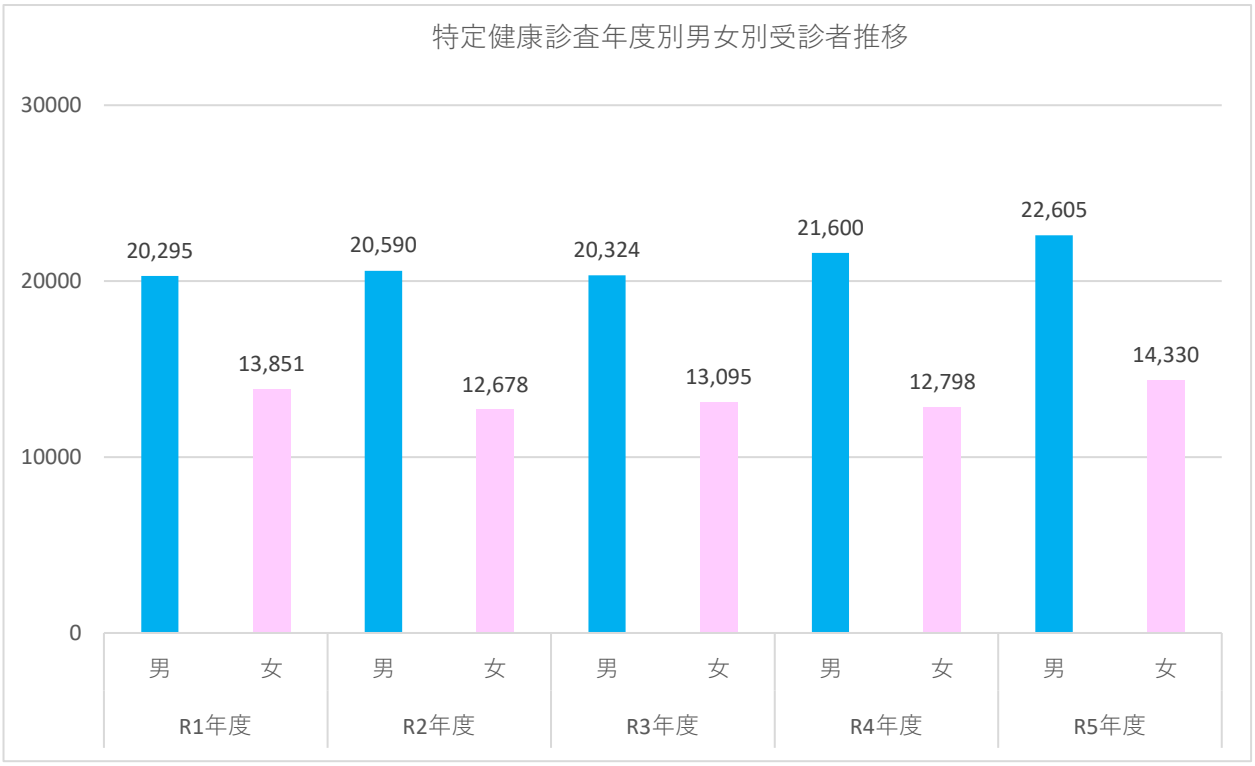
特定健康診査は、40 歳～74 歳の医療保険加入者を対象とした健康診断となっております。
内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうち２つ以上が合併した状態をメタボリックシンドロームといい、心臓血管系の疾患の要因と考えられております。

特定健康診査は糖尿病や脂質異常症、高血圧などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的としており、メタボリックシンドローム判定を行い、特定保健指導対象者を抽出するために実施しております。

過去５年の受診者数推移は以下の通りです。

特定健康診査受診者数の年次推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	20,295	20,590	20,324	21,600	22,605
女	13,851	12,678	13,095	12,798	14,330
計	34,146	33,268	33,419	34,398	36,935



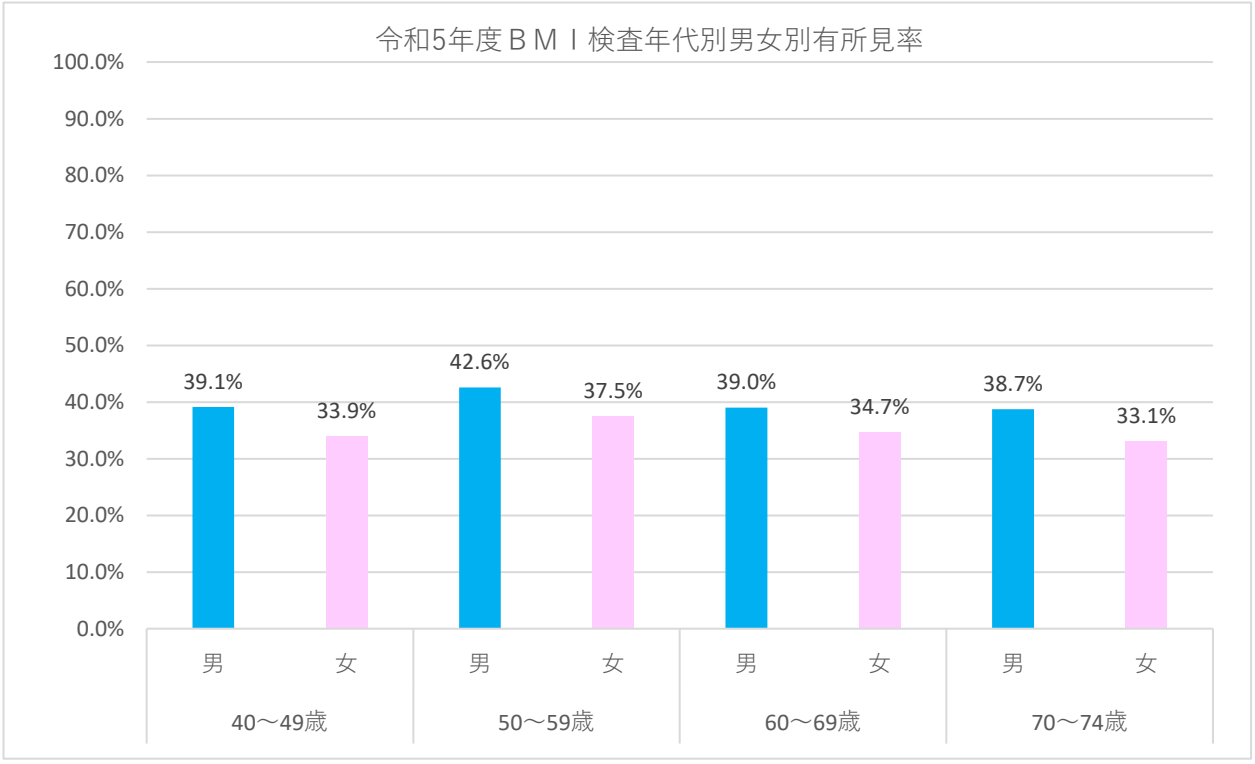
≪ＢＭＩ検査≫

ＢＭＩとは肥満度を表す数値として、体重kg÷（身長m×身長m）で計算された値で求められます。ＢＭＩ値「25」以上が肥満（有所見）と判定されます。疾病率が最も少ない理想的なＢＭＩ値は「22」と言われています。

令和５年度の年代別のＢＭＩ有所見率は以下の通りです。

令和5年度BMI検査結果

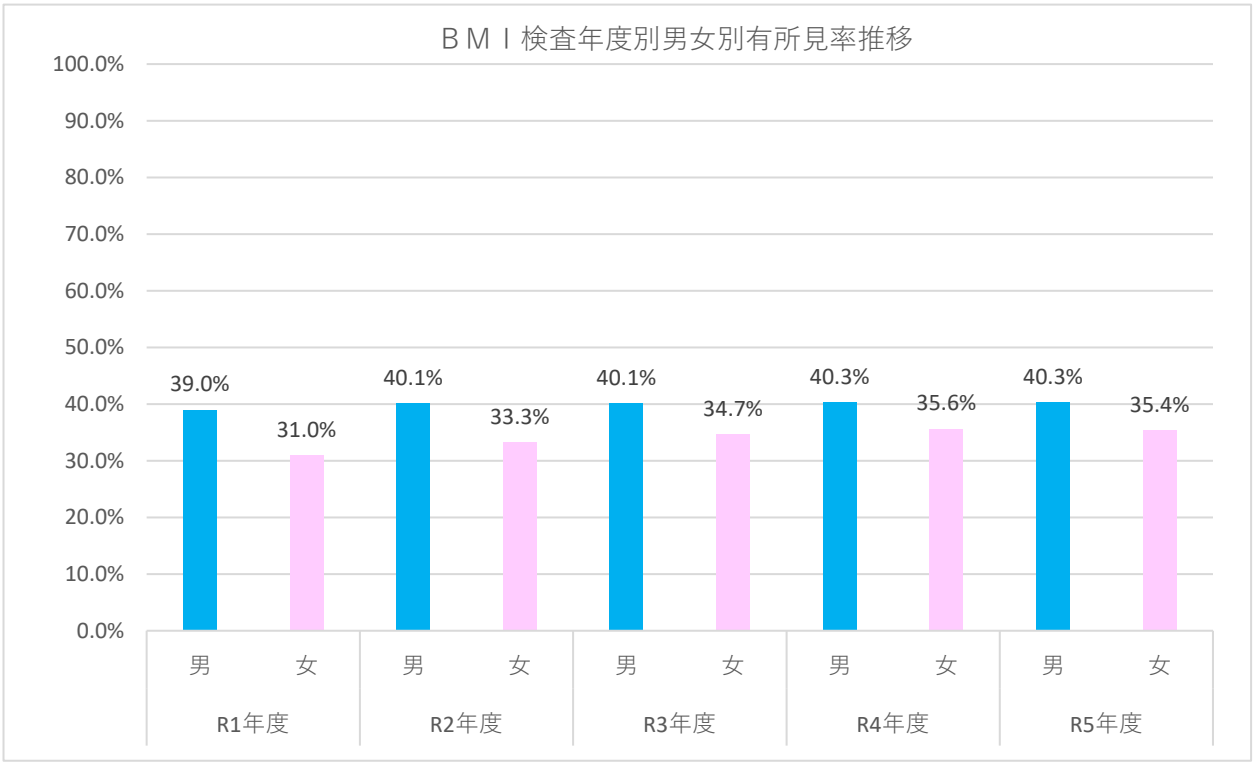
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	3,487	39.1%
	女	5,044	1,711	33.9%
	計	13,962	5,198	37.2%
50～59歳	男	8,084	3,440	42.6%
	女	5,267	1,974	37.5%
	計	13,351	5,414	40.6%
60～69歳	男	4,449	1,735	39.0%
	女	3,294	1,143	34.7%
	計	7,743	2,878	37.2%
70～74歳	男	1,154	447	38.7%
	女	725	240	33.1%
	計	1,879	687	36.6%
合　計	男	22,605	9,109	40.3%
	女	14,330	5,068	35.4%
	計	36,935	14,177	38.4%



過去５年間のＢＭＩ有所見者数の推移は以下の通りです。

BMI検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,295	7,914	39.0%
	女	13,851	4,299	31.0%
	計	34,146	12,213	35.8%
R2年度	男	20,590	8,253	40.1%
	女	12,678	4,219	33.3%
	計	33,268	12,472	37.5%
R3年度	男	20,324	8,154	40.1%
	女	13,095	4,547	34.7%
	計	33,419	12,701	38.0%
R4年度	男	21,600	8,713	40.3%
	女	12,798	4,561	35.6%
	計	34,398	13,274	38.6%
R5年度	男	22,605	9,109	40.3%
	女	14,330	5,068	35.4%
	計	36,935	14,177	38.4%



≪腹囲測定≫

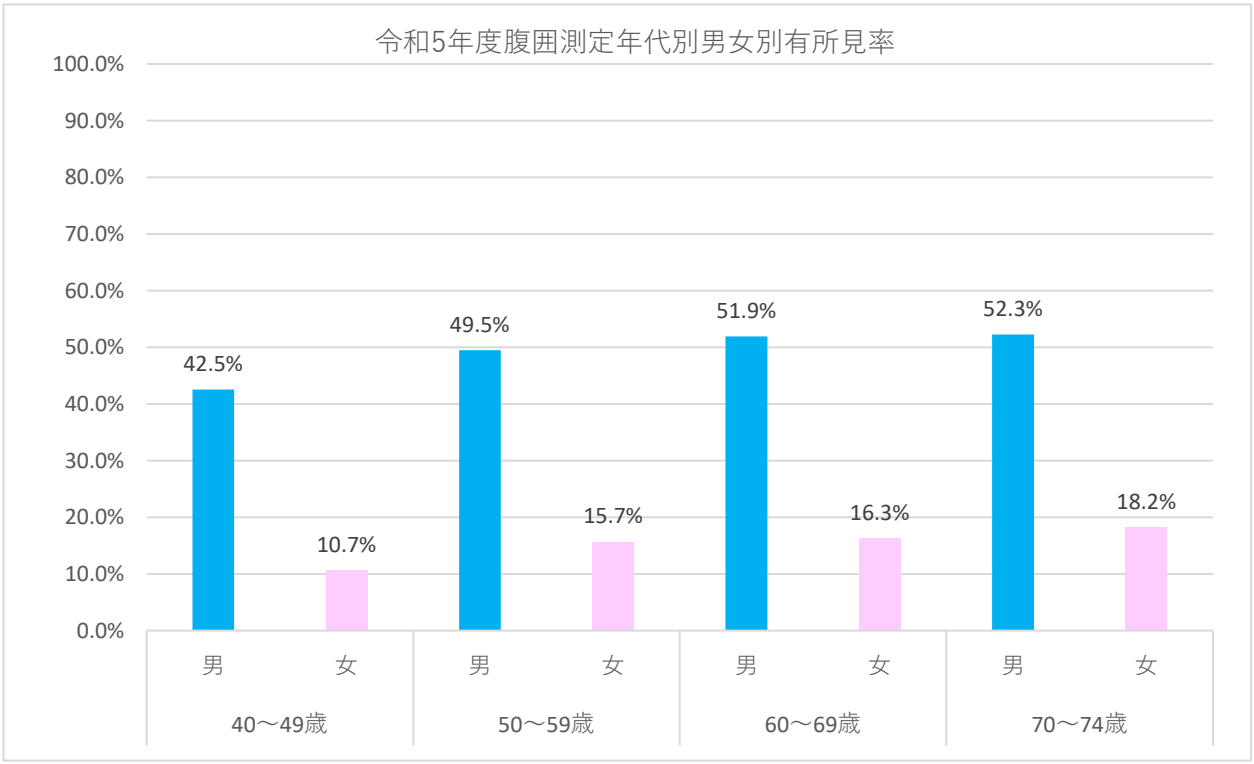
立った状態で軽く息を吐き、おへその高さで水平に測定します。男性は 85 ㎝以上、女性は 90 ㎝以上で有所見と判定されます。

腹囲はメタボリックシンドロームの基準の第一条件とされています。基準を上回った場合は内臓脂肪の蓄積が予想され高血圧、脂質異常、糖尿病などの動脈硬化を進行させるリスクを高めると言われています。

令和５年度の腹囲測定有所見率は以下の通りです。

令和5年度腹囲測定結果

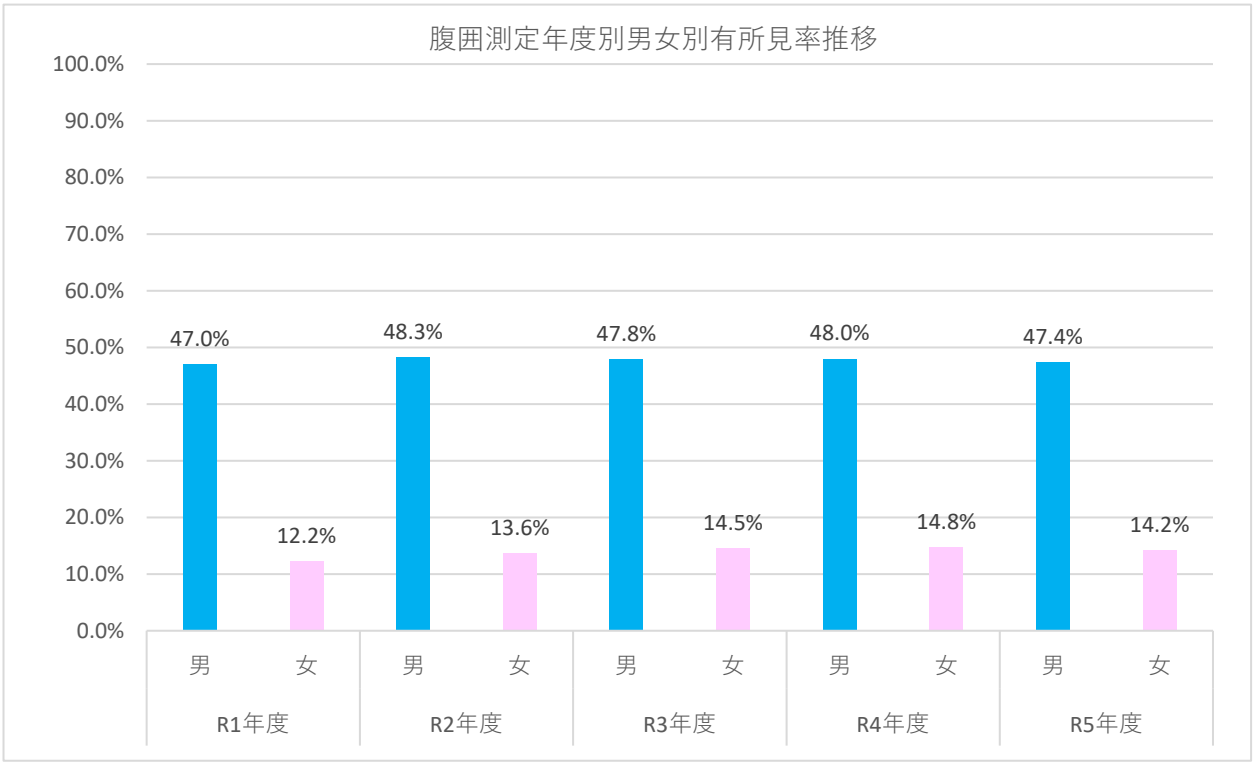
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	3,794	42.5%
	女	5,044	539	10.7%
	計	13,962	4,333	31.0%
50～59歳	男	8,084	4,001	49.5%
	女	5,267	826	15.7%
	計	13,351	4,827	36.2%
60～69歳	男	4,449	2,309	51.9%
	女	3,294	536	16.3%
	計	7,743	2,845	36.7%
70～74歳	男	1,154	603	52.3%
	女	725	132	18.2%
	計	1,879	735	39.1%
合　計	男	22,605	10,707	47.4%
	女	14,330	2,033	14.2%
	計	36,935	12,740	34.5%



過去５年間の腹囲有所見者数の推移となっております。

腹囲測定結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,295	9,545	47.0%
	女	13,851	1,690	12.2%
	計	34,146	11,235	32.9%
R2年度	男	20,590	9,952	48.3%
	女	12,678	1,728	13.6%
	計	33,268	11,680	35.1%
R3年度	男	20,324	9,722	47.8%
	女	13,095	1,901	14.5%
	計	33,419	11,623	34.8%
R4年度	男	21,600	10,366	48.0%
	女	12,798	1,892	14.8%
	計	34,398	12,258	35.6%
R5年度	男	22,605	10,707	47.4%
	女	14,330	2,033	14.2%
	計	36,935	12,740	34.5%



≪血圧検査≫

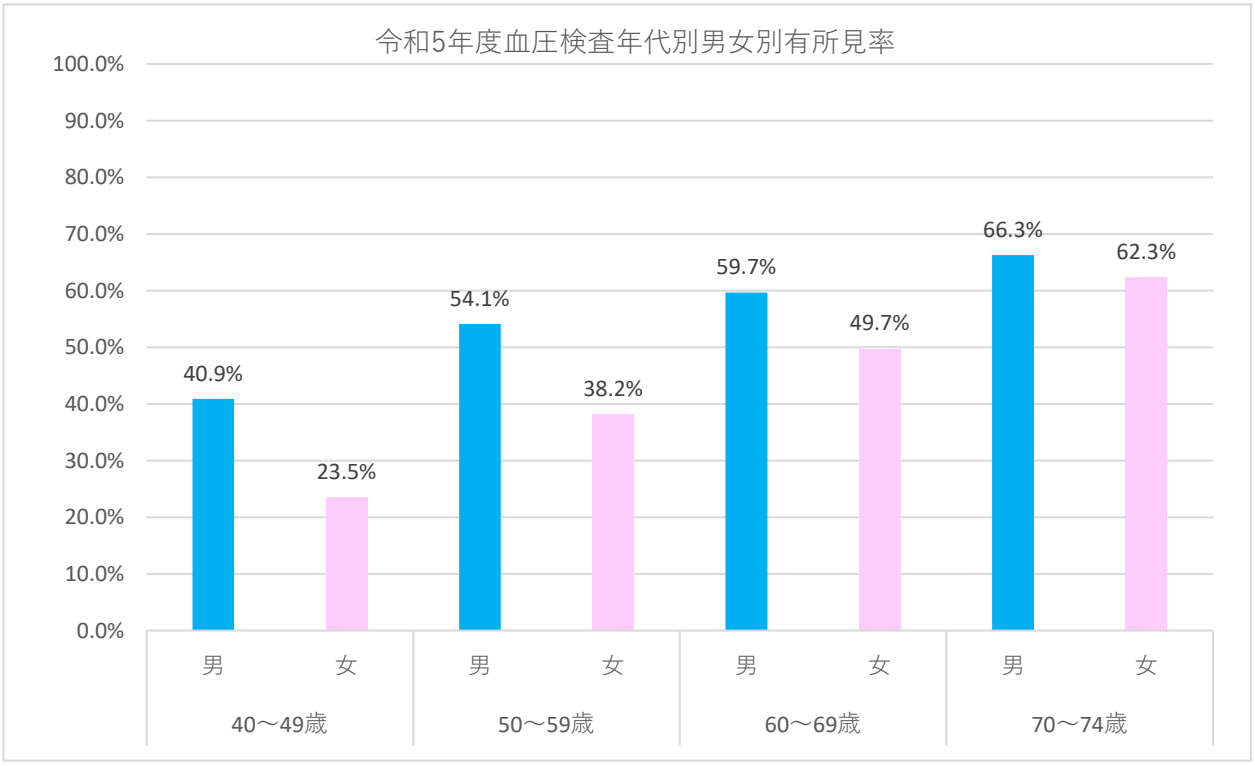
安静時に、心臓から送り出される血液が動脈にかける圧力（血圧）を測定します。心臓から血液が送り出されるときの収縮期血圧（最高血圧）、血液の排出が止まった時の拡張期血圧（最低血圧）として測定しています。

最高血圧、最低血圧のどちらが高くても高血圧といいます。いつも血圧の高い状態が続くと脳や心臓などの血管が傷み、血管が硬くなってきます。

令和５年度の血圧検査有所見率は以下の通りです。

令和5年度血圧検査結果

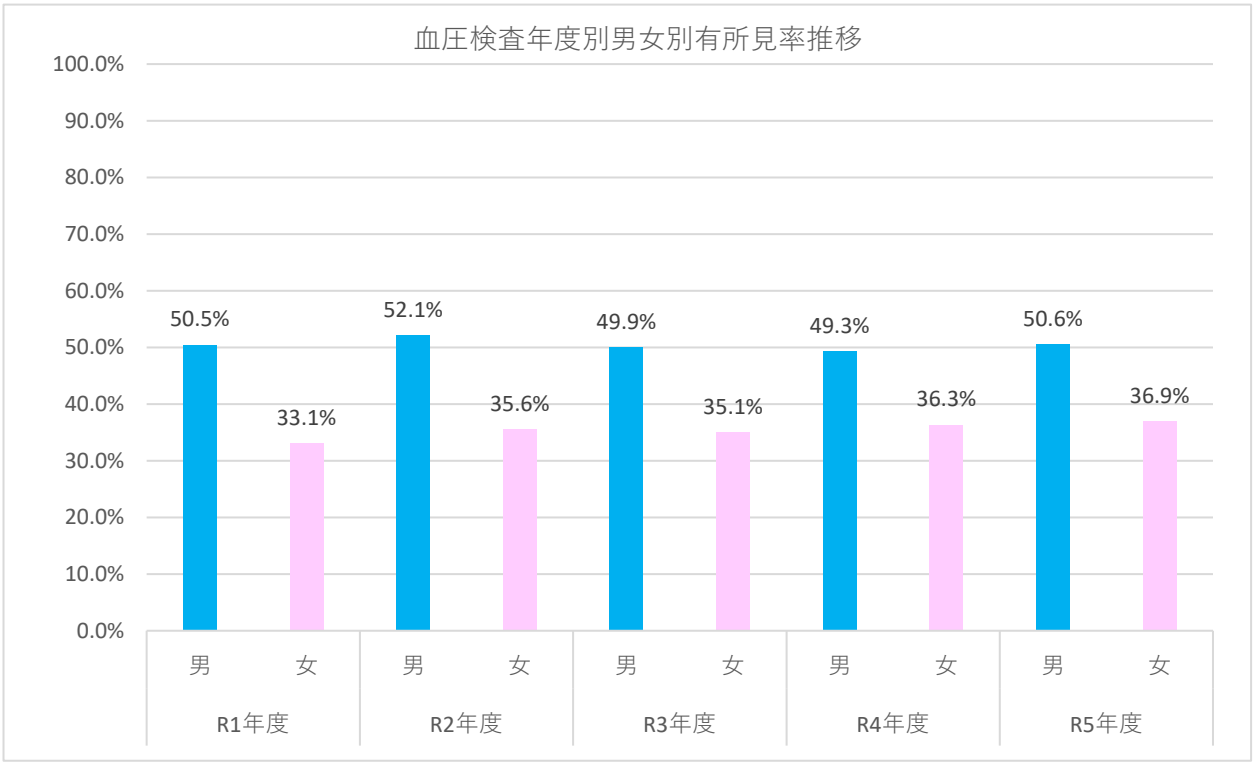
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	3,647	40.9%
	女	5,044	1,186	23.5%
	計	13,962	4,833	34.6%
50～59歳	男	8,084	4,373	54.1%
	女	5,267	2,013	38.2%
	計	13,351	6,386	47.8%
60～69歳	男	4,449	2,654	59.7%
	女	3,294	1,638	49.7%
	計	7,743	4,292	55.4%
70～74歳	男	1,154	765	66.3%
	女	725	452	62.3%
	計	1,879	1,217	64.8%
合　計	男	22,605	11,439	50.6%
	女	14,330	5,289	36.9%
	計	36,935	16,728	45.3%



過去５年間の血圧検査有所見者数の推移となっております。

血圧検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,295	10,242	50.5%
	女	13,851	4,581	33.1%
	計	34,146	14,823	43.4%
R2年度	男	20,590	10,723	52.1%
	女	12,678	4,515	35.6%
	計	33,268	15,238	45.8%
R3年度	男	20,324	10,151	49.9%
	女	13,095	4,593	35.1%
	計	33,419	14,744	44.1%
R4年度	男	21,600	10,652	49.3%
	女	12,798	4,652	36.3%
	計	34,398	15,304	44.5%
R5年度	男	22,605	11,439	50.6%
	女	14,330	5,289	36.9%
	計	36,935	16,728	45.3%



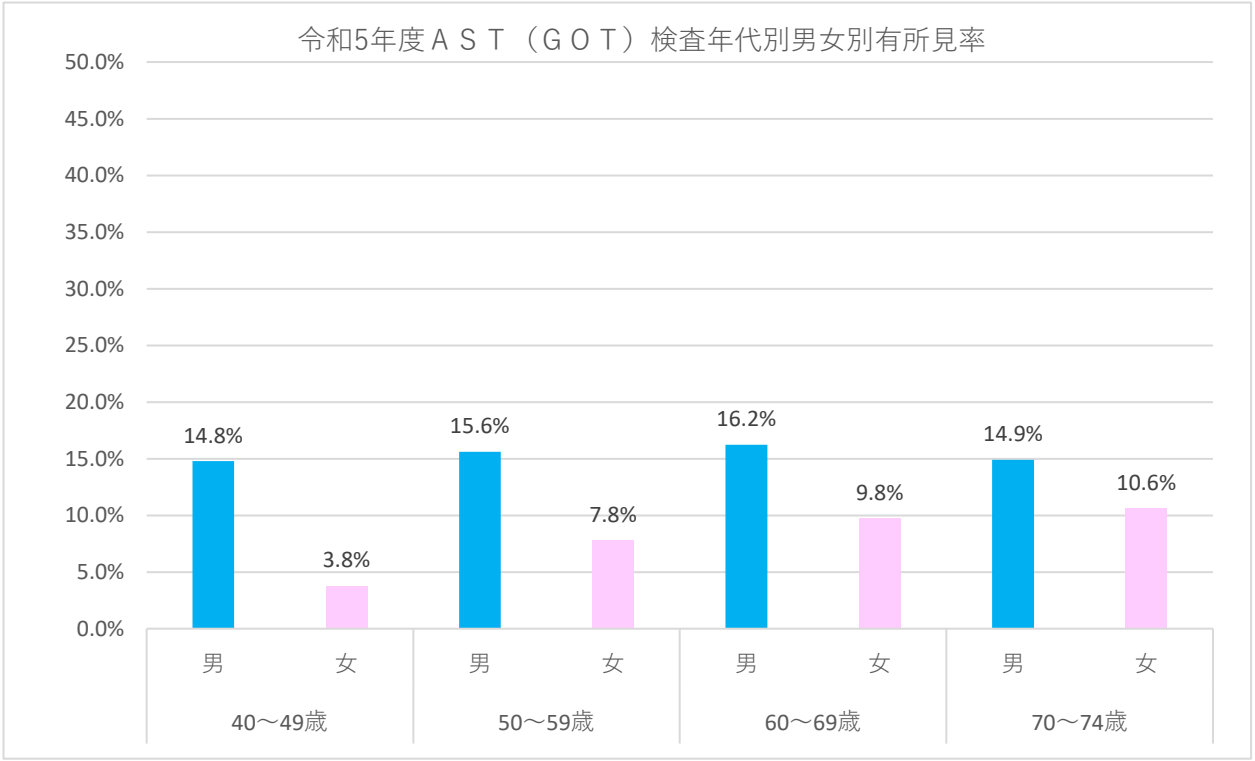
肝機能検査≪ＡＳＴ（GOT）≫

肝臓、腎臓、心筋、骨格筋に多く含まれる酵素で、値が高いときは、肝機能障害、心筋梗塞などを発見する際の手掛かりとなります。ＡＳＴは検査値の高低やＡＳＴ、ＡＬＴの比率から、さらに詳しく病気の情報を得ることができます。

令和５年度のＡＳＴ有所見率は以下の通りです。

令和5年度AST(GOT)検査結果

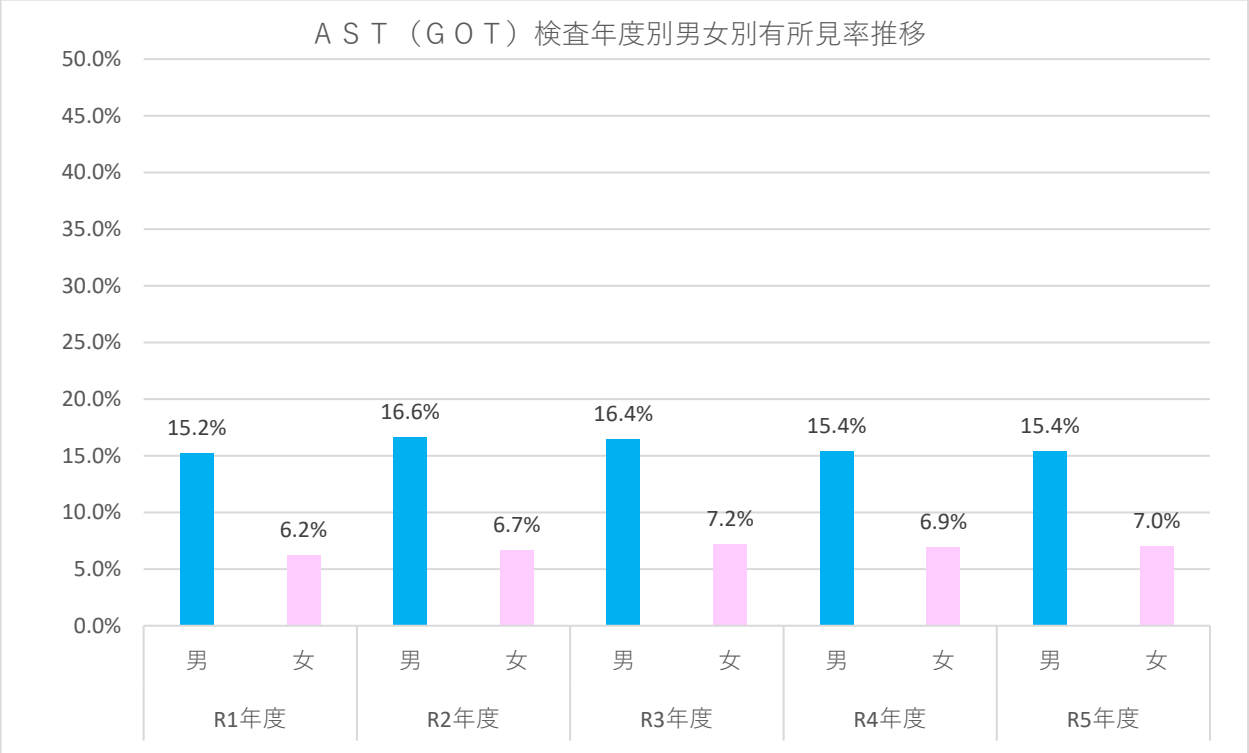
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	1,320	14.8%
	女	5,044	191	3.8%
	計	13,962	1,511	10.8%
50～59歳	男	8,084	1,262	15.6%
	女	5,267	411	7.8%
	計	13,351	1,673	12.5%
60～69歳	男	4,449	722	16.2%
	女	3,294	322	9.8%
	計	7,743	1,044	13.5%
70～74歳	男	1,154	172	14.9%
	女	725	77	10.6%
	計	1,879	249	13.3%
合　計	男	22,605	3,476	15.4%
	女	14,330	1,001	7.0%
	計	36,935	4,477	12.1%



過去５年間のＡＳＴ（ＧＯＴ）有所見者数の推移となっております。

AST(GOT)検査結果(過去5年間)

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,247	3,081	15.2%
	女	13,838	860	6.2%
	計	34,085	3,941	11.6%
R2年度	男	20,590	3,425	16.6%
	女	12,678	846	6.7%
	計	33,268	4,271	12.8%
R3年度	男	20,324	3,341	16.4%
	女	13,095	938	7.2%
	計	33,419	4,279	12.8%
R4年度	男	21,600	3,323	15.4%
	女	12,798	882	6.9%
	計	34,398	4,205	12.2%
R5年度	男	22,605	3,476	15.4%
	女	14,330	1,001	7.0%
	計	36,935	4,477	12.1%



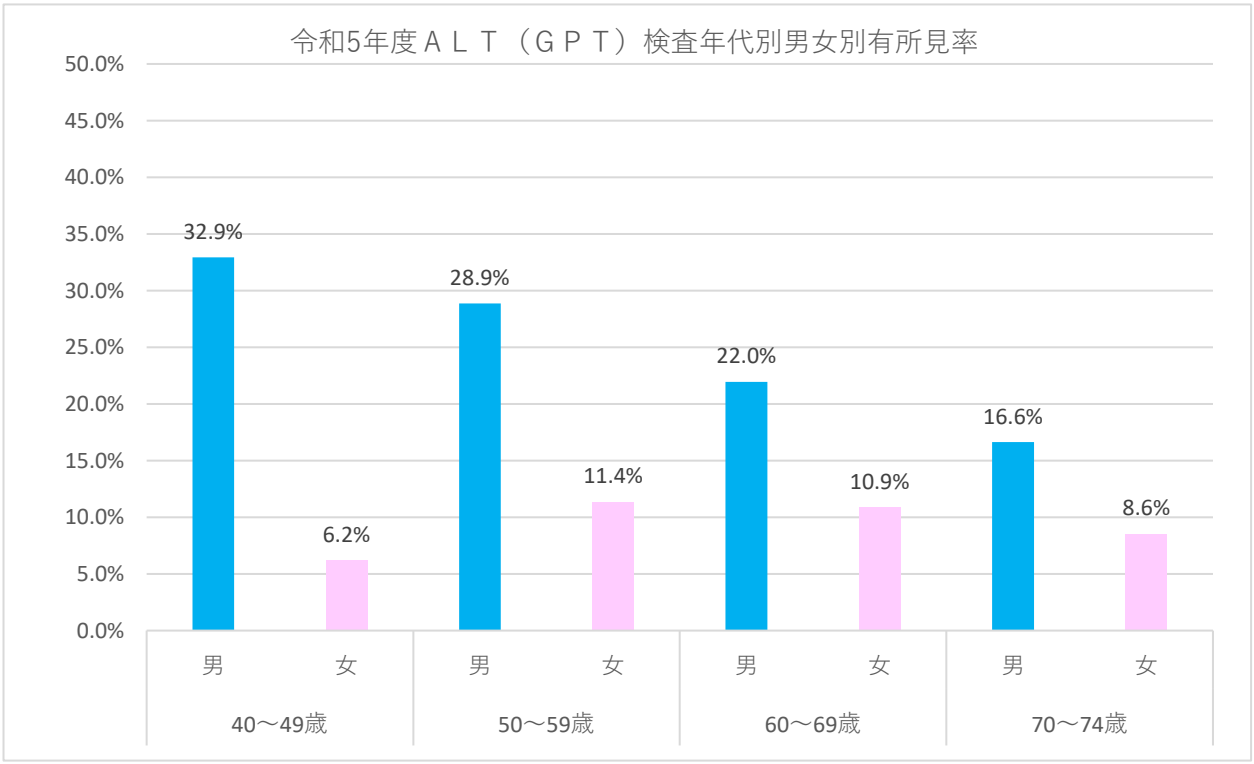
肝機能検査≪ＡＬＴ（ＧＰＴ）≫

ＡＬＴは肝臓と腎臓だけに存在する酵素で、検査値に異常があった場合、肝臓もしくは腎臓の障害が疑われます。最も一般的な肝機能検査ですが、特にＡＬＴは肝臓に多く含まれており、血液中のＡＬＴから肝障害の程度を判定することができ、値が高いときは、肝炎や肝硬変などの肝疾患が疑われます。ＡＳＴ、ＡＬＴの比率から、さらに詳しく病気の情報を得ることができます。

令和５年度のＡＬＴ有所見率は以下の通りです。

令和5年度ALT(GPT)検査結果

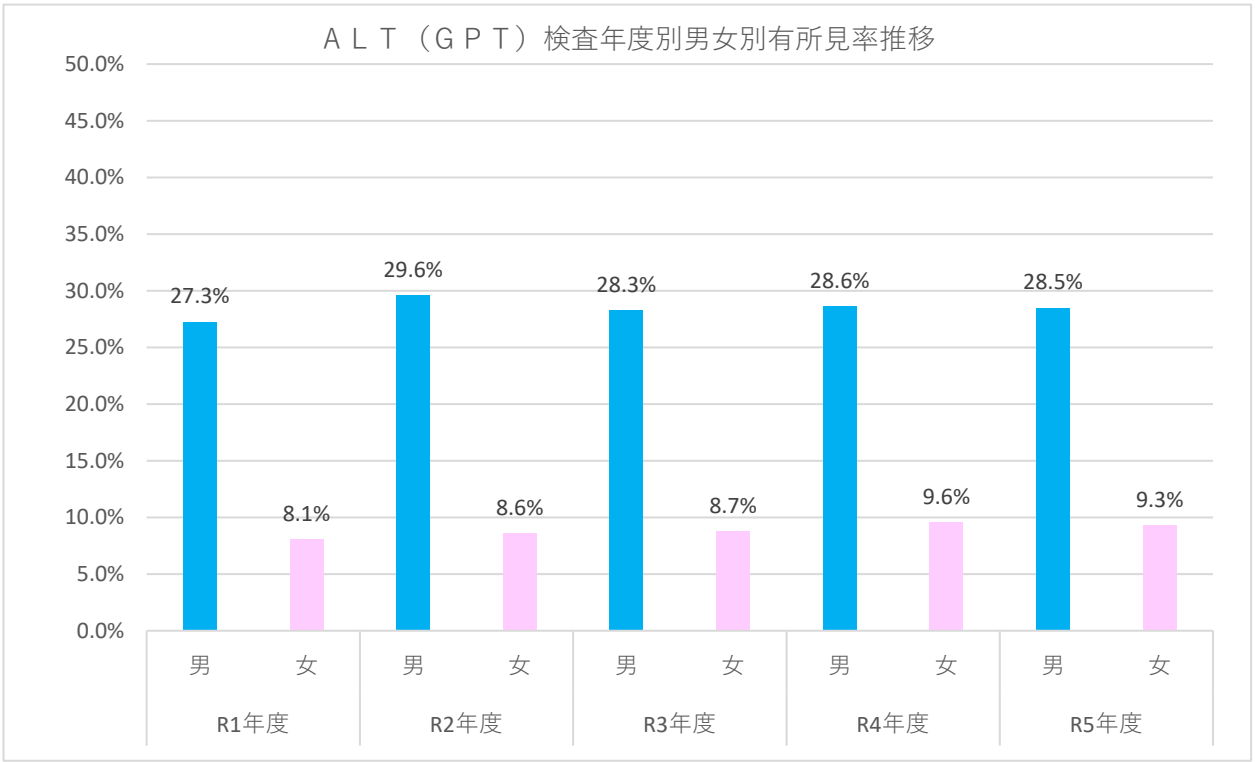
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	2,938	32.9%
	女	5,044	314	6.2%
	計	13,962	3,252	23.3%
50～59歳	男	8,084	2,334	28.9%
	女	5,267	599	11.4%
	計	13,351	2,933	22.0%
60～69歳	男	4,449	977	22.0%
	女	3,294	359	10.9%
	計	7,743	1,336	17.3%
70～74歳	男	1,154	192	16.6%
	女	725	62	8.6%
	計	1,879	254	13.5%
合　計	男	22,605	6,441	28.5%
	女	14,330	1,334	9.3%
	計	36,935	7,775	21.1%



過去５年間のＡＬＴ（ＧＰＴ）有所見者数の推移となっております。

ALT(GPT)検査結果(過去5年間)

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,247	5,519	27.3%
	女	13,838	1,114	8.1%
	計	34,085	6,633	19.5%
R2年度	男	20,590	6,097	29.6%
	女	12,678	1,089	8.6%
	計	33,268	7,186	21.6%
R3年度	男	20,324	5,744	28.3%
	女	13,095	1,144	8.7%
	計	33,419	6,888	20.6%
R4年度	男	21,600	6,183	28.6%
	女	12,798	1,226	9.6%
	計	34,398	7,409	21.5%
R5年度	男	22,605	6,441	28.5%
	女	14,330	1,334	9.3%
	計	36,935	7,775	21.1%



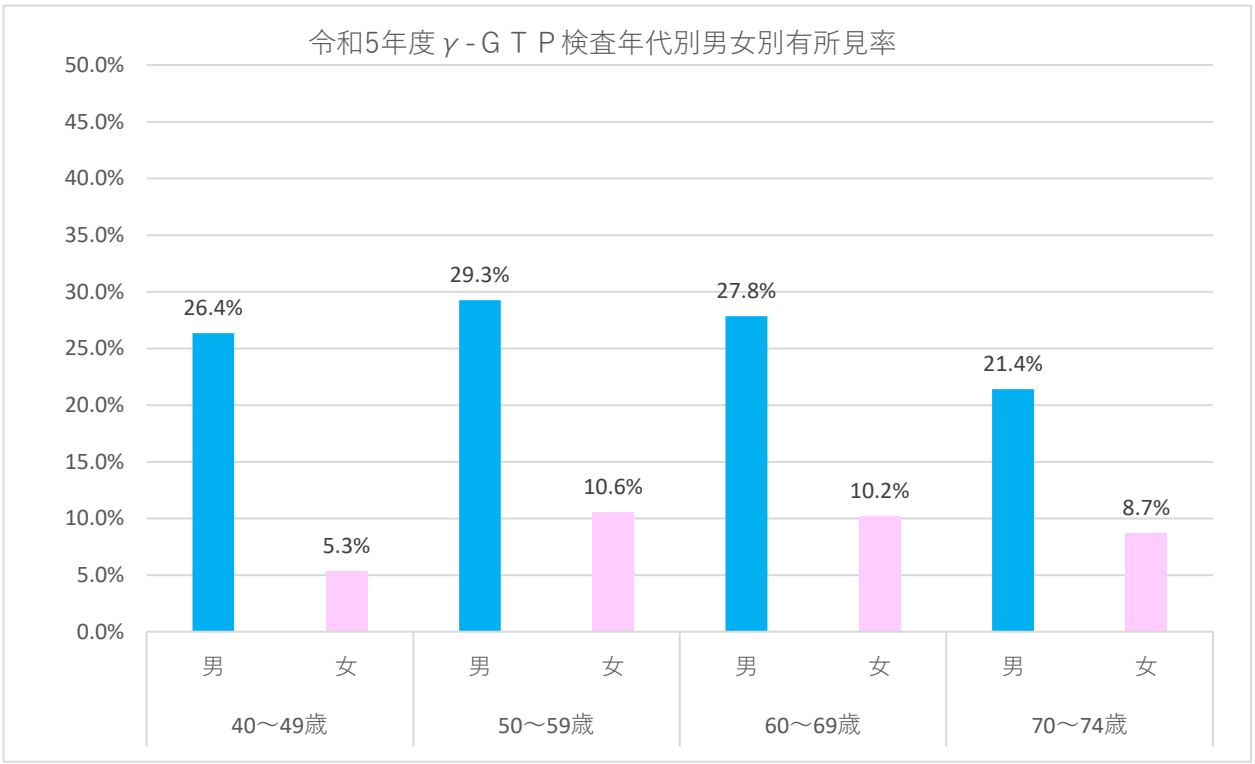
肝機能検査≪γ-ＧＴＰ≫

腸に存在するタンパク質を分解する酵素で、アルコールの飲みすぎや胆汁を運ぶ管が詰まると胆汁のγ-GTP が血液中に漏れ出てきます。血液中にγ-ＧＴＰが増え、値が高いときはアルコールによる肝障害、肝臓や胆道の病気が疑われます。

令和５年度のγ-ＧＴＰ有所見率は以下の通りです。

令和5年度γ-GTP検査結果

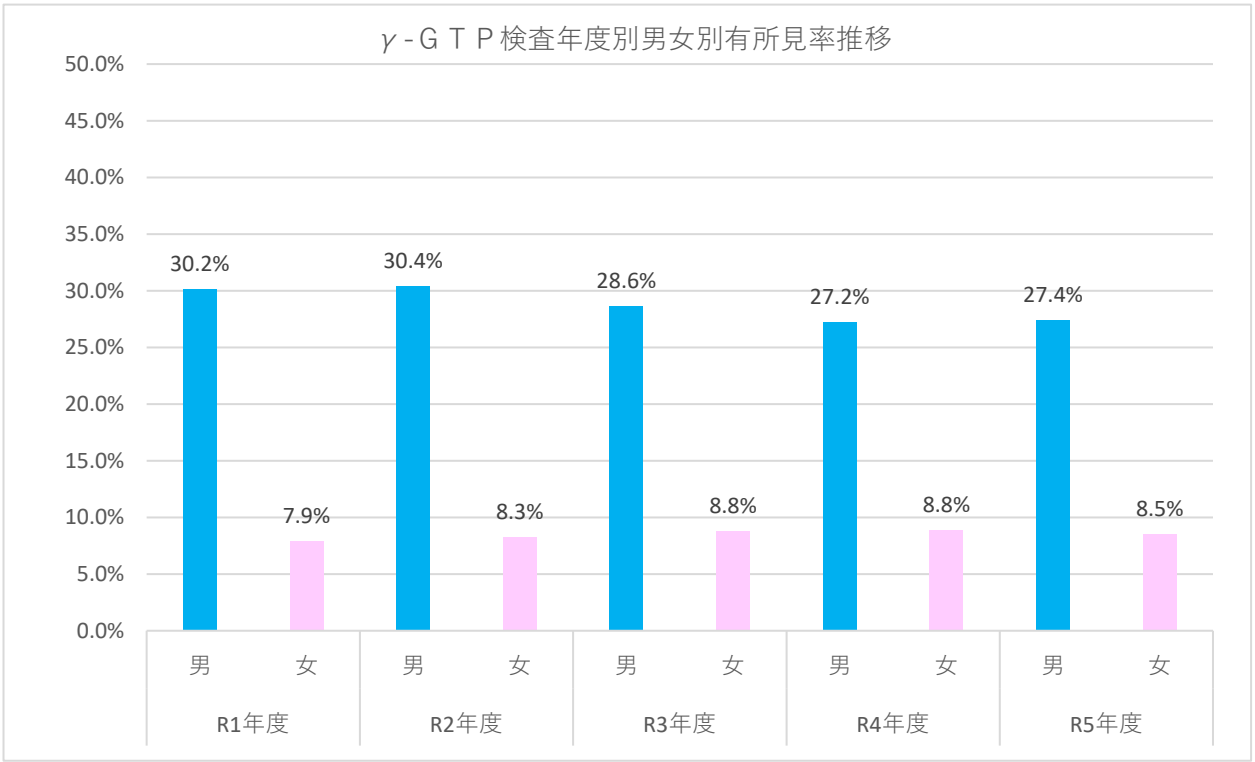
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	2,350	26.4%
	女	5,044	269	5.3%
	計	13,962	2,619	18.8%
50～59歳	男	8,084	2,365	29.3%
	女	5,267	557	10.6%
	計	13,351	2,922	21.9%
60～69歳	男	4,449	1,238	27.8%
	女	3,294	336	10.2%
	計	7,743	1,574	20.3%
70～74歳	男	1,154	247	21.4%
	女	725	63	8.7%
	計	1,879	310	16.5%
合　計	男	22,605	6,200	27.4%
	女	14,330	1,225	8.5%
	計	36,935	7,425	20.1%



過去５年間のγ-ＧＴＰ有所見者数の推移となっております。

γ-GTP検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,247	6,108	30.2%
	女	13,838	1,093	7.9%
	計	34,085	7,201	21.1%
R2年度	男	20,590	6,258	30.4%
	女	12,678	1,046	8.3%
	計	33,268	7,304	22.0%
R3年度	男	20,324	5,817	28.6%
	女	13,095	1,149	8.8%
	計	33,419	6,966	20.8%
R4年度	男	21,600	5,877	27.2%
	女	12,798	1,132	8.8%
	計	34,398	7,009	20.4%
R5年度	男	22,605	6,200	27.4%
	女	14,330	1,225	8.5%
	計	36,935	7,425	20.1%



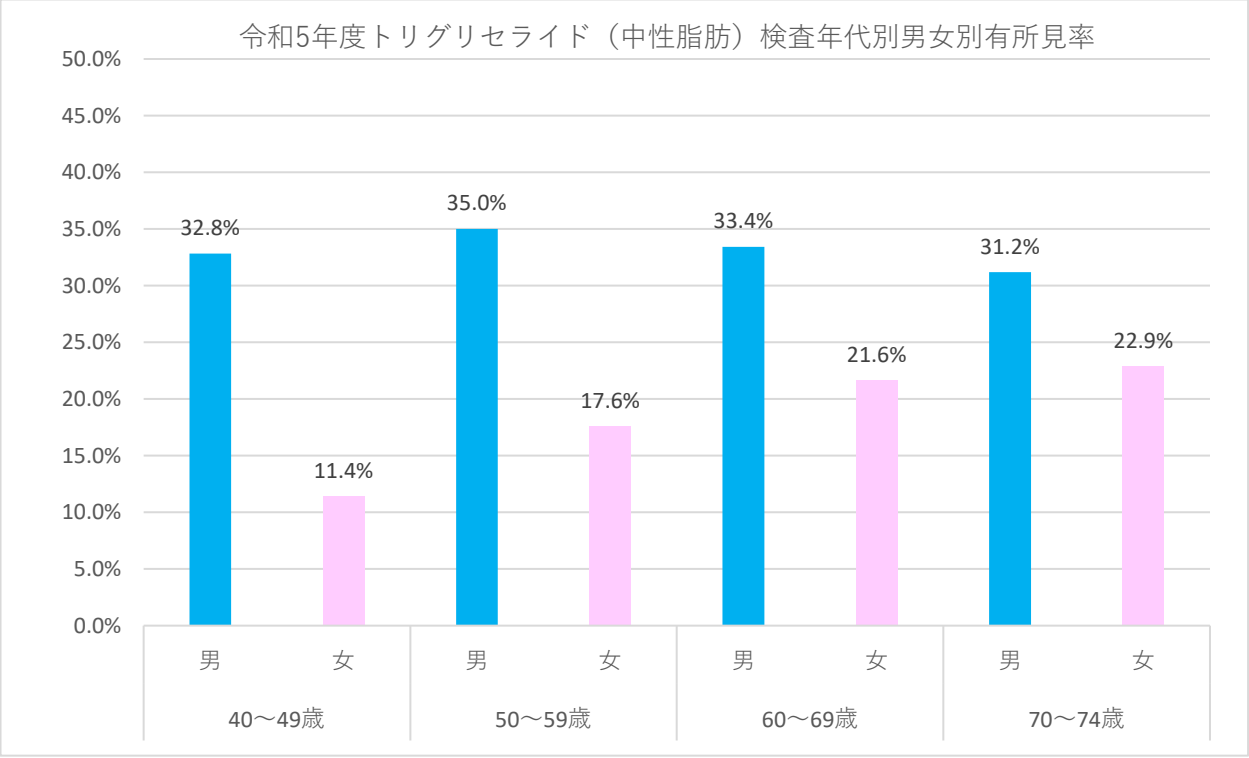
脂質検査≪トリグリセライド（中性脂肪）≫

血液中の中性脂肪の量を測定します。中性脂肪の数値は、食事の影響などで変動しやすく、数値が高くなる要因としては、肥満・過食・飲酒・運動不足などが挙げられます。食事から摂った余分なエネルギーは、皮下などに中性脂肪のかたちで貯えられますが、血液中の中性脂肪の値が高いときは、動脈硬化を引き起こす可能性が高くなります。

令和５年度の中性脂肪有所見率は以下の通りです。

令和5年度トリグリセライド（中性脂肪）検査結果

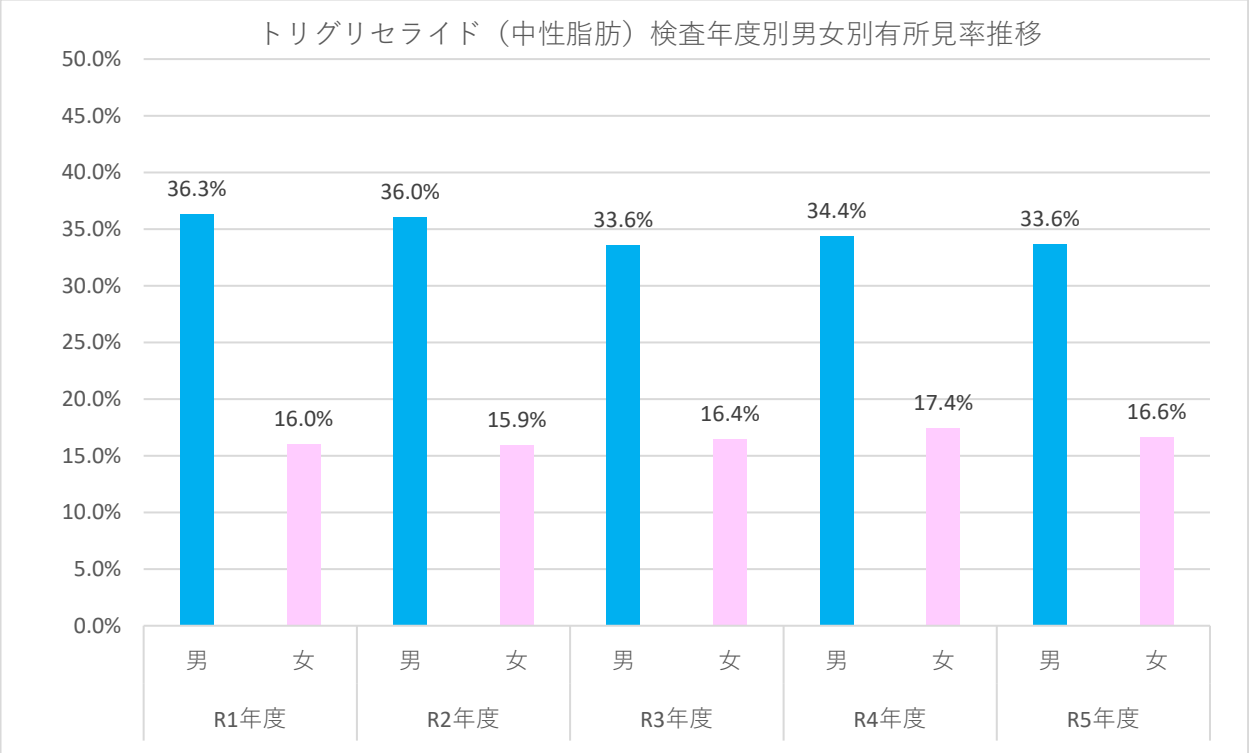
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	2,928	32.8%
	女	5,044	576	11.4%
	計	13,962	3,504	25.1%
50～59歳	男	8,084	2,831	35.0%
	女	5,267	927	17.6%
	計	13,351	3,758	28.1%
60～69歳	男	4,449	1,487	33.4%
	女	3,294	713	21.6%
	計	7,743	2,200	28.4%
70～74歳	男	1,154	360	31.2%
	女	725	166	22.9%
	計	1,879	526	28.0%
合　計	男	22,605	7,606	33.6%
	女	14,330	2,382	16.6%
	計	36,935	9,988	27.0%



過去５年間の中性脂肪有所見率の推移となっております。

トリグリセライド（中性脂肪）検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,247	7,353	36.3%
	女	13,838	2,220	16.0%
	計	34,085	9,573	28.1%
R2年度	男	20,590	7,413	36.0%
	女	12,678	2,014	15.9%
	計	33,268	9,427	28.3%
R3年度	男	20,324	6,820	33.6%
	女	13,095	2,150	16.4%
	計	33,419	8,970	26.8%
R4年度	男	21,600	7,426	34.4%
	女	12,798	2,231	17.4%
	計	34,398	9,657	28.1%
R5年度	男	22,605	7,606	33.6%
	女	14,330	2,382	16.6%
	計	36,935	9,988	27.0%



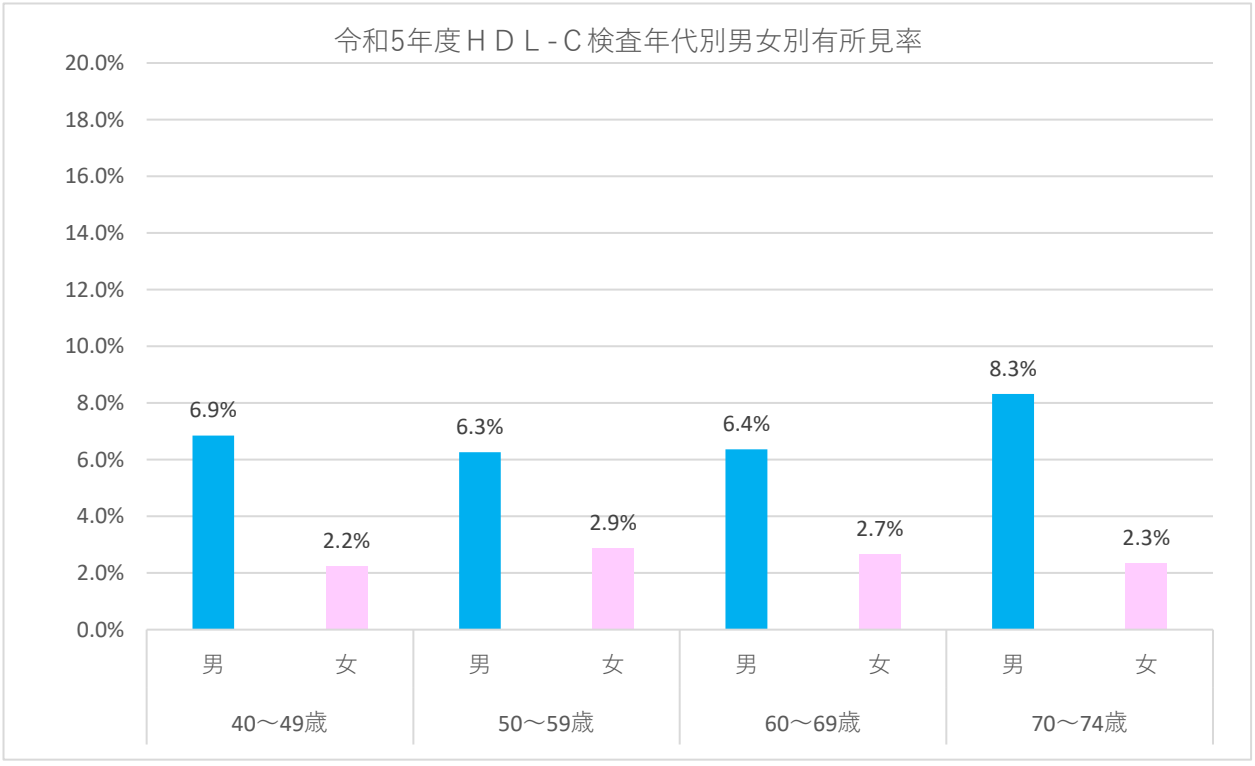
脂質検査≪ＨＤＬコレステロール≫

ＨＤＬコレステロールは善玉コレステロールと呼ばれ、血液中の余分なコレステロールを回収し、血管壁にたまるコレステロールを少なくさせます。値が高ければ動脈硬化を予防することになり、値が低いときは動脈硬化を促進し、脳梗塞、腎不全、肝硬変、糖尿病などを引き起こす可能性が高くなります。

令和５年度のＨＤＬコレステロール有所見率は以下の通りです。

令和5年度HDL-C検査結果

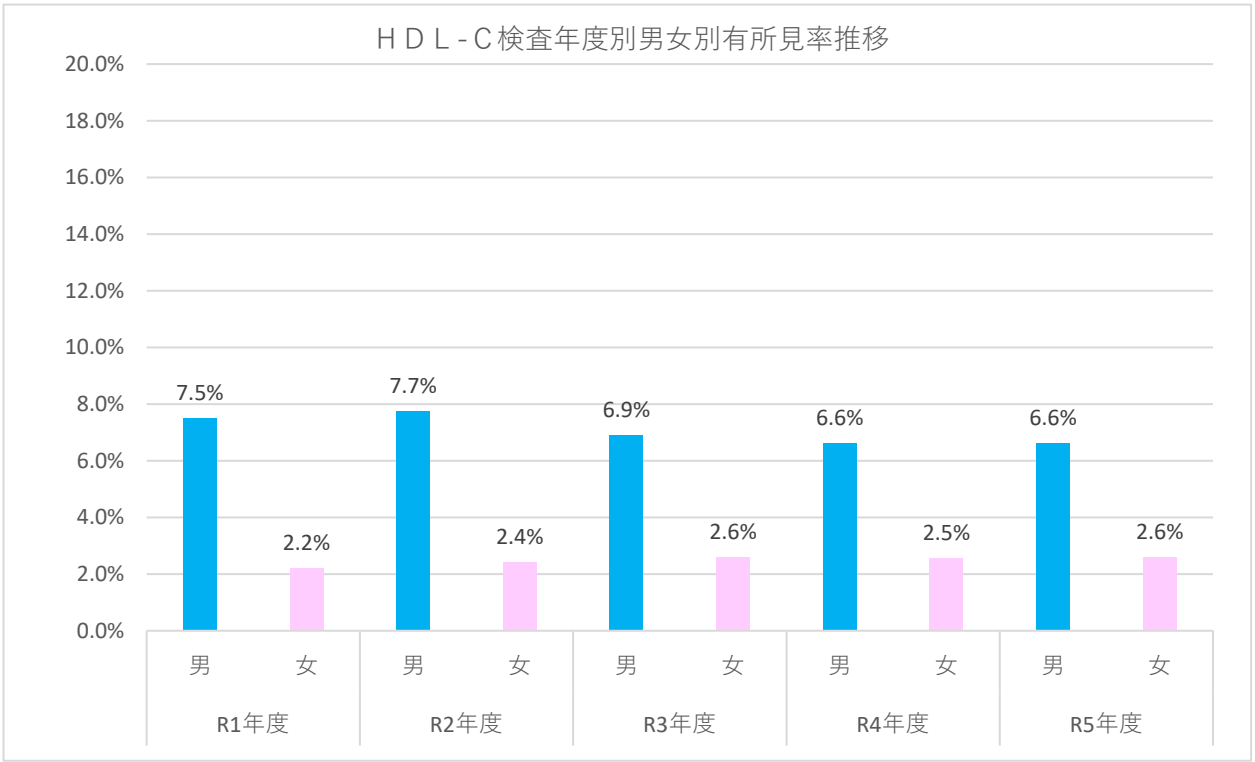
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	611	6.9%
	女	5,044	113	2.2%
	計	13,962	724	5.2%
50～59歳	男	8,084	506	6.3%
	女	5,267	152	2.9%
	計	13,351	658	4.9%
60～69歳	男	4,449	283	6.4%
	女	3,294	88	2.7%
	計	7,743	371	4.8%
70～74歳	男	1,154	96	8.3%
	女	725	17	2.3%
	計	1,879	113	6.0%
合　計	男	22,605	1,496	6.6%
	女	14,330	370	2.6%
	計	36,935	1,866	5.1%



過去５年間のＨＤＬコレステロール有所見率の推移となっております。

HDL-C検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,247	1,521	7.5%
	女	13,838	303	2.2%
	計	34,085	1,824	5.4%
R2年度	男	20,590	1,594	7.7%
	女	12,678	308	2.4%
	計	33,268	1,902	5.7%
R3年度	男	20,324	1,404	6.9%
	女	13,095	339	2.6%
	計	33,419	1,743	5.2%
R4年度	男	21,600	1,428	6.6%
	女	12,798	326	2.5%
	計	34,398	1,754	5.1%
R5年度	男	22,605	1,496	6.6%
	女	14,330	370	2.6%
	計	36,935	1,866	5.1%



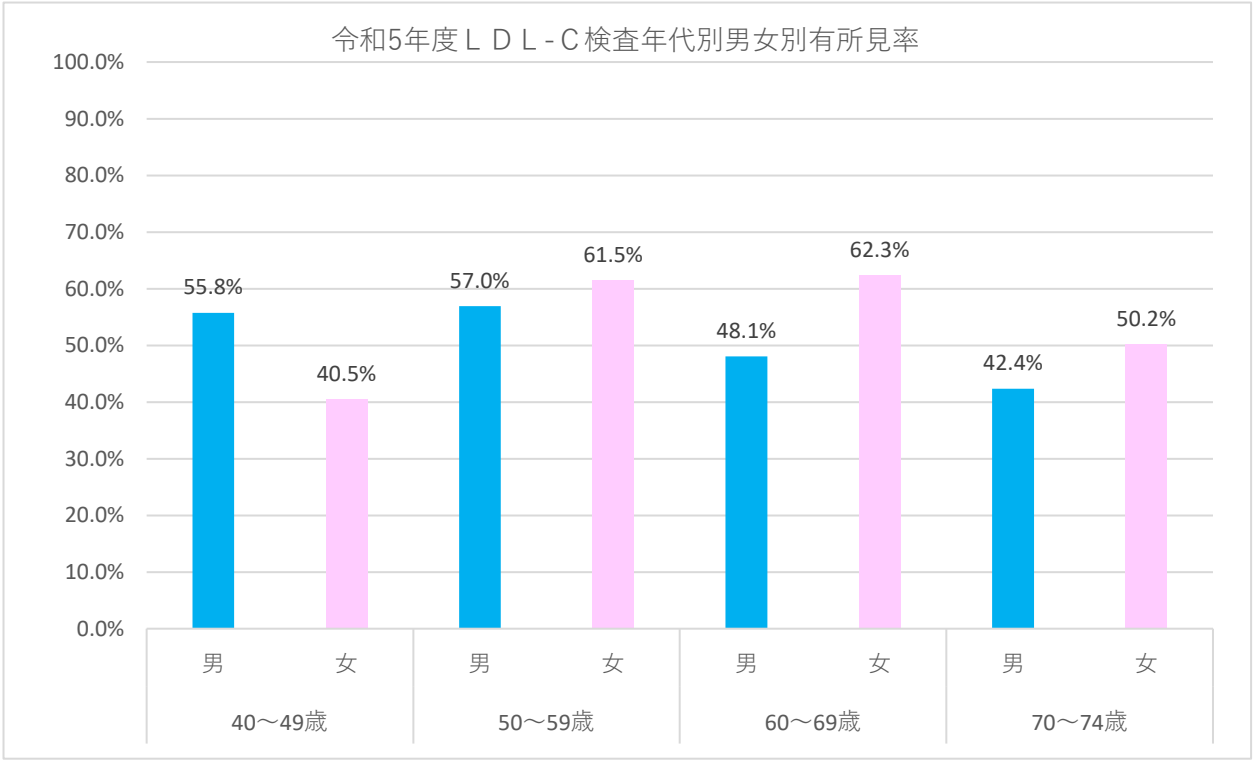
脂質検査≪ＬＤＬコレステロール≫

ＬＤＬコレステロールは血管を通って、肝臓から全身にコレステロールを運びます。増えすぎると、余分なコレステロールは血管壁にたまり動脈硬化を進行させ、狭心症や心筋梗塞などの心臓病や脳梗塞の原因となります。

令和５年度のＬＤＬコレステロール有所見率は以下の通りです。

令和5年度LDL-C検査結果

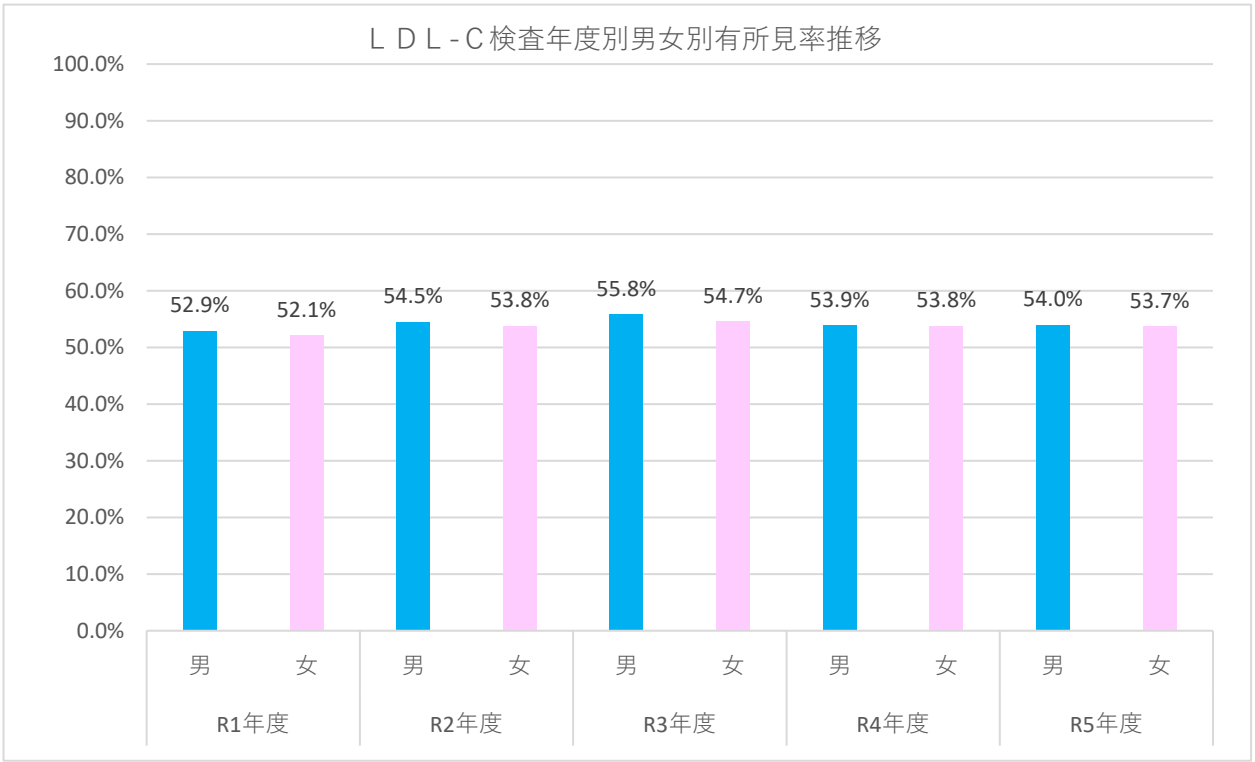
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	4,972	55.8%
	女	5,044	2,042	40.5%
	計	13,962	7,014	50.2%
50～59歳	男	8,084	4,604	57.0%
	女	5,267	3,240	61.5%
	計	13,351	7,844	58.8%
60～69歳	男	4,449	2,139	48.1%
	女	3,294	2,053	62.3%
	計	7,743	4,192	54.1%
70～74歳	男	1,154	489	42.4%
	女	725	364	50.2%
	計	1,879	853	45.4%
合　計	男	22,605	12,204	54.0%
	女	14,330	7,699	53.7%
	計	36,935	19,903	53.9%



過去５年間のＬＤＬコレステロール有所見率の推移となっております。

LDL-C検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,204	10,694	52.9%
	女	13,838	7,208	52.1%
	計	34,042	17,902	52.6%
R2年度	男	20,584	11,220	54.5%
	女	12,678	6,823	53.8%
	計	33,262	18,043	54.2%
R3年度	男	20,324	11,344	55.8%
	女	13,095	7,160	54.7%
	計	33,419	18,504	55.4%
R4年度	男	21,600	11,652	53.9%
	女	12,798	6,887	53.8%
	計	34,398	18,539	53.9%
R5年度	男	22,605	12,204	54.0%
	女	14,330	7,699	53.7%
	計	36,935	19,903	53.9%



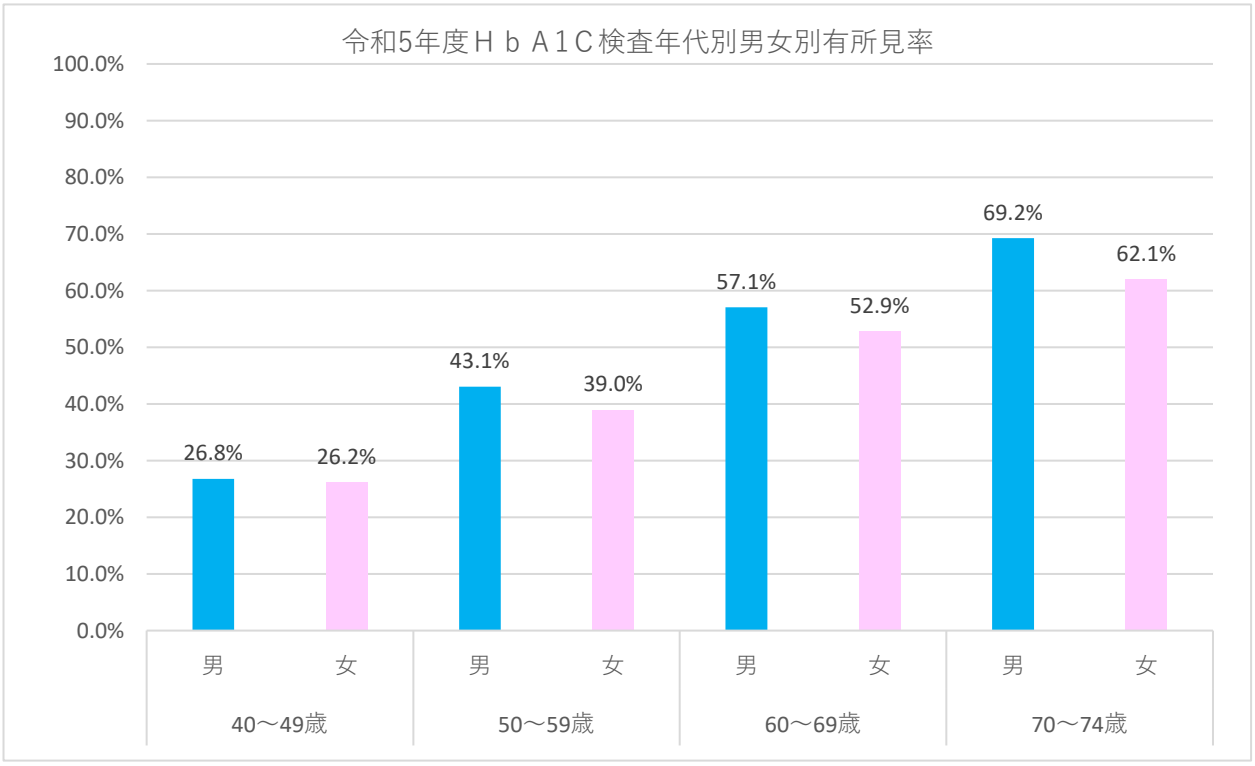
糖代謝検査≪ＨｂＡ1Ｃ≫

血液中のブドウ糖が増えるほど、赤血球に含まれているヘモグロビンに糖が結びつきやすくなるため、血糖値が高いとＨｂＡ1Ｃの量は増加します。赤血球の寿命は３ヶ月で、ブドウ糖が結びつくとそのままの状態を持続するため、ＨｂＡ1Ｃの割合で検査前 1～2 ヶ月の平均の血糖の状態を知ることができます。検査直前の食事に影響されないので、糖尿病を見つけるのに役立ちます。

令和５年度のＨｂＡ1Ｃ有所見率は以下の通りです。

令和5年度HbA1C検査結果

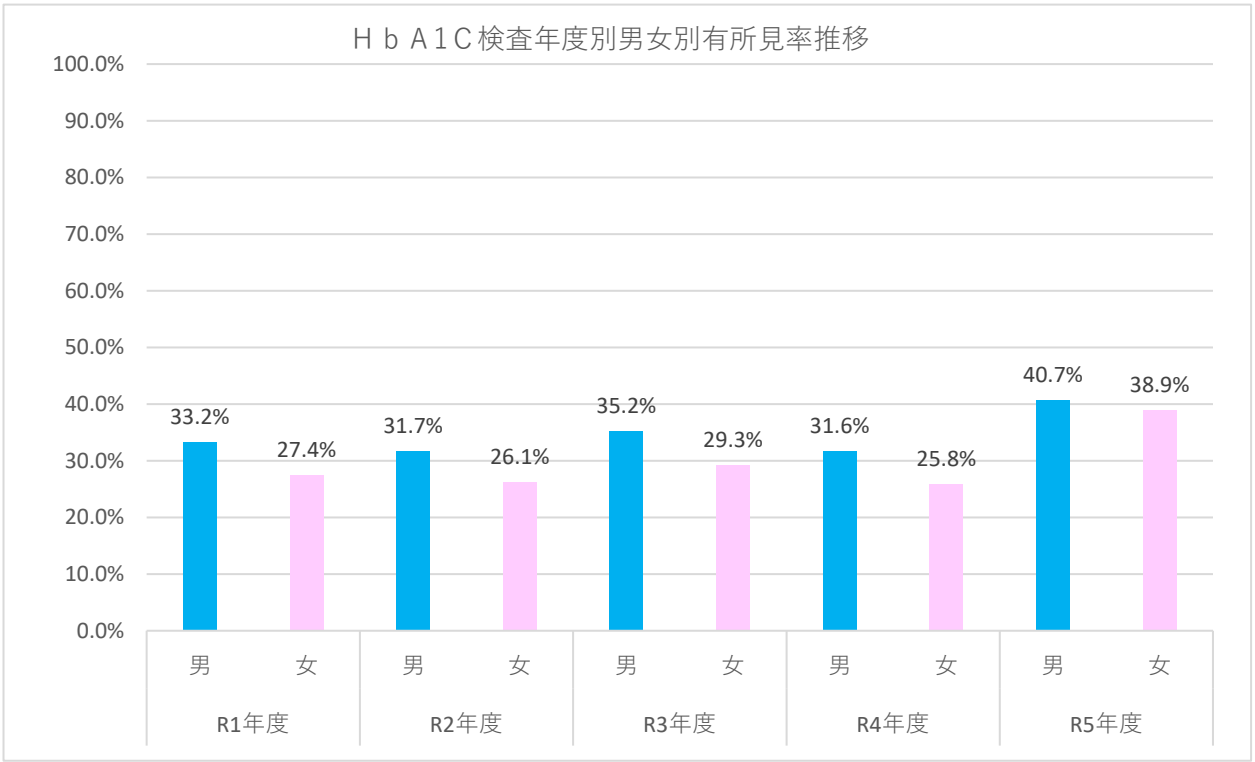
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	2,389	26.8%
	女	5,044	1,324	26.2%
	計	13,962	3,713	26.6%
50～59歳	男	8,084	3,481	43.1%
	女	5,267	2,054	39.0%
	計	13,351	5,535	41.5%
60～69歳	男	4,449	2,539	57.1%
	女	3,294	1,741	52.9%
	計	7,743	4,280	55.3%
70～74歳	男	1,154	799	69.2%
	女	725	450	62.1%
	計	1,879	1,249	66.5%
合　計	男	22,605	9,208	40.7%
	女	14,330	5,569	38.9%
	計	36,935	14,777	40.0%



過去５年間のＨｂＡ１Ｃ有所見率の推移となっております。

HbA1C検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	19,372	6,440	33.2%
	女	12,958	3,552	27.4%
	計	32,330	9,992	30.9%
R2年度	男	20,590	6,518	31.7%
	女	12,678	3,313	26.1%
	計	33,268	9,831	29.6%
R3年度	男	20,324	7,159	35.2%
	女	13,095	3,834	29.3%
	計	33,419	10,993	32.9%
R4年度	男	21,600	6,824	31.6%
	女	12,798	3,302	25.8%
	計	34,398	10,126	29.4%
R5年度	男	22,605	9,208	40.7%
	女	14,330	5,569	38.9%
	計	36,935	14,777	40.0%



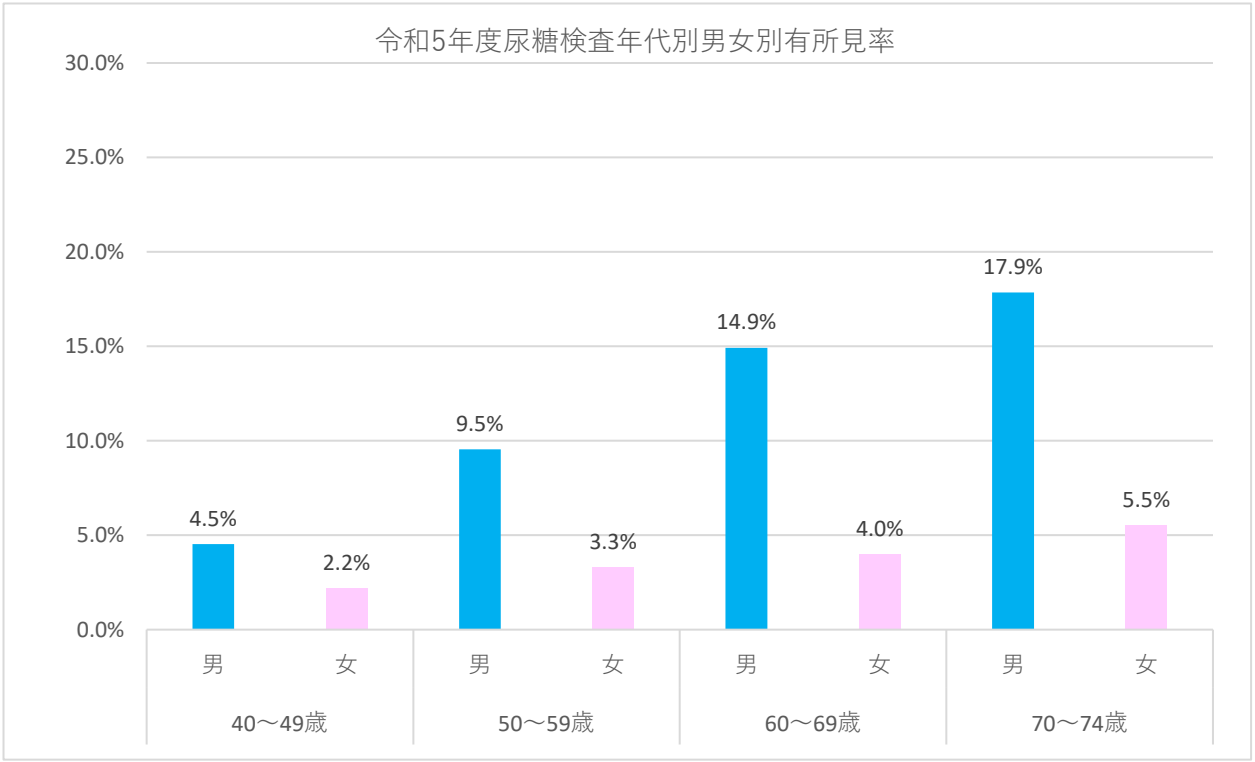
尿検査≪尿糖≫

尿中に糖が排泄されているかどうか調べます。陽性のときは、糖尿病などが疑われますが、血糖値が高くないときは、腎性糖尿の可能性もある為、血糖検査で病気の有無を調べる必要があります。健康な人の尿中に糖はほんのわずかしか漏れ出しませんが、何か異常があり尿中に漏れ出すようになったものを尿糖といいます。

令和５年度の尿糖有所見率は以下の通りです。

令和5年度尿糖検査結果

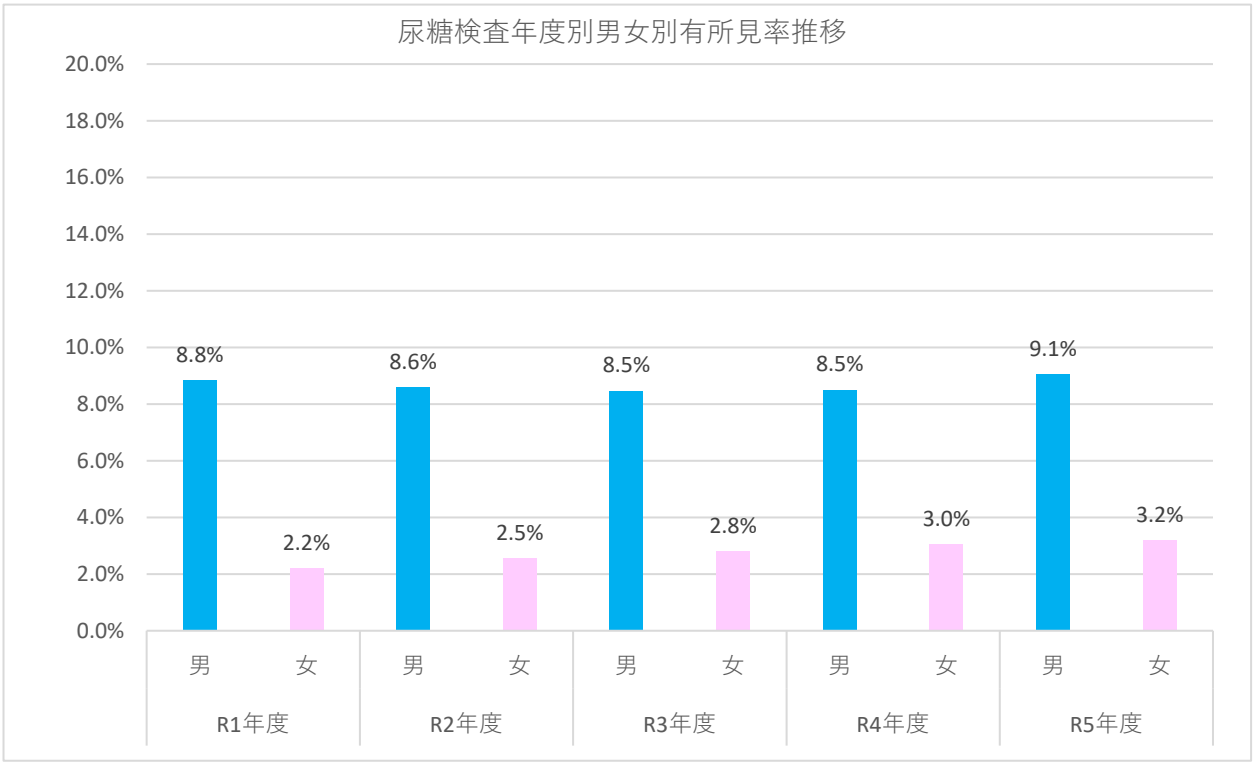
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	404	4.5%
	女	5,044	111	2.2%
	計	13,962	515	3.7%
50～59歳	男	8,084	772	9.5%
	女	5,267	174	3.3%
	計	13,351	946	7.1%
60～69歳	男	4,449	664	14.9%
	女	3,294	131	4.0%
	計	7,743	795	10.3%
70～74歳	男	1,154	206	17.9%
	女	725	40	5.5%
	計	1,879	246	13.1%
合　計	男	22,605	2,046	9.1%
	女	14,330	456	3.2%
	計	36,935	2,502	6.8%



過去５年間の尿糖有所見率の推移となっております。

尿糖検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,258	1,788	8.8%
	女	13,821	305	2.2%
	計	34,079	2,093	6.1%
R2年度	男	20,566	1,768	8.6%
	女	12,666	322	2.5%
	計	33,232	2,090	6.3%
R3年度	男	20,324	1,721	8.5%
	女	13,095	367	2.8%
	計	33,419	2,088	6.2%
R4年度	男	21,600	1,837	8.5%
	女	12,798	389	3.0%
	計	34,398	2,226	6.5%
R5年度	男	22,605	2,046	9.1%
	女	14,330	456	3.2%
	計	36,935	2,502	6.8%



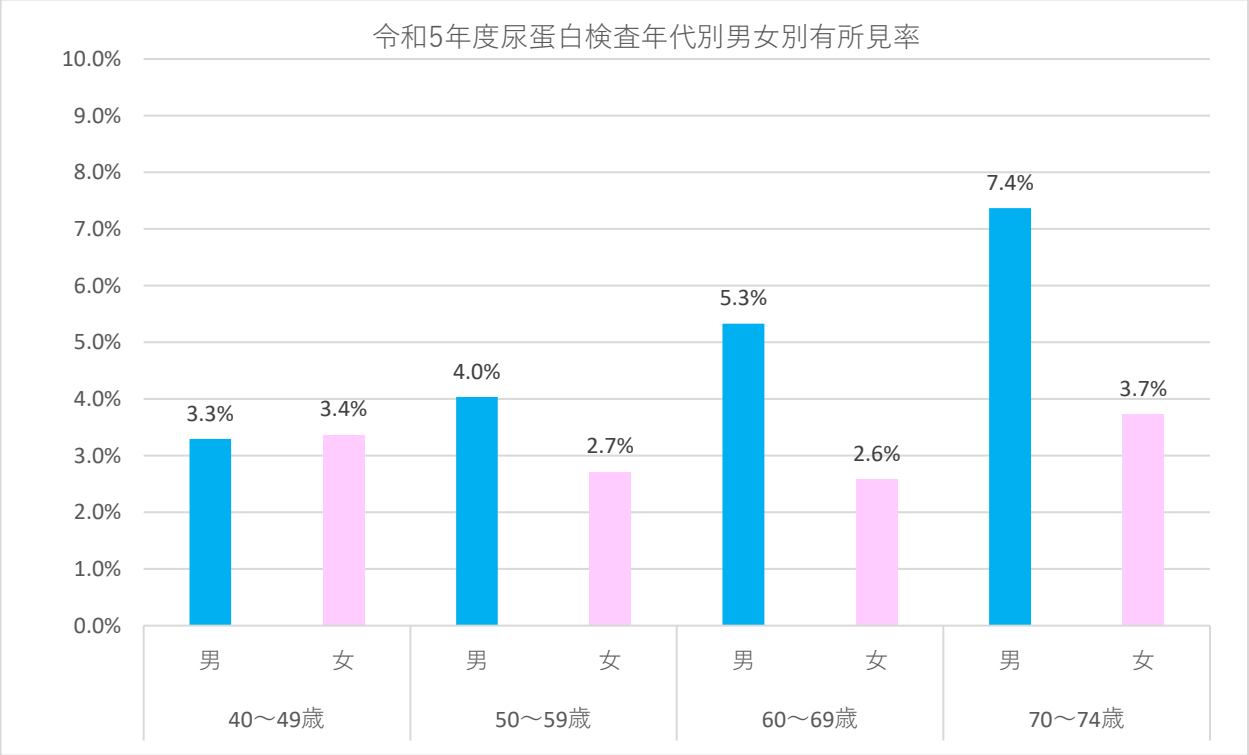
尿検査≪尿蛋白≫

腎機能低下などにより、尿にタンパク質が出ていないかを検査します。通常タンパク質のほとんどは再吸収されるため尿には出ませんが、激しい運動や入浴、発熱、脱水などによる尿の濃縮や精神的なストレスが原因で一時的に陽性になることもあります。しかし、数回検査をしても陽性の場合は腎臓疾患が疑われます。

令和５年度の尿蛋白有所見率は以下の通りです。

令和5年度尿蛋白検査結果

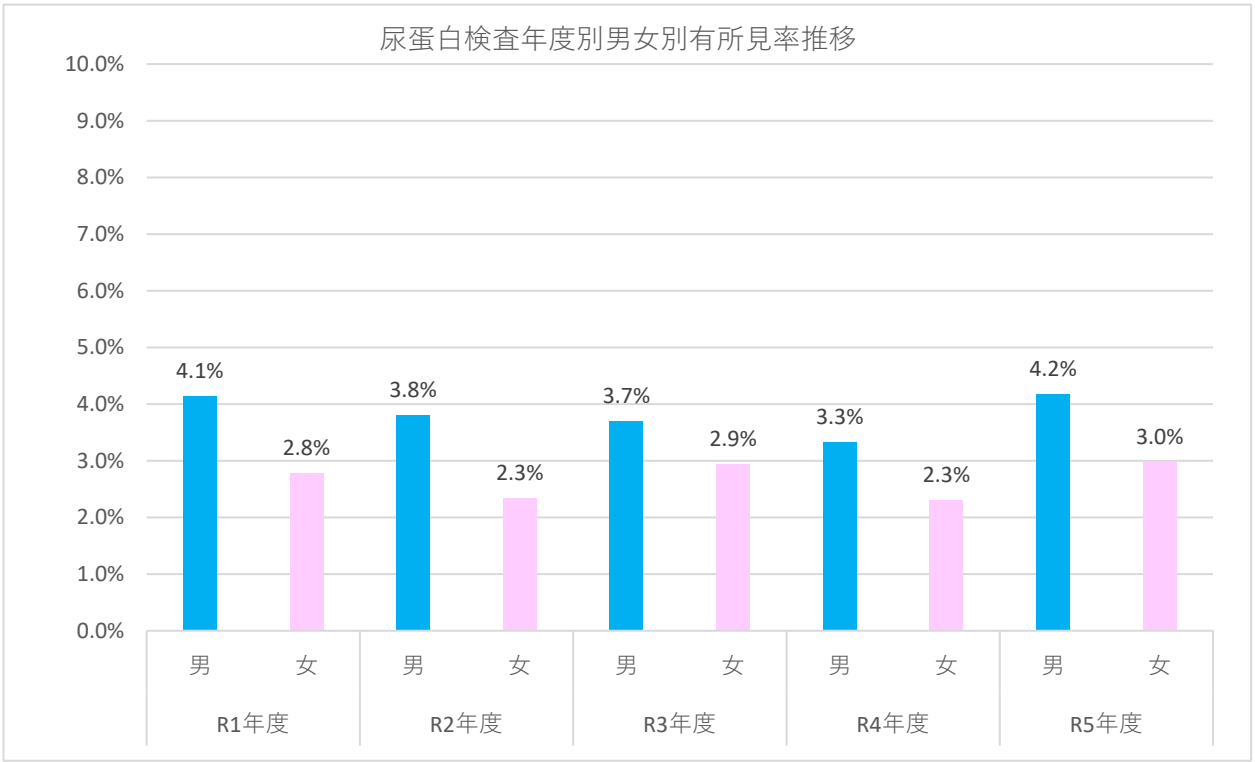
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
40～49歳	男	8,918	294	3.3%
	女	5,044	170	3.4%
	計	13,962	464	3.3%
50～59歳	男	8,084	326	4.0%
	女	5,267	143	2.7%
	計	13,351	469	3.5%
60～69歳	男	4,449	237	5.3%
	女	3,294	85	2.6%
	計	7,743	322	4.2%
70～74歳	男	1,154	85	7.4%
	女	725	27	3.7%
	計	1,879	112	6.0%
合　計	男	22,605	942	4.2%
	女	14,330	425	3.0%
	計	36,935	1,367	3.7%



過去５年間の尿蛋白有所見率の推移となっております。

尿蛋白糖検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	20,258	837	4.1%
	女	13,821	385	2.8%
	計	34,079	1,222	3.6%
R2年度	男	20,566	783	3.8%
	女	12,666	297	2.3%
	計	33,232	1,080	3.2%
R3年度	男	20,324	751	3.7%
	女	13,095	384	2.9%
	計	33,419	1,135	3.4%
R4年度	男	21,600	718	3.3%
	女	12,798	295	2.3%
	計	34,398	1,013	2.9%
R5年度	男	22,605	942	4.2%
	女	14,330	425	3.0%
	計	36,935	1,367	3.7%



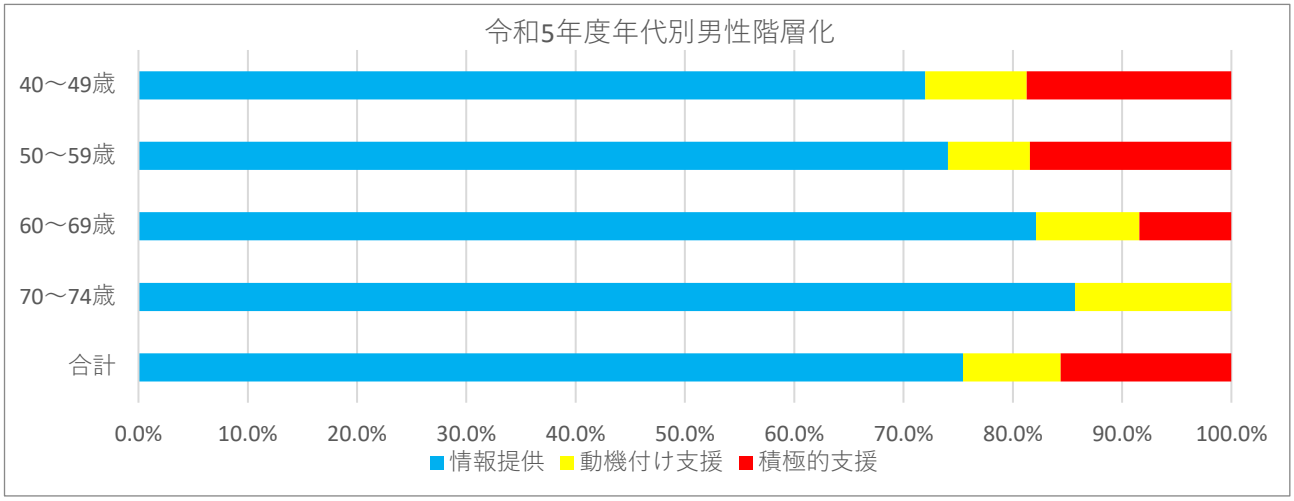
【階層化判定】

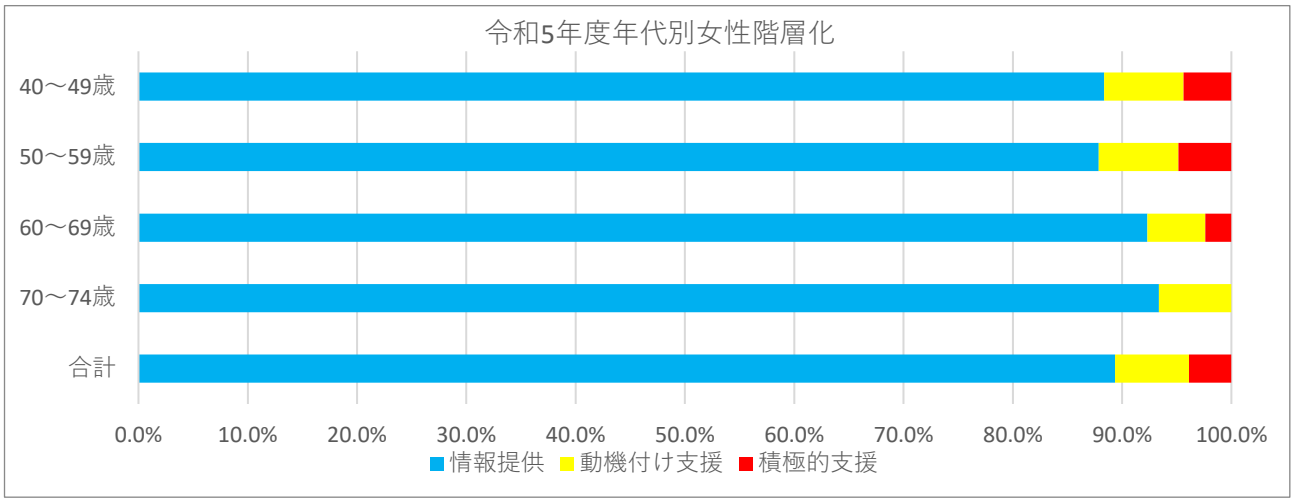
腹囲・ＢＭＩ・血圧・血糖（空腹時血糖、HbA1c）・脂質異常（中性脂肪、HDL コレステロール）喫煙歴の組み合わせにより、メタボリックシンドロームのリスクに応じて、保健指導対象者の階層化（「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」）を判定します。

令和５年度の階層化状況は以下の通りです。

令和5年度階層化（年齢区分）

	性別	受診者数	情報提供		動機付け支援		積極的支援	
			数	率	数	率	数	率
40～49歳	男	8,918	6,421	72.0%	828	9.3%	1,669	18.7%
	女	5,044	4,457	88.4%	367	7.3%	220	4.4%
	計	13,962	10,878	77.9%	1,195	8.6%	1,889	13.5%
50～59歳	男	8,084	5,987	74.1%	606	7.5%	1,491	18.4%
	女	5,267	4,628	87.9%	384	7.3%	255	4.8%
	計	13,351	10,615	79.5%	990	7.4%	1,746	13.1%
60～69歳	男	4,449	3,654	82.1%	421	9.5%	374	8.4%
	女	3,294	3,041	92.3%	174	5.3%	79	2.4%
	計	7,743	6,695	86.5%	595	7.7%	453	5.9%
70～74歳	男	1,154	989	85.7%	165	14.3%	0	0.0%
	女	725	677	93.4%	48	6.6%	0	0.0%
	計	1,879	1,666	88.7%	213	11.3%	0	0.0%
合計	男	22,605	17,051	75.4%	2,020	8.9%	3,534	15.6%
	女	14,330	12,803	89.3%	973	6.8%	554	3.9%
	計	36,935	29,854	80.8%	2,993	8.1%	4,088	11.1%

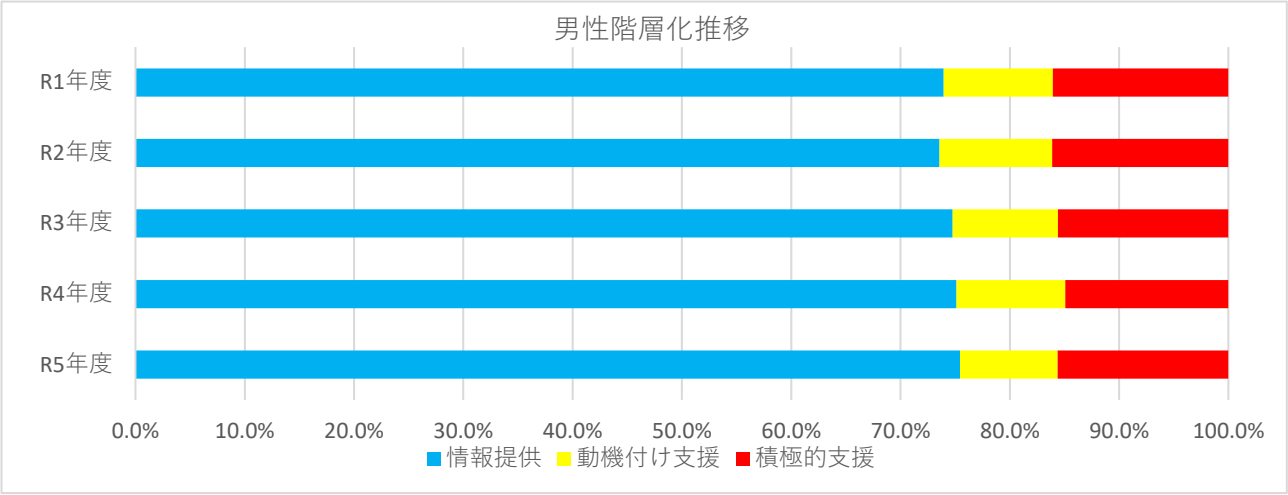


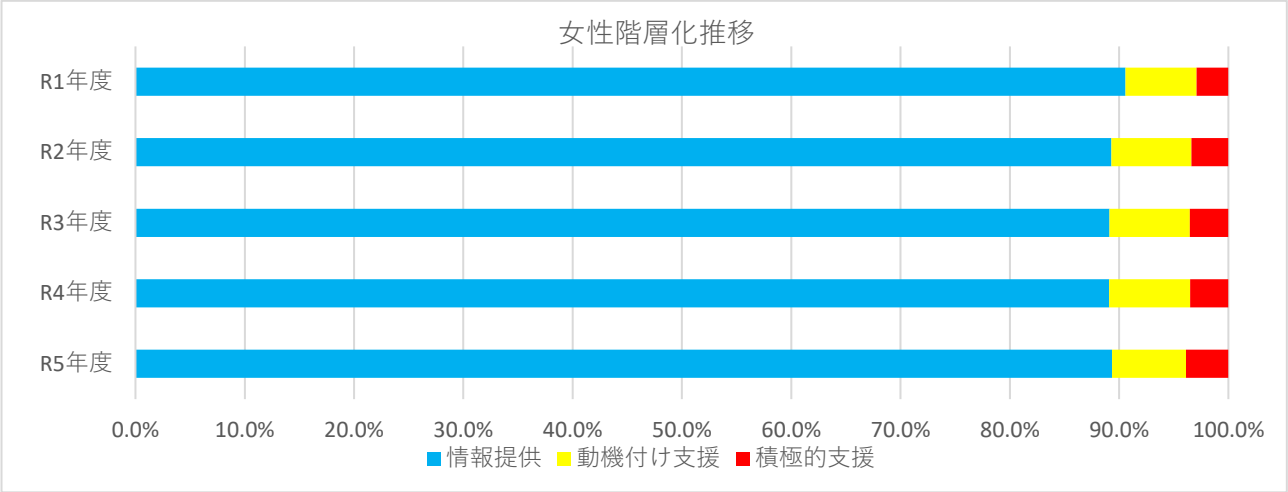


過去５年間の階層化判定状況の推移となっております。

階層化（男女別過去5年間）

	性別	受診者数	情報提供		動機付け支援		積極的支援	
			数	率	数	率	数	率
R1年度	男	20,295	15,007	73.9%	2,026	10.0%	3,262	16.1%
	女	13,851	12,548	90.6%	898	6.5%	405	2.9%
	計	34,146	27,555	80.7%	2,924	8.6%	3,667	10.7%
R2年度	男	20,590	15,151	73.6%	2,117	10.3%	3,322	16.1%
	女	12,678	11,323	89.3%	927	7.3%	428	3.4%
	計	33,268	26,474	79.6%	3,044	9.1%	3,750	11.3%
R3年度	男	20,324	15,198	74.8%	1,959	9.6%	3,167	15.6%
	女	13,095	11,672	89.1%	961	7.3%	462	3.5%
	計	33,419	26,870	80.4%	2,920	8.7%	3,629	10.9%
R4年度	男	21,600	16,226	75.1%	2,153	10.0%	3,221	14.9%
	女	12,798	11,402	89.1%	950	7.4%	446	3.5%
	計	34,398	27,628	80.3%	3,103	9.0%	3,667	10.7%
R5年度	男	22,605	17,051	75.4%	2,020	8.9%	3,534	15.6%
	女	14,330	12,803	89.3%	973	6.8%	554	3.9%
	計	36,935	29,854	80.8%	2,993	8.1%	4,088	11.1%





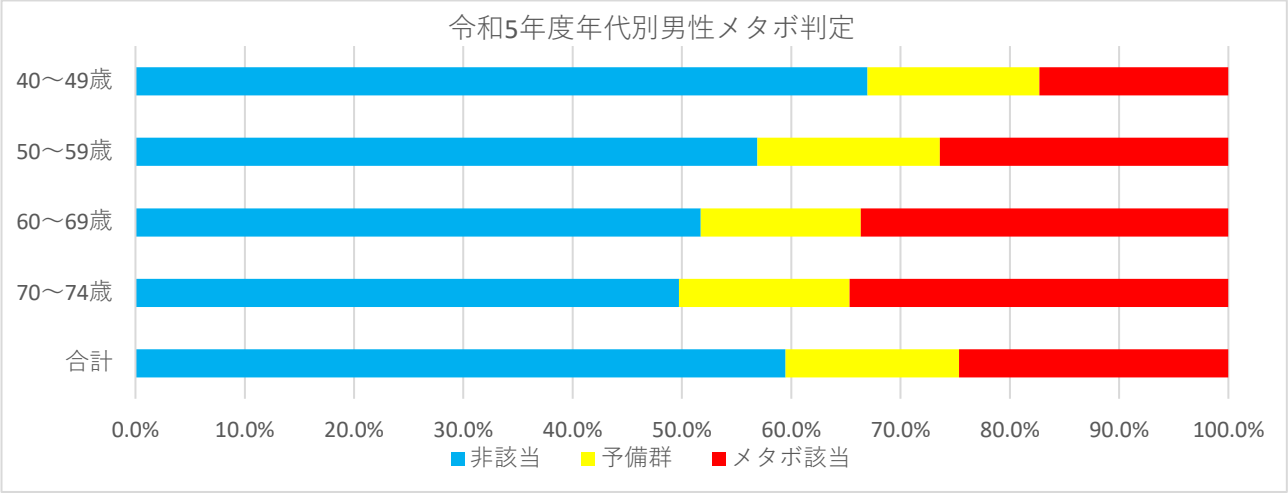
【メタボリックシンドローム判定】

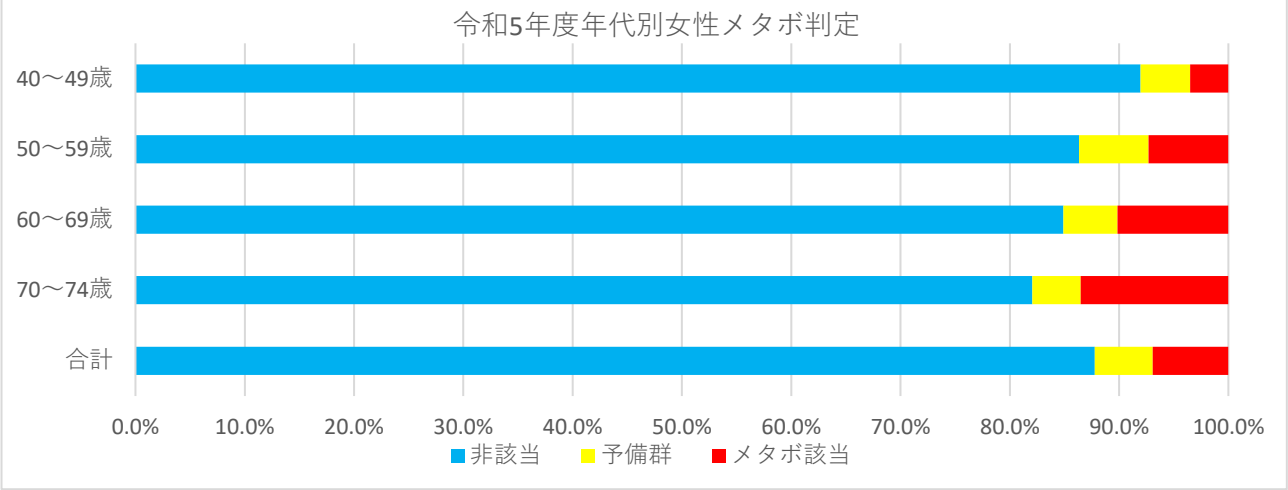
腹囲・血圧・血糖・脂質異常に加え、それぞれの服薬を含めた組み合わせにより、メタボリックシンドロームの判定を行います。

令和５年度のメタボ判定状況は以下の通りです。

令和5年度メタボ判定（年齢区分）

	性別	受診者数	メタボ非該当		メタボ予備群		メタボ基準該当	
			数	率	数	率	数	率
40～49歳	男	8,918	5,972	67.0%	1,405	15.8%	1,541	17.3%
	女	5,044	4,638	92.0%	229	4.5%	177	3.5%
	計	13,962	10,610	76.0%	1,634	11.7%	1,718	12.3%
50～59歳	男	8,084	4,599	56.9%	1,350	16.7%	2,135	26.4%
	女	5,267	4,548	86.3%	334	6.3%	385	7.3%
	計	13,351	9,147	68.5%	1,684	12.6%	2,520	18.9%
60～69歳	男	4,449	2,301	51.7%	651	14.6%	1,497	33.6%
	女	3,294	2,797	84.9%	163	4.9%	334	10.1%
	計	7,743	5,098	65.8%	814	10.5%	1,831	23.6%
70～74歳	男	1,154	574	49.7%	180	15.6%	400	34.7%
	女	725	595	82.1%	32	4.4%	98	13.5%
	計	1,879	1,169	62.2%	212	11.3%	498	26.5%
合計	男	22,605	13,446	59.5%	3,586	15.9%	5,573	24.7%
	女	14,330	12,578	87.8%	758	5.3%	994	6.9%
	計	36,935	26,024	70.5%	4,344	11.8%	6,567	17.8%

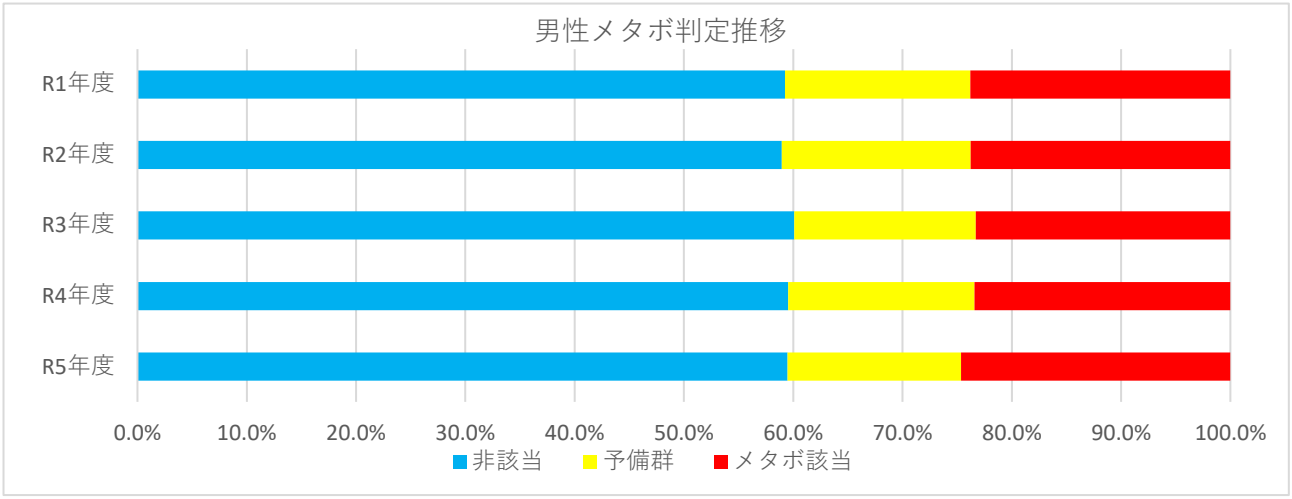


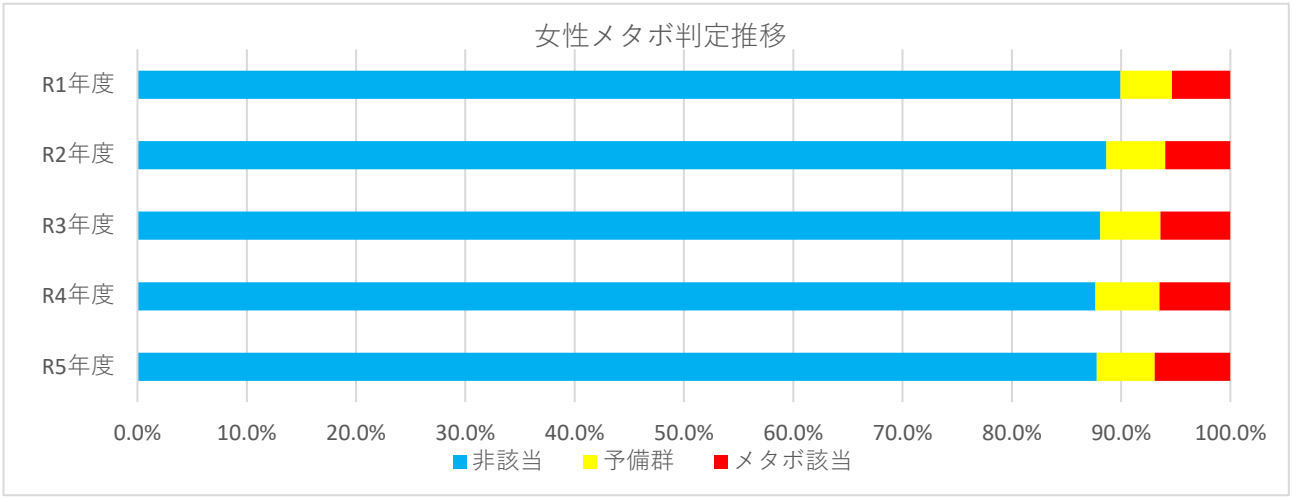


過去５年間のメタボ判定状況の推移となっております。

メタボ判定（男女別過去5年間）

	性別	受診者数	メタボ非該当		メタボ予備群		メタボ基準該当	
			数	率	数	率	数	率
R1年度	男	20,295	12,027	59.3%	3,439	16.9%	4,829	23.8%
	女	13,851	12,459	90.0%	651	4.7%	741	5.3%
	計	34,146	24,486	71.7%	4,090	12.0%	5,570	16.3%
R2年度	男	20,590	12,136	58.9%	3,563	17.3%	4,891	23.8%
	女	12,678	11,241	88.7%	683	5.4%	754	5.9%
	計	33,268	23,377	70.3%	4,246	12.8%	5,645	17.0%
R3年度	男	20,324	12,215	60.1%	3,377	16.6%	4,732	23.3%
	女	13,095	11,537	88.1%	719	5.5%	839	6.4%
	計	33,419	23,752	71.1%	4,096	12.3%	5,571	16.7%
R4年度	男	21,600	12,863	59.6%	3,677	17.0%	5,060	23.4%
	女	12,798	11,218	87.7%	749	5.9%	831	6.5%
	計	34,398	24,081	70.0%	4,426	12.9%	5,891	17.1%
R5年度	男	22,605	13,446	59.5%	3,586	15.9%	5,573	24.7%
	女	14,330	12,578	87.8%	758	5.3%	994	6.9%
	計	36,935	26,024	70.5%	4,344	11.8%	6,567	17.8%





【特定保健指導】

40 歳から 74 歳の被保険者・被扶養者を対象にメタボリックシンドロームの予防と改善を目的として、健診の結果に基づき、特定保健指導を実施しています。特定保健指導では、対象者が健診結果から自らの健康状態を正しく理解し、生活習慣改善のための行動目標を自ら設定・実施できるように、保健師等による支援を行います。

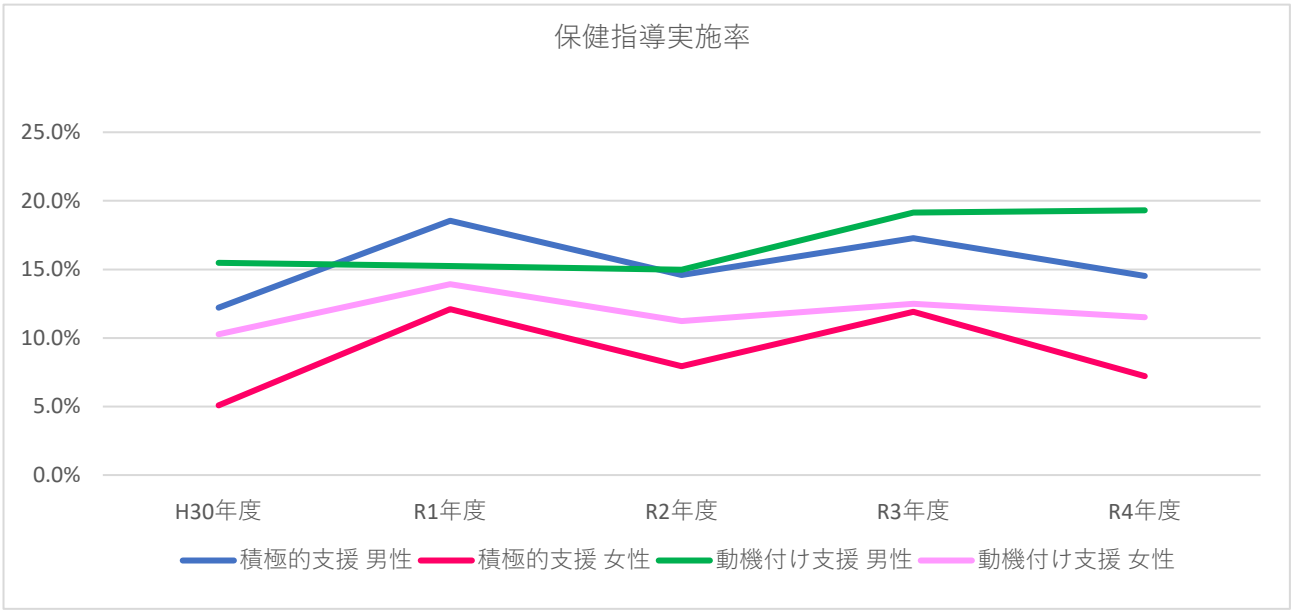
積極的支援、動機付け支援の保健指導対象者の保健指導実施状況は以下の通りです。

積極的支援対象特定保健指導実施状況

	対象者数		実施者数		実施率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年度	4,292	531	524	27	12.2%	5.1%
R1年度	3,262	405	605	49	18.5%	12.1%
R2年度	3,322	428	485	34	14.6%	7.9%
R3年度	3,167	462	547	55	17.3%	11.9%
R4年度	3,534	554	513	40	14.5%	7.2%

動機付け支援対象特定保健指導実施状況

	対象者数		実施者数		実施率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年度	2,308	1,003	357	103	15.5%	10.3%
R1年度	2,026	898	309	125	15.3%	13.9%
R2年度	2,117	927	317	104	15.0%	11.2%
R3年度	1,959	961	375	120	19.1%	12.5%
R4年度	2,020	973	390	112	19.3%	11.5%



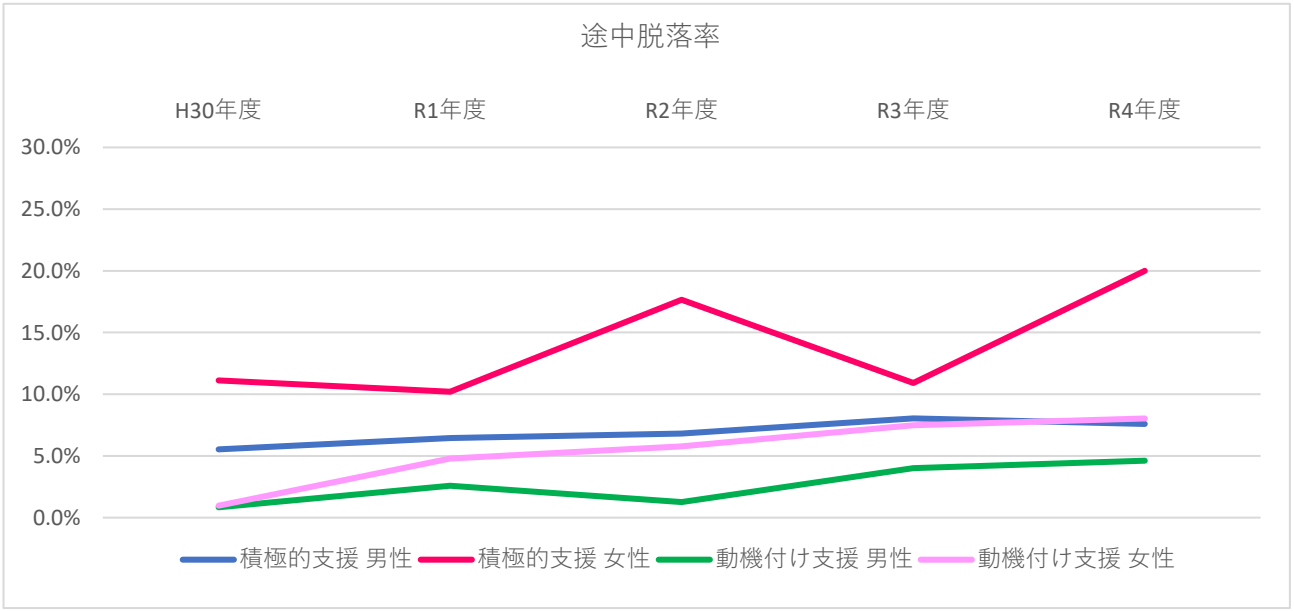
積極的支援、動機付け支援の保健指導実施者の途中脱落状況は以下の通りです。

積極的支援特定保健指導脱落状況

	実施者数		脱落者数		脱落率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年度	524	27	29	3	5.5%	11.1%
R1年度	605	49	39	5	6.4%	10.2%
R2年度	485	34	33	6	6.8%	17.6%
R3年度	547	55	44	6	8.0%	10.9%
R4年度	513	40	39	8	7.6%	20.0%

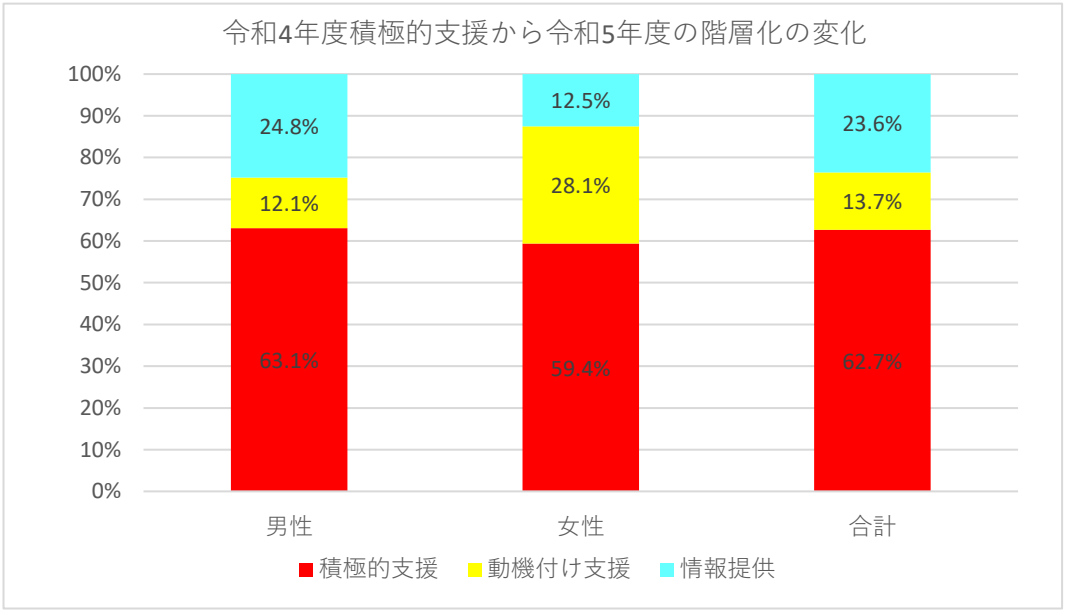
動機付け支援特定保健指導脱落状況

	実施者数		脱落者数		脱落率	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年度	357	103	3	1	0.8%	1.0%
R1年度	309	125	8	6	2.6%	4.8%
R2年度	317	104	4	6	1.3%	5.8%
R3年度	375	120	15	9	4.0%	7.5%
R4年度	390	112	18	9	4.6%	8.0%



令和 4 年度、特定保健指導積極的支援を受診された方で、令和 5 年度も当協会にて特定健診結果が追跡できた 322 名の階層化の変化となっております。

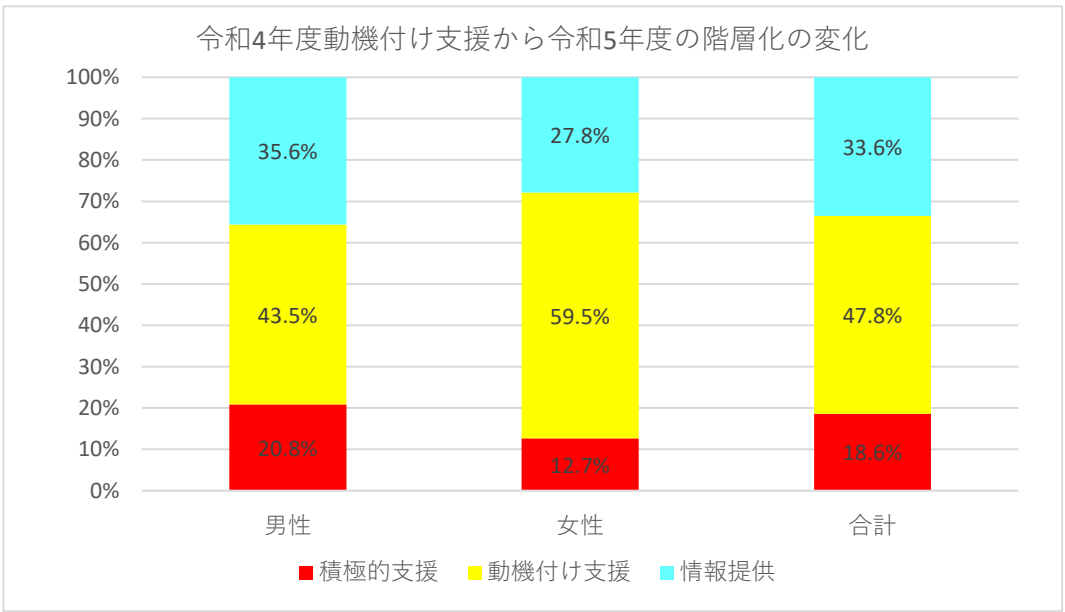
	積極的支援	動機付け支援	情報提供
男性	183	35	72
女性	19	9	4



男性で 24.8%、女性で 12.5%、全体で 23.6%が階層化で改善が見られます。

令和 4 年度、特定保健指導動機付け支援を受診された方で、令和 5 年度も当協会にて特定健診結果が追跡できた 295 名の階層化の変化となっております。

	積極的支援	動機付け支援	情報提供
男性	45	94	77
女性	10	47	22



男性で 35.6%、女性で 27.8%、全体で 33.6%が階層化で改善が見られ、男性で 20.8%、女性で 12.7%、全体で 18.6%が改悪となっております。

【人間ドック】

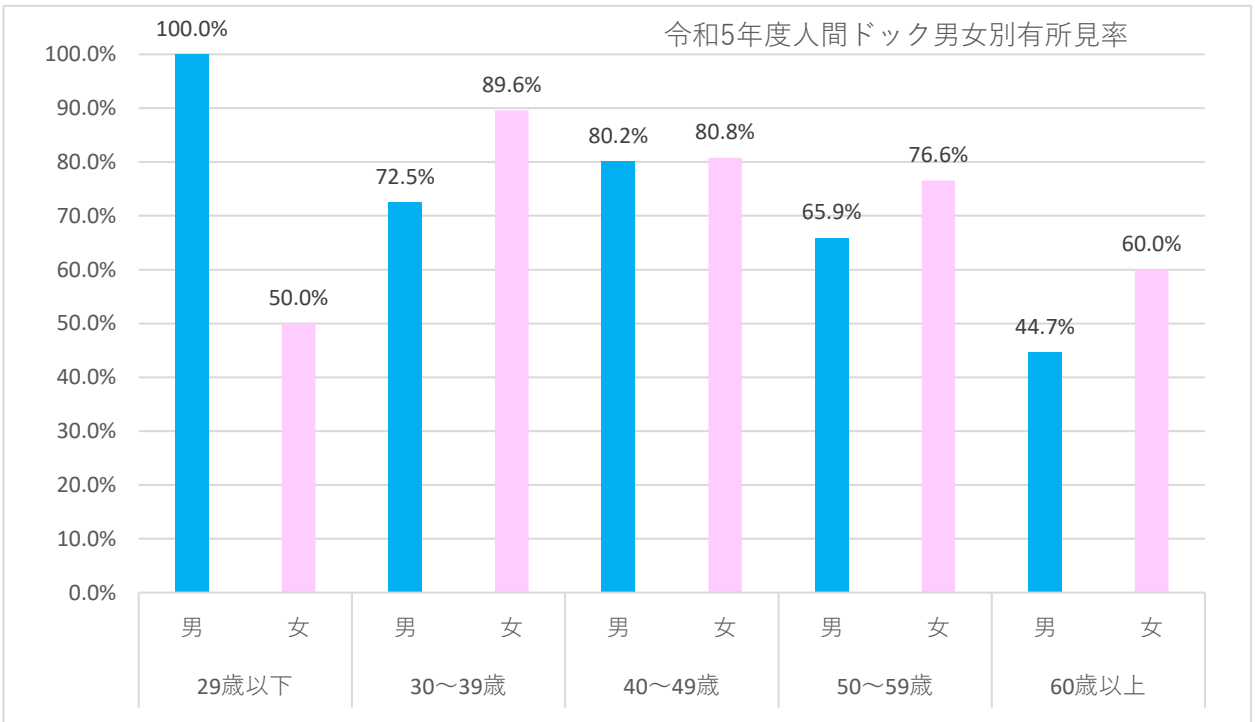
人間ドックは、疾患リスクの早期発見・早期診療を目的とする任意の健康診断で定期健診・特定健診よりさらに詳しい検査を行います。がん・心臓病・脳血管疾患など重大な疾患のリスクを調べるとともに、それらと密接な関係にある糖尿病・高血圧・脂質異常症・肥満（生活習慣病）や動脈硬化などのチェックに欠かせません。

生活習慣病や動脈硬化は、自覚症状がほとんどないうちに進行するため、重大な疾患を発症する前に、人間ドックを定期的に受診し、いままで見つからなかった疾病の早期発見、早期治療につなげることが、健康維持のために重要といわれています。

令和５年度の人間ドック受診状況は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別人間ドック診断結果

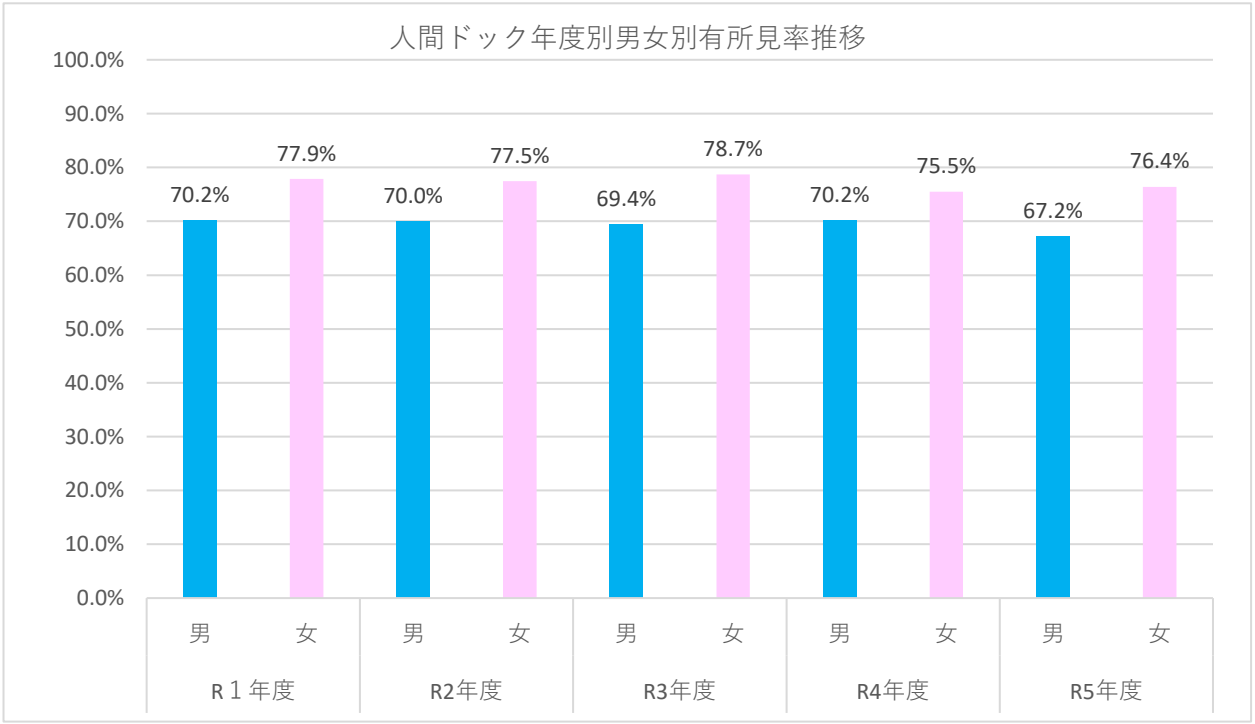
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
29歳以下	男	3	3	100.0%
	女	2	1	50.0%
	計	5	4	80.0%
30～39歳	男	80	58	72.5%
	女	48	43	89.6%
	計	128	101	78.9%
40～49歳	男	358	287	80.2%
	女	177	143	80.8%
	計	535	430	80.4%
50～59歳	男	393	259	65.9%
	女	239	183	76.6%
	計	632	442	69.9%
60歳以上	男	206	92	44.7%
	女	85	51	60.0%
	計	291	143	49.1%
合　計	男	1,040	699	67.2%
	女	551	421	76.4%
	計	1,591	1,120	70.4%



過去５年間の人間ドック受診状況の推移となっております。

人間ドック診断結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	1,186	832	70.2%
	女	560	436	77.9%
	計	1,746	1,268	72.6%
R2年度	男	996	697	70.0%
	女	493	382	77.5%
	計	1,489	1,079	72.5%
R3年度	男	1,006	698	69.4%
	女	498	392	78.7%
	計	1,504	1,090	72.5%
R4年度	男	1,122	788	70.2%
	女	576	435	75.5%
	計	1,698	1,223	72.0%
R5年度	男	1,040	699	67.2%
	女	551	421	76.4%
	計	1,591	1,120	70.4%



【特殊健康診断】

労働安全衛生法により、有害な作業環境に従事している方々には、特殊健康診断が義務付けられています。当協会では対象となる方の特殊健康診断を行っております。

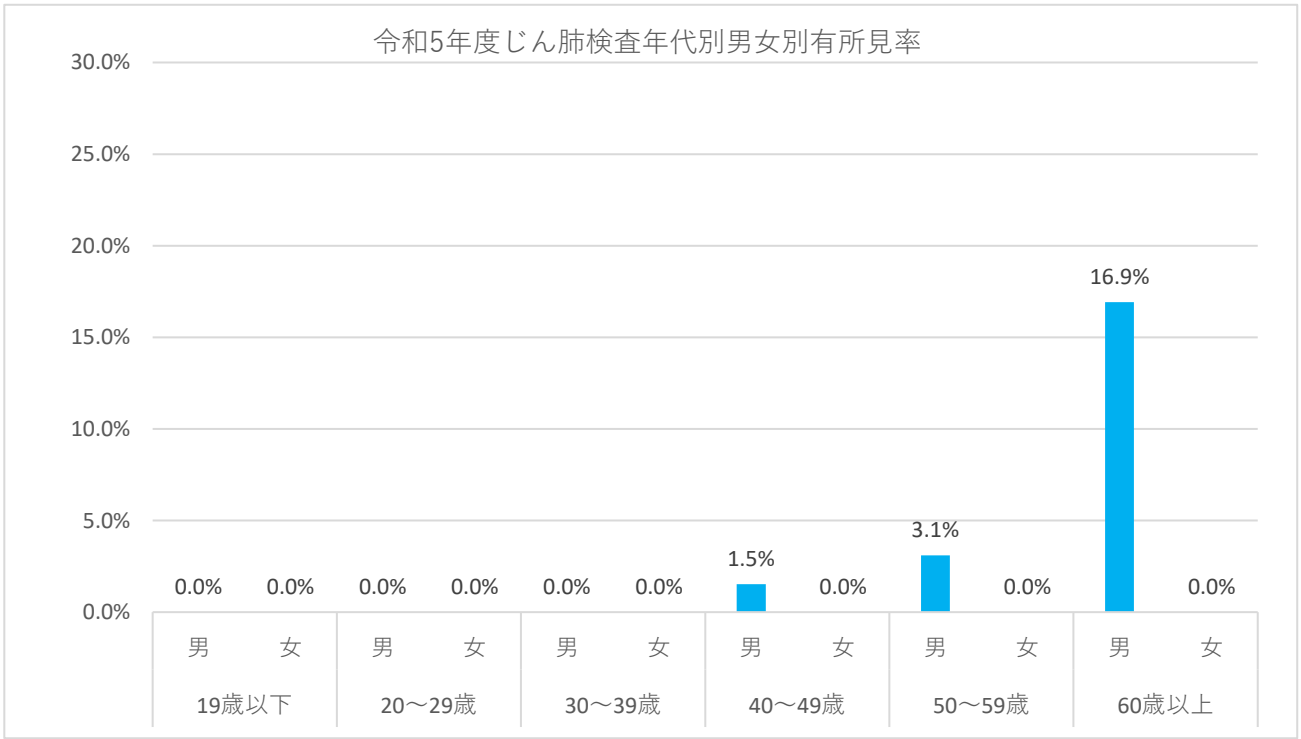
【じん肺健康診断】

事業者は、じん肺法施行規則により「遅滞なく～3 年以内ごと」 に新たに常時粉じん作業に従事することとなった労働者、常時粉じん作業に従事する労働者に対して、じん肺健康診断を行わなければなりません。胸部X線検査でじん肺の所見が認められた場合はさらに詳しい検査が必要となります。

令和５年度の年代別男女別じん肺検査は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別じん肺検査結果

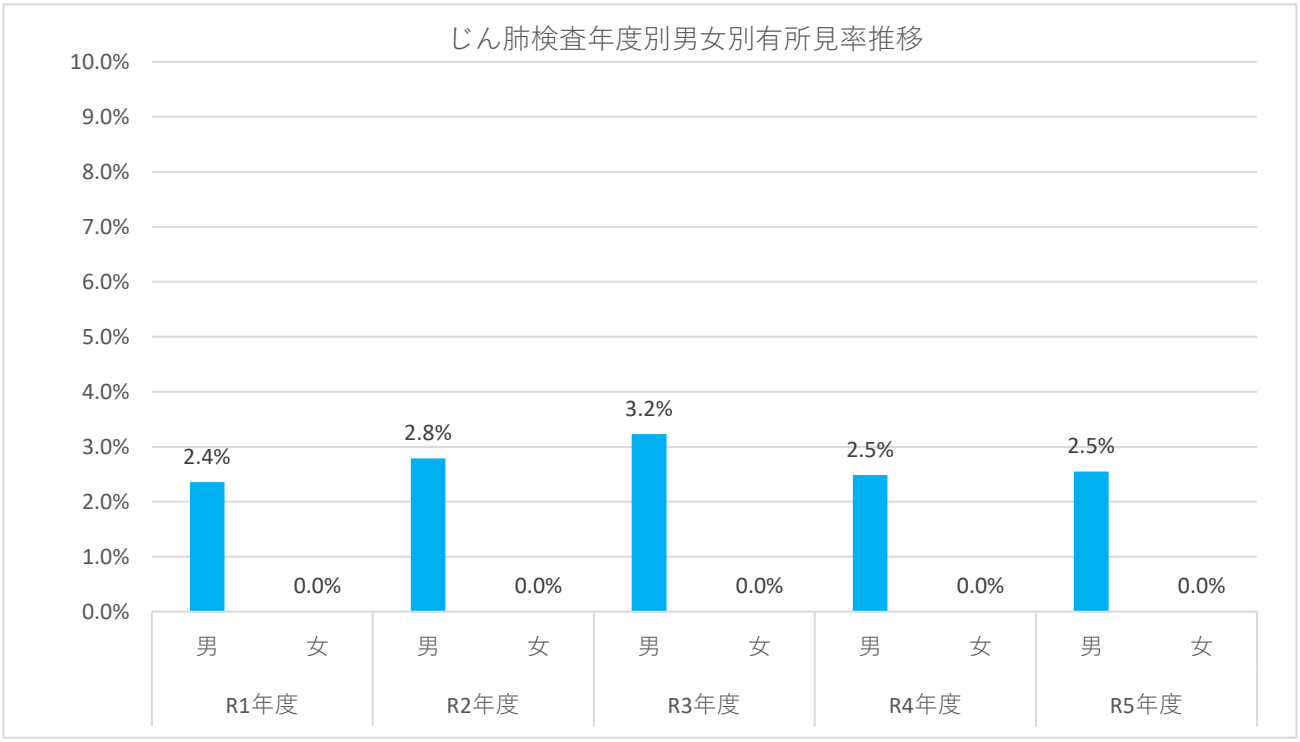
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
19歳以下	男	26	－	0.0%
	女	3	－	0.0%
	計	29	－	0.0%
20～29歳	男	285	－	0.0%
	女	14	－	0.0%
	計	299	－	0.0%
30～39歳	男	347	－	0.0%
	女	11	－	0.0%
	計	358	－	0.0%
40～49歳	男	327	5	1.5%
	女	16	－	0.0%
	計	343	5	1.5%
50～59歳	男	258	8	3.1%
	女	13	－	0.0%
	計	271	8	3.0%
60歳以上	男	130	22	16.9%
	女	12	－	0.0%
	計	142	22	15.5%
合計	男	1,373	35	2.5%
	女	69	－	0.0%
	計	1,442	35	2.4%



過去５年間のじん肺検査の結果推移は以下の通りです。

じん肺検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	1,486	35	2.4%
	女	71	−	0.0%
	計	1,557	35	2.2%
R2年度	男	1,436	40	2.8%
	女	54	−	0.0%
	計	1,490	40	2.7%
R3年度	男	1,331	43	3.2%
	女	62	−	0.0%
	計	1,393	43	3.1%
R4年度	男	1,490	37	2.5%
	女	66	−	0.0%
	計	1,556	37	2.4%
R5年度	男	1,373	35	2.5%
	女	69	−	0.0%
	計	1,442	35	2.4%

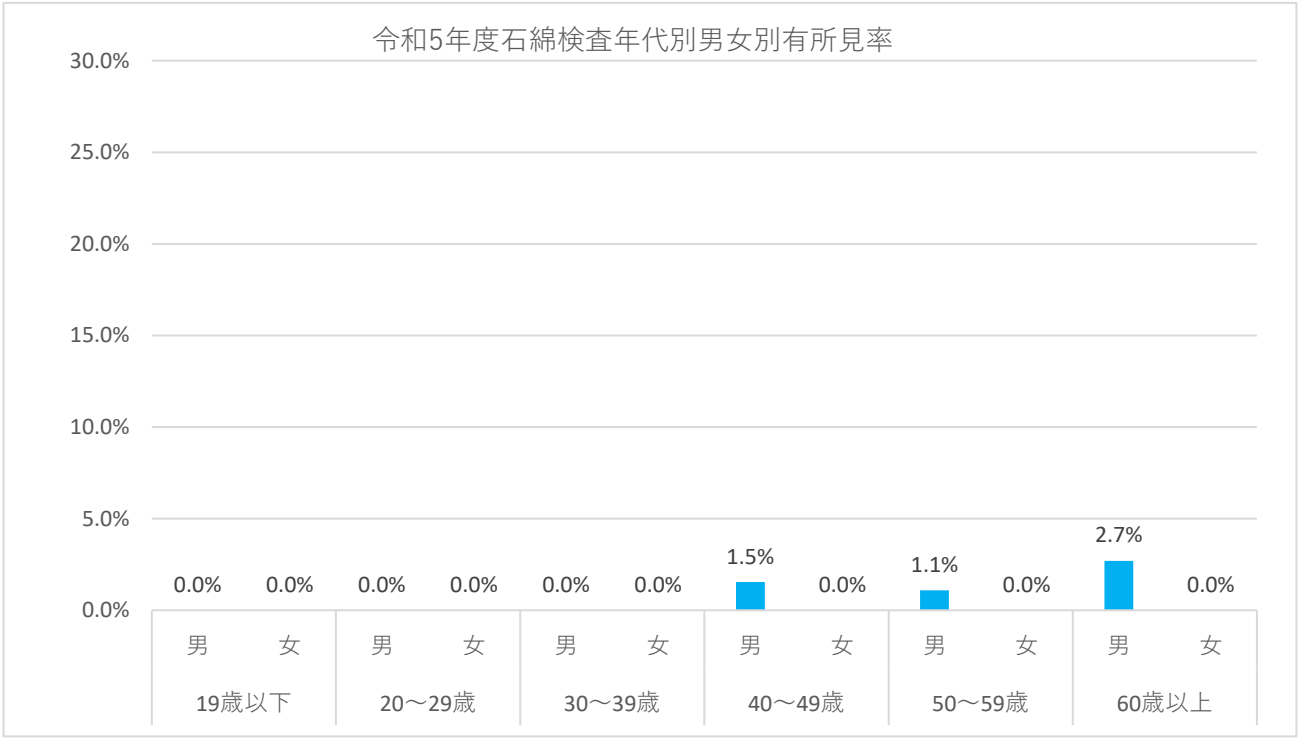


【石綿健康診断】

事業者は、石綿障害予防規則に基づき、「石綿を製造し、もしくは取り扱う業務等に常時従事する労働者」および「事業場の在籍労働者で、過去においてその事業場で石綿を製造し、または取り扱う業務に常時従事したことのある者」に対して雇入れ時、当該業務への配置換え時、その後定期的（６か月以内 に１回）に健康診断を実施しなければなりません。
令和５年度の年代別男女別石綿検査は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別石綿検査結果

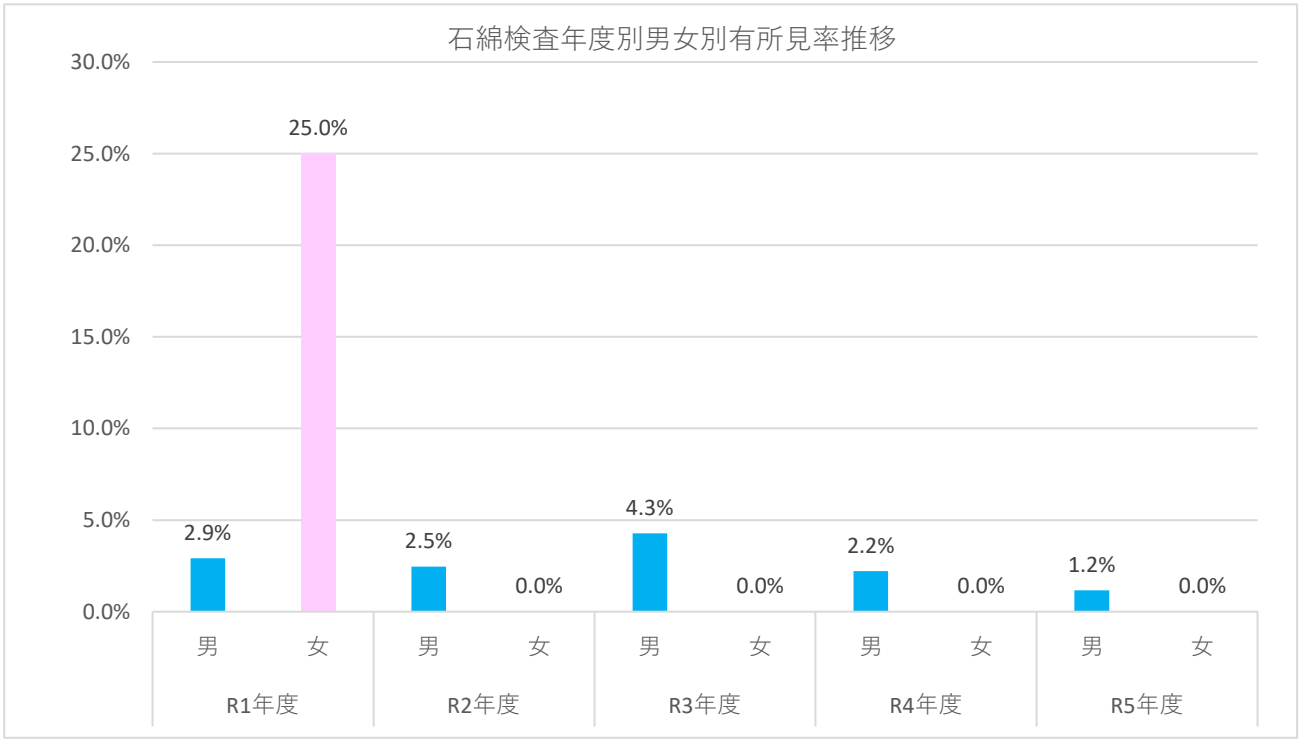
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
19歳以下	男	－	－	0.0%
	女	－	－	0.0%
	計	－	－	0.0%
20～29歳	男	36	－	0.0%
	女	4	－	0.0%
	計	40	－	0.0%
30～39歳	男	28	－	0.0%
	女	－	－	0.0%
	計	28	－	0.0%
40～49歳	男	65	1	1.5%
	女	－	－	0.0%
	計	65	1	1.5%
50～59歳	男	92	1	1.1%
	女	1	－	0.0%
	計	93	1	1.1%
60歳以上	男	37	1	2.7%
	女	－	－	0.0%
	計	37	1	2.7%
合計	男	258	3	1.2%
	女	5	－	0.0%
	計	263	3	1.1%



過去５年間の石綿検査の結果推移は以下の通りです。

石綿検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	721	21	2.9%
	女	4	1	25.0%
	計	725	22	3.0%
R2年度	男	163	4	2.5%
	女	－	－	0.0%
	計	163	4	2.5%
R3年度	男	187	8	4.3%
	女	－	－	0.0%
	計	187	8	4.3%
R4年度	男	181	4	2.2%
	女	－	－	0.0%
	計	181	4	2.2%
R5年度	男	258	3	1.2%
	女	5	－	0.0%
	計	263	3	1.1%



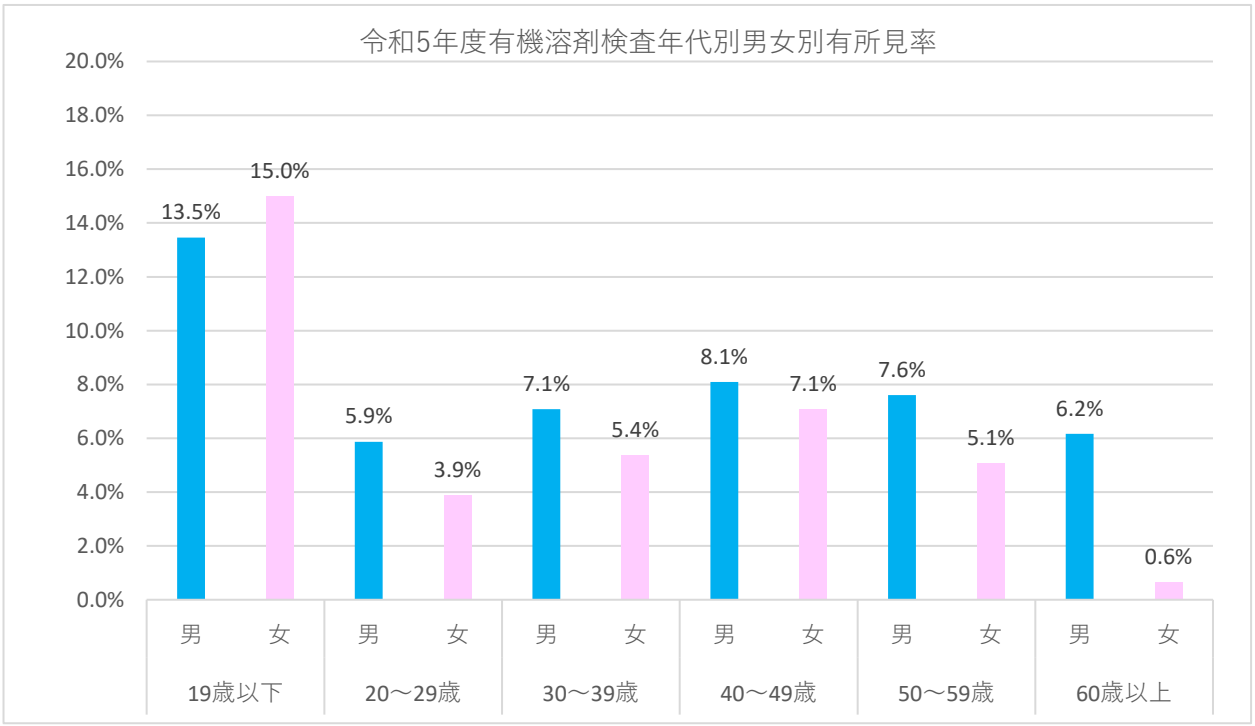
【有機溶剤健康診断】

事業者は、有機溶剤中毒予防規則第１条第６項の有機溶剤業務に従事する労働者に対しては雇い入れ時と当該業務への配置換え時、およびその後定期的（６か月以内ごとに１回）に健康診断を実施しなければなりません。

令和５年度の年代別男女別有機溶検査は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別有機溶剤検査結果

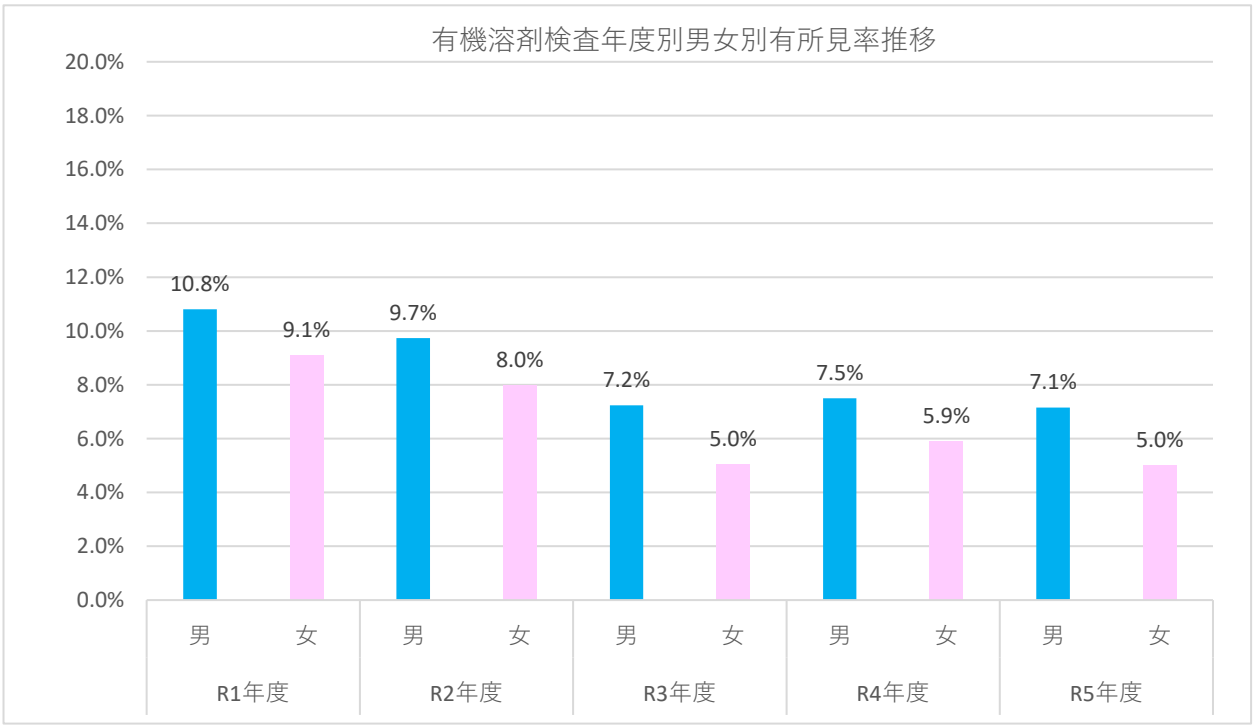
区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
19歳以下	男	104	14	13.5%
	女	20	3	15.0%
	計	124	17	13.7%
20～29歳	男	2,060	121	5.9%
	女	565	22	3.9%
	計	2,625	143	5.4%
30～39歳	男	2,317	164	7.1%
	女	391	21	5.4%
	計	2,708	185	6.8%
40～49歳	男	2,176	176	8.1%
	女	452	32	7.1%
	計	2,628	208	7.9%
50～59歳	男	1,473	112	7.6%
	女	414	21	5.1%
	計	1,887	133	7.0%
60歳以上	男	584	36	6.2%
	女	158	1	0.6%
	計	742	37	5.0%
合計	男	8,714	623	7.1%
	女	2,000	100	5.0%
	計	10,714	723	6.7%



過去５年間の有機溶剤検査の結果推移は以下の通りです。

有機溶剤検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	7,369	796	10.8%
	女	1,873	170	9.1%
	計	9,242	966	10.5%
R2年度	男	7,880	767	9.7%
	女	1,945	155	8.0%
	計	9,825	922	9.4%
R3年度	男	8,713	630	7.2%
	女	2,126	107	5.0%
	計	10,839	737	6.8%
R4年度	男	8,920	669	7.5%
	女	2,049	121	5.9%
	計	10,969	790	7.2%
R5年度	男	8,714	623	7.1%
	女	2,000	100	5.0%
	計	10,714	723	6.7%



【鉛健康診断】

事業者は、鉛中毒予防規則第１条第５項の業務に従事する労働者に対しては雇い入れ時と当該業務への配置換え時、およびその後定期的（6 か月以内ごとに１回）に健康診断を実施しなければなりません。

令和５年度の年代別男女別鉛検査は以下の通りです。

令和5年度年代別男女別鉛検査結果

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
19歳以下	男	−	−	0.0%
	女	−	−	0.0%
	計	−	−	0.0%
20～29歳	男	29	9	31.0%
	女	2	−	0.0%
	計	31	9	29.0%
30～39歳	男	39	5	12.8%
	女	7	−	0.0%
	計	46	5	10.9%
40～49歳	男	24	2	8.3%
	女	6	−	0.0%
	計	30	2	6.7%
50～59歳	男	18	6	33.3%
	女	5	−	0.0%
	計	23	6	26.1%
60歳以上	男	18	−	0.0%
	女	2	−	0.0%
	計	20	−	0.0%
合計	男	128	22	17.2%
	女	22	−	0.0%
	計	150	22	14.7%

過去５年間の鉛検査の結果推移は以下の通りです。

鉛検査結果（過去5年間）

区分	性別	受診者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	180	−	0.0%
	女	70	−	0.0%
	計	250	−	0.0%
R2年度	男	137	3	2.2%
	女	48	−	0.0%
	計	185	3	1.6%
R3年度	男	115	7	6.1%
	女	36	−	0.0%
	計	151	7	4.6%
R4年度	男	125	8	6.4%
	女	24	2	8.3%
	計	149	10	6.7%
R5年度	男	128	22	17.2%
	女	22	−	0.0%
	計	150	22	14.7%

学　校　保　健

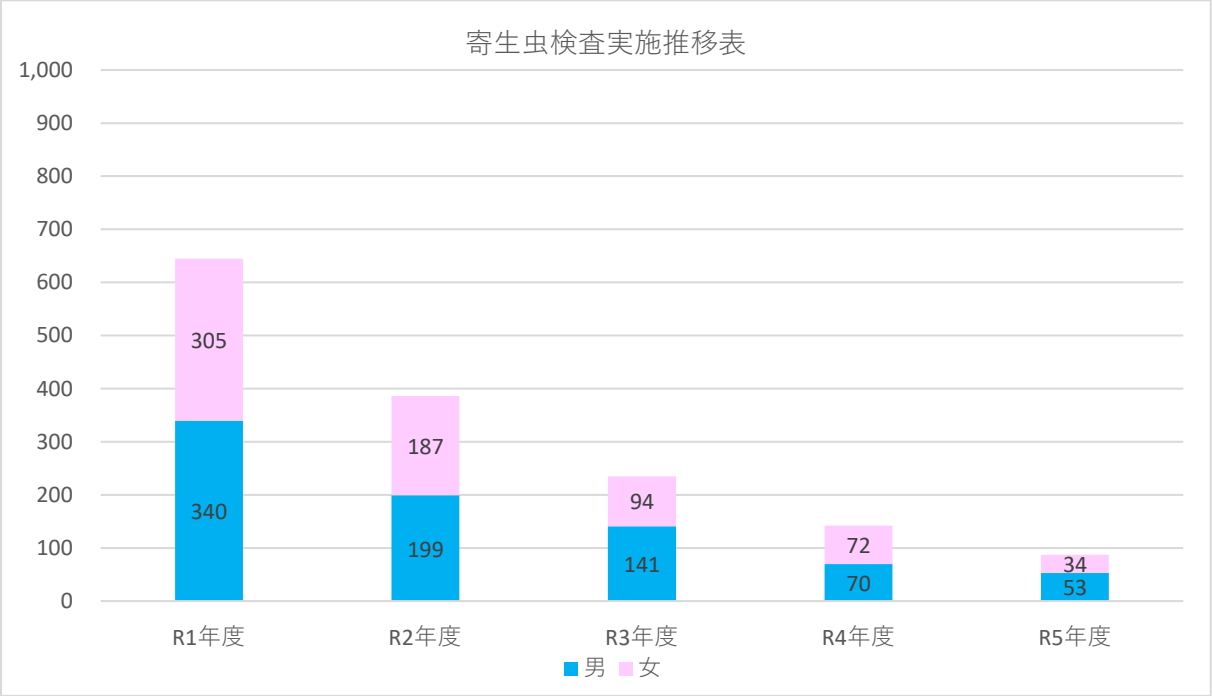
私たちは、未来を担う子供たちの健康を守るため、寄生虫検査・蟯虫検査・尿検査・心電図検査・貧血検査を要望に応じて実施し、小児期からの生活習慣病予防に努めております。しかしながら近年の少子化において健診数の減少があらわれております。

【寄生虫検査】

寄生虫検査では、便内に含まれる回虫・鞭虫等の腸管寄生虫卵の有無を検査しております。

寄生虫検査実施推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	340	199	141	70	53
女	305	187	94	72	34
計	645	386	235	142	87



令和5年度寄生虫検査結果

区分	性別	受検者数	保卵者		保卵者の内訳(混合虫卵者数を含む)						
			数	率	回虫	鉤虫	鞭虫	東洋毛	蟯虫	横川異	その他
保・幼稚園	男	53	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	34	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	87	−	−	−	−	−	−	−	−	−
小学校	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
中学校	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
高等学校	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
特殊学園	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
合　計	男	53	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	34	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	87	−	−	−	−	−	−	−	−	−

寄生虫検査結果（過去5年間）

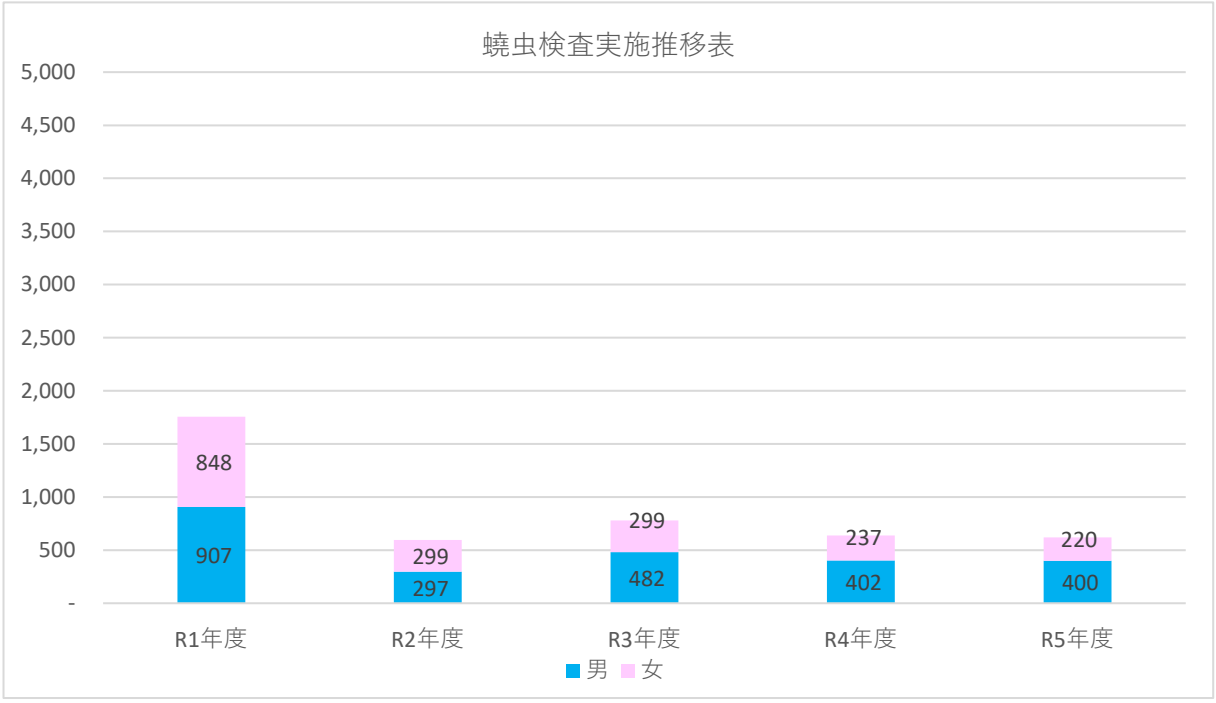
区分	性別	受検者数	保卵者		保卵者の内訳(混合虫卵者数を含む)						
			数	率	回虫	鉤虫	鞭虫	東洋毛	蟯虫	横川異	その他
R1年度	男	340	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	305	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	645	−	−	−	−	−	−	−	−	−
R2年度	男	199	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	187	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	386	−	−	−	−	−	−	−	−	−
R3年度	男	141	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	94	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	235	−	−	−	−	−	−	−	−	−
R4年度	男	70	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	72	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	142	−	−	−	−	−	−	−	−	−
R5年度	男	53	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	34	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	計	87	−	−	−	−	−	−	−	−	−

【蟯虫検査】

蟯虫検査では、ウスイ式セロファンテープ二日連続採取法を用いて、肛門周りに産卵した蟯虫卵の有無を検査しております。

蟯虫検査実施推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	907	297	482	402	400
女	848	299	299	237	220
計	1,755	596	781	639	620

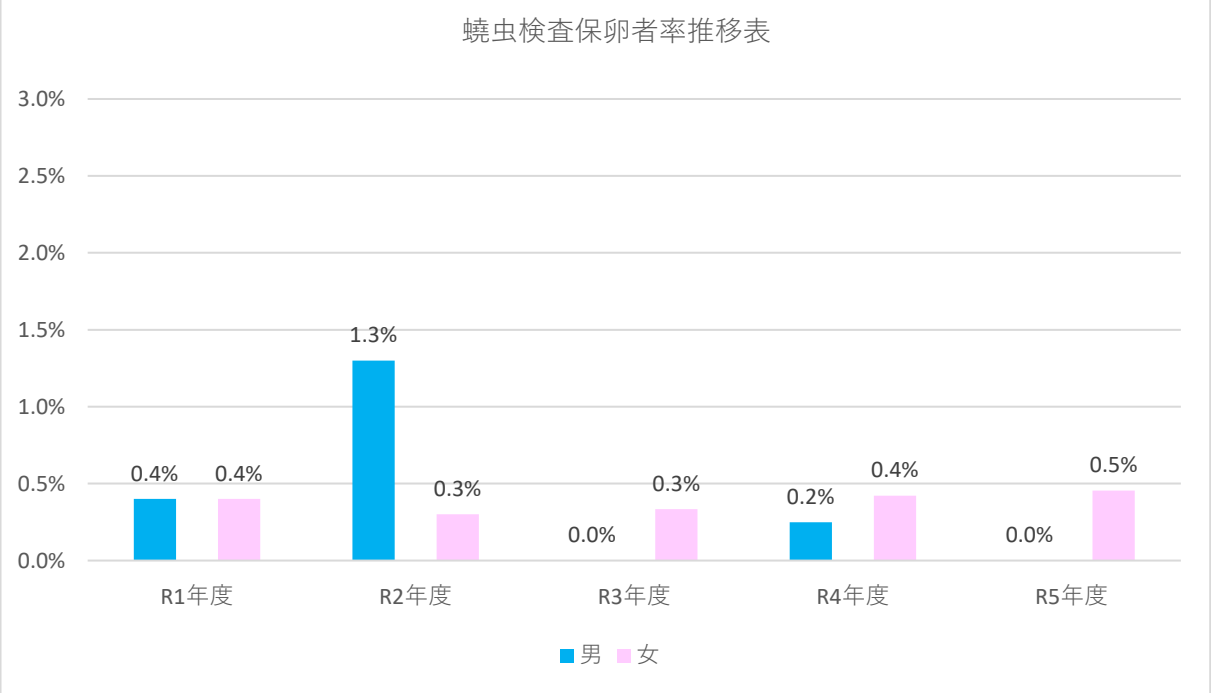


令和5年度蟯虫検査結果

区分	性別	受検者数	保卵者	
			数	率
保・幼稚園	男	48	−	0.0%
	女	43	1	2.3%
	計	91	1	1.1%
小学校	男	−	−	0.0%
	女	−	−	0.0%
	計	−	−	0.0%
中学校	男	−	−	0.0%
	女	−	−	0.0%
	計	−	−	0.0%
高等学校	男	−	−	0.0%
	女	−	−	0.0%
	計	−	−	0.0%
特殊学園	男	352	−	0.0%
	女	177	−	0.0%
	計	529	−	0.0%
合　計	男	400	−	0.0%
	女	220	1	0.5%
	計	620	1	0.2%

蟯虫検査結果（過去5年間）

区分	性別	受検者数	保卵者	
			数	率
R1年度	男	907	4	0.4%
	女	848	3	0.4%
	計	1,755	7	0.4%
R2年度	男	297	4	1.3%
	女	299	1	0.0%
	計	596	5	0.8%
R3年度	男	482	−	0.0%
	女	299	1	0.3%
	計	781	1	0.1%
R4年度	男	402	1	0.2%
	女	237	1	0.4%
	計	639	2	0.3%
R5年度	男	400	−	0.0%
	女	220	1	0.5%
	計	639	2	0.3%

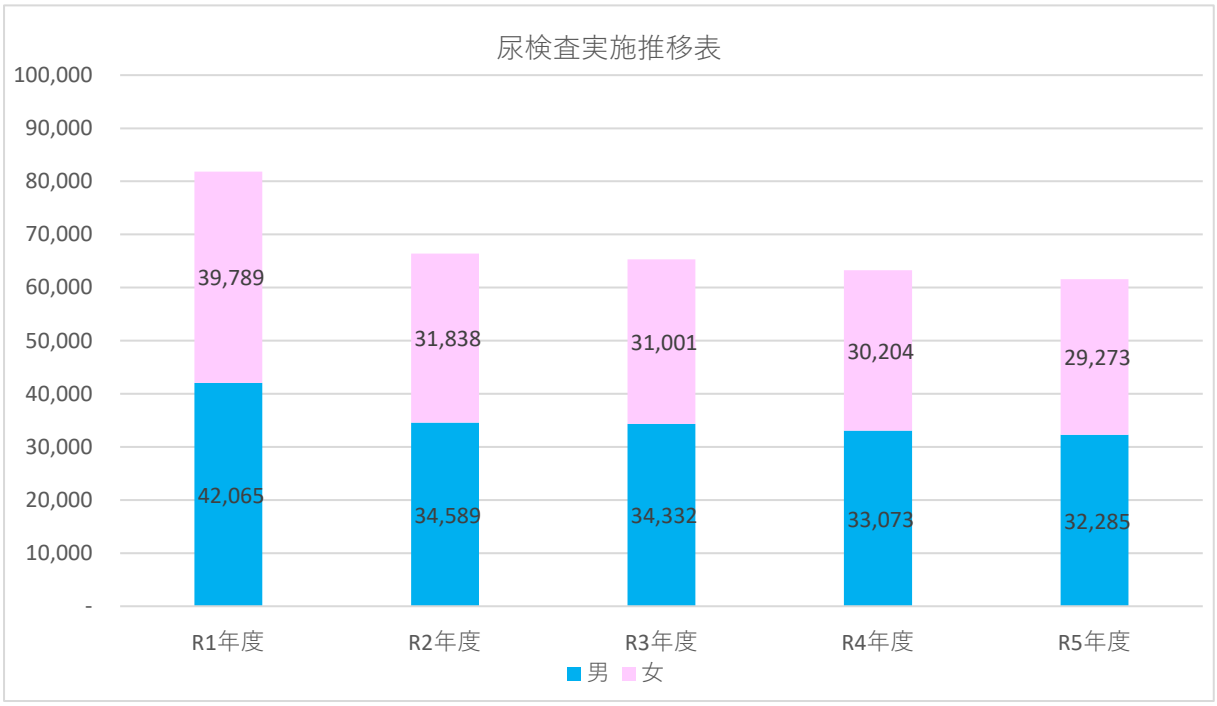


【尿検査】

尿検査では、早朝第一中間尿（原則）を試験紙法で、糖・蛋白・潜血の三法について判定を行っております。

尿検査実施推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	42,065	34,589	34,332	33,073	32,285
女	39,789	31,838	31,001	30,204	29,273
計	81,854	66,427	65,333	63,277	61,558

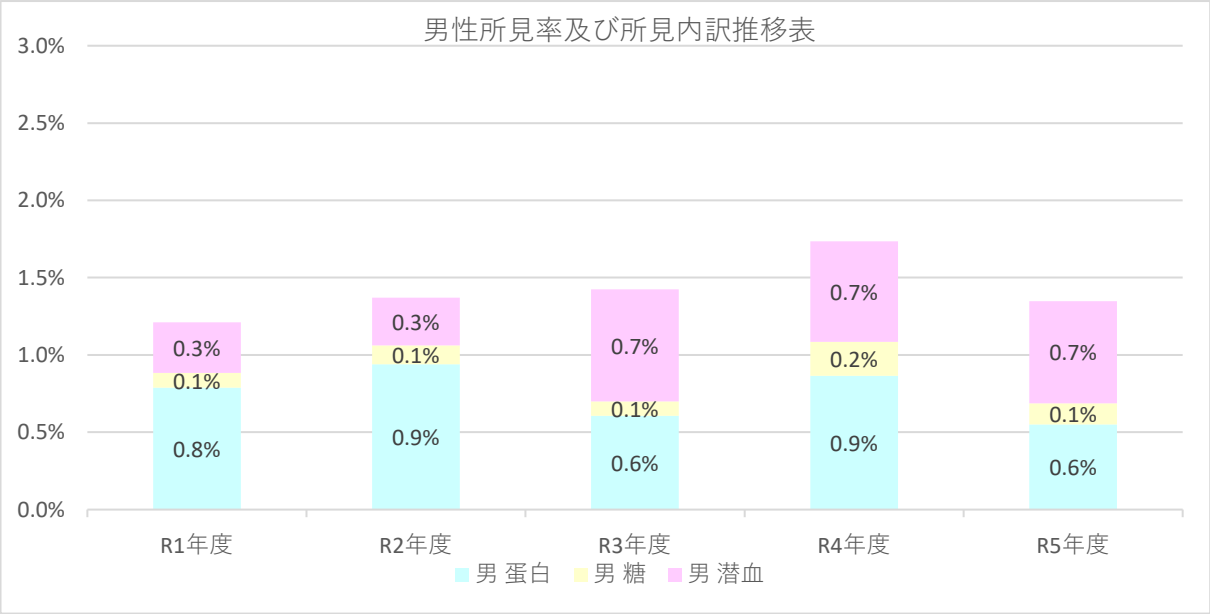


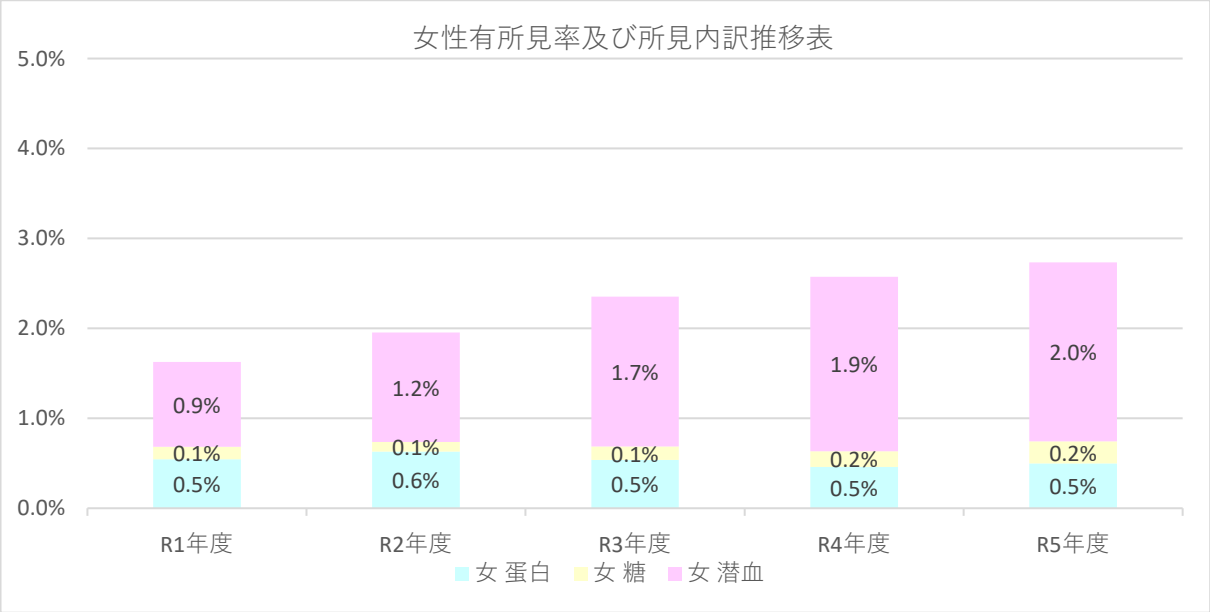
令和5年度尿検査結果

区分	性別	受検者数	内訳								
			蛋白			糖			潜血		
			正常者数	陽性者数	陽性率%	正常者数	陽性者数	陽性率%	正常者数	陽性者数	陽性率%
保・幼稚園	男	7,913	7,900	13	0.2%	7,900	13	0.2%	7,871	42	0.5%
	女	7,247	7,218	29	0.4%	7,219	28	0.4%	7,139	108	1.5%
	計	15,160	15,118	42	0.3%	15,119	41	0.3%	15,010	150	1.0%
小学校	男	14,999	14,972	27	0.2%	14,984	15	0.1%	14,895	104	0.7%
	女	13,593	13,554	39	0.3%	13,580	13	0.1%	13,364	229	1.7%
	計	28,592	28,526	66	0.2%	28,564	28	0.1%	28,259	333	1.2%
中学校	男	7,862	7,745	117	1.5%	7,853	9	0.1%	7,813	49	0.6%
	女	7,329	7,256	73	1.0%	7,305	24	0.3%	7,126	203	2.8%
	計	15,191	15,001	190	1.3%	15,158	33	0.2%	14,939	252	1.7%
高等学校	男	1,263	1,246	17	1.4%	1,259	4	0.3%	1,249	14	1.1%
	女	959	956	3	0.3%	953	6	0.6%	930	29	3.1%
	計	2,222	2,202	20	0.9%	2,212	10	0.5%	2,179	43	2.0%
特殊学園	男	248	245	3	1.2%	245	3	1.2%	245	3	1.2%
	女	145	144	1	0.7%	144	1	0.7%	143	2	1.4%
	計	393	389	4	1.0%	389	4	1.0%	388	5	1.3%
合　計	男	32,285	32,108	177	0.6%	32,241	44	0.1%	32,073	212	0.7%
	女	29,273	29,128	145	0.5%	29,201	72	0.2%	28,702	571	2.0%
	計	61,558	61,236	322	0.5%	61,442	116	0.2%	60,775	783	1.3%

尿検査結果（過去5年間）

区分	性別	受検者数	内訳								
			蛋白			糖			潜血		
			正常者数	陽性者数	陽性率%	正常者数	陽性者数	陽性率%	正常者数	陽性者数	陽性率%
R1年度	男	42,065	41,736	329	0.8%	42,025	40	0.1%	41,928	137	0.3%
	女	39,789	39,573	216	0.5%	39,735	54	0.1%	39,417	372	0.9%
	計	81,854	81,309	545	0.7%	81,760	94	0.1%	81,345	509	0.6%
R2年度	男	34,589	34,267	322	0.9%	34,547	42	0.1%	34,482	107	0.3%
	女	31,838	31,639	199	0.6%	31,804	34	0.1%	31,455	383	1.2%
	計	66,427	65,906	521	0.8%	66,351	76	0.1%	65,937	490	0.7%
R3年度	男	34,332	34,125	207	0.6%	34,300	32	0.1%	34,085	247	0.7%
	女	31,001	30,835	166	0.5%	30,955	46	0.1%	30,493	508	1.7%
	計	65,333	64,960	373	0.6%	65,255	78	0.1%	64,578	755	1.2%
R4年度	男	33,073	32,789	284	0.9%	33,001	72	0.2%	32,859	214	0.7%
	女	30,204	30,066	138	0.5%	30,151	53	0.2%	29,630	574	1.9%
	計	63,277	62,855	422	0.7%	63,152	125	0.2%	62,489	788	1.3%
R5年度	男	32,285	32,108	177	0.6%	32,241	44	0.1%	32,073	212	0.7%
	女	29,273	29,128	145	0.5%	29,201	72	0.2%	28,702	571	2.0%
	計	61,558	61,236	322	0.5%	61,442	116	0.2%	60,775	783	1.3%



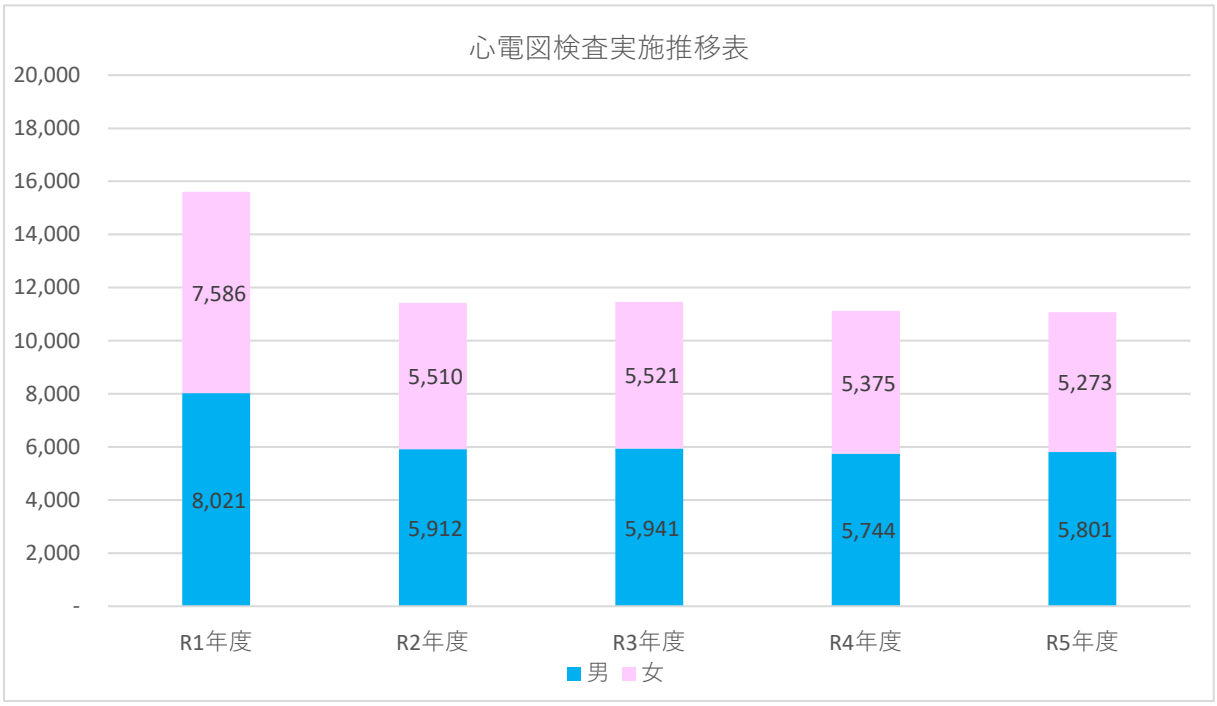


【心電図検査】

心電図検査では、標準 12 誘導による心電図検査を実施しております。

心電図検査実施推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	8,021	5,912	5,941	5,744	5,801
女	7,586	5,510	5,521	5,375	5,273
計	15,607	11,422	11,462	11,119	11,074

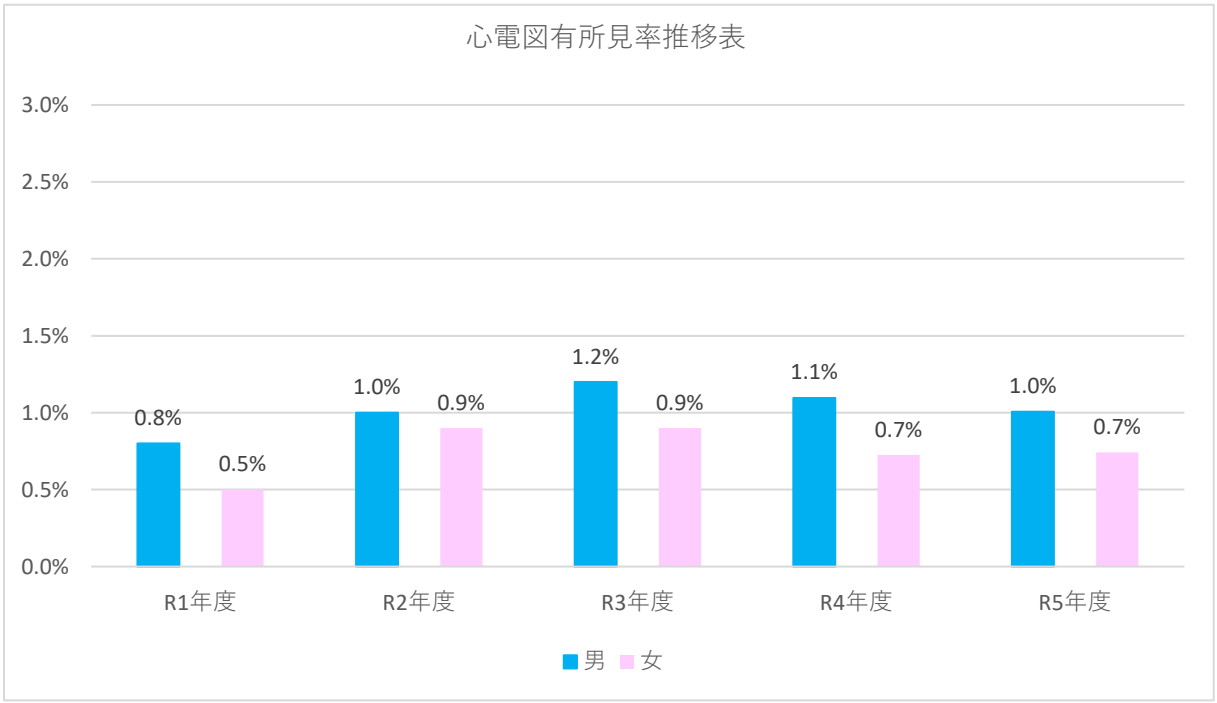


令和5年度心電図検査結果

区分	性別	受検者数	有所見者	
			数	率
小学校	男	2,230	18	0.8%
	女	2,058	7	0.3%
	計	4,288	25	0.6%
中学校	男	3,047	32	1.1%
	女	2,866	32	1.1%
	計	5,913	64	1.1%
高等学校	男	450	9	2.0%
	女	296	2	0.7%
	計	746	11	1.5%
特殊学園	男	74	4	5.4%
	女	53	2	3.8%
	計	127	6	4.7%
合　計	男	5,801	63	1.1%
	女	5,273	43	0.8%
	計	11,074	106	1.0%

心電図検査結果（過去5年間）

区分	性別	受検者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	8,021	62	0.8%
	女	7,586	40	0.5%
	計	15,607	102	0.7%
R2年度	男	5,912	62	1.0%
	女	5,510	50	0.9%
	計	11,422	112	1.0%
R3年度	男	5,941	71	1.2%
	女	5,521	49	0.9%
	計	11,462	120	1.0%
R4年度	男	5,744	63	1.1%
	女	5,375	39	0.7%
	計	11,119	102	0.9%
R5年度	男	5,801	258	4.4%
	女	5,273	178	3.4%
	計	11,074	436	3.9%

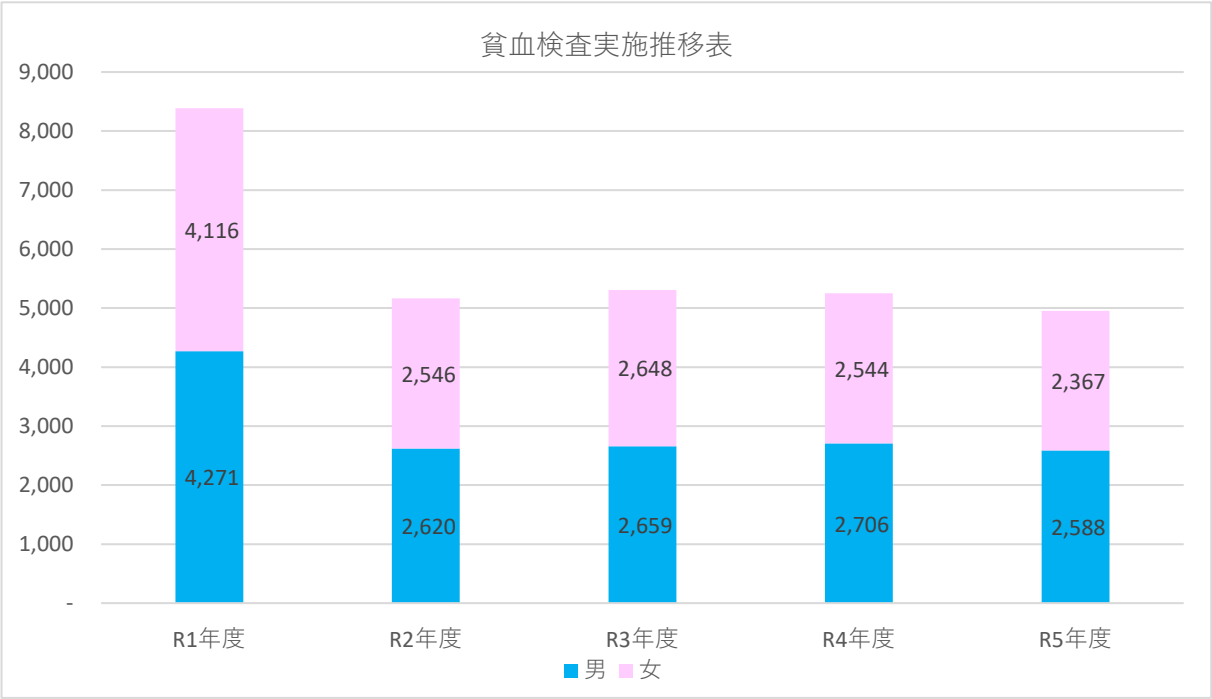


【貧血検査】

貧血検査では、静脈採血で血色素量・ヘマトクリット値・赤血球数・白血球数・平均赤血球血色素量・平均赤血球容積・平均赤血球血色素濃度を測定し、指導区分が要受診と判定された方については、さらに血液像・血小板数を追加測定しております。

貧血検査実施推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
男	4,271	2,620	2,659	2,706	2,588
女	4,116	2,546	2,648	2,544	2,367
計	8,387	5,166	5,307	5,250	4,955

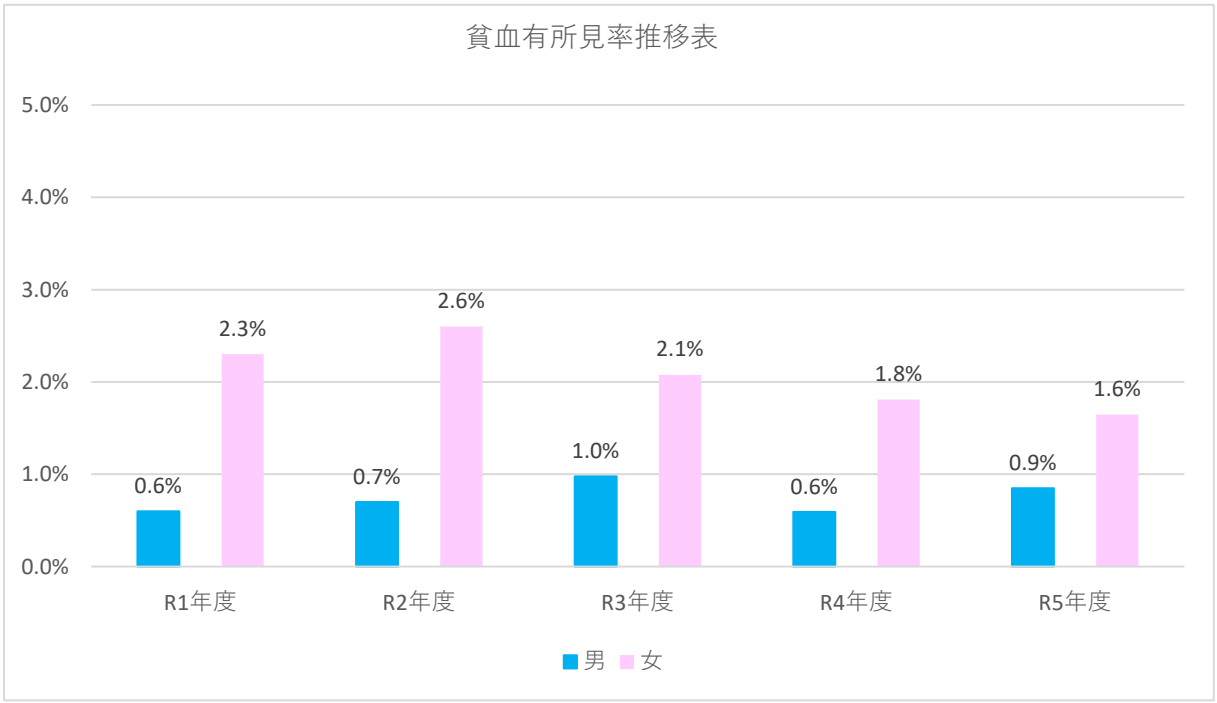


令和5年度貧血検査結果

区分	性別	受検者数	有所見者	
			数	率
幼保園	男	－	－	－
	女	－	－	－
	計	－	－	－
小学校	男	195	2	1.0%
	女	186	－	0.0%
	計	381	2	0.5%
中学校	男	2,258	14	0.6%
	女	2,075	33	1.6%
	計	4,333	47	1.1%
高等学校	男	135	6	4.4%
	女	106	6	5.7%
	計	241	12	5.0%
合　計	男	2,588	22	0.9%
	女	2,367	39	1.6%
	計	4,955	61	1.2%

貧血検査結果（過去5年間）

区分	性別	受検者数	有所見者	
			数	率
R1年度	男	4,271	24	0.6%
	女	4,116	96	2.3%
	計	8,387	120	1.4%
R2年度	男	2,620	19	0.7%
	女	2,546	67	2.6%
	計	5,166	86	1.7%
R3年度	男	2,659	26	1.0%
	女	2,648	55	2.1%
	計	5,307	81	1.5%
R4年度	男	2,706	16	0.6%
	女	2,544	46	1.8%
	計	5,250	62	1.2%
R5年度	男	2,588	22	0.9%
	女	2,367	39	1.6%
	計	4,955	61	1.2%



地　域　保　健

公益財団法人福井県予防医学協会は、各市町からの委託を受けて地域の住民健診のお手伝いをしています。
この長寿社会を、より長い健康寿命で過ごすために、定期的に健診を受け、疾病の予防や、生活習慣病、がんの早期発見に努めることが重要です。

【住民健診の健康診査等】

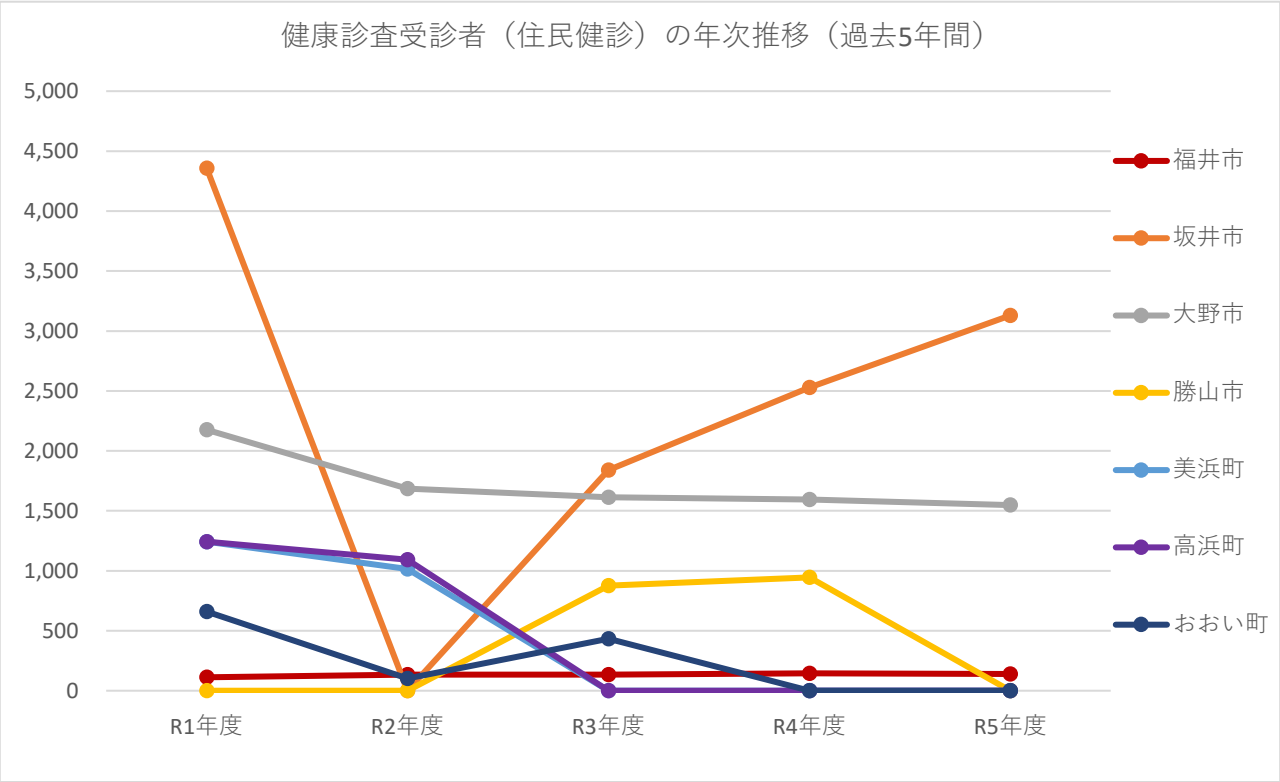
令和５年度の住民健診は３市町より受託し、延べ57日稼働、１日平均85人実施、受診者数4,817人（前年比8%減）でした。今年度は勝山市の健診がありませんでした。

令和５年度健康診査受診者数（住民健診）

	稼働日数	受診者数	有所見者	
			人数	率（%）
福井市	2	140	70	50.0%
坂井市	33	3129	1361	43.5%
大野市	22	1548	662	42.8%
勝山市	0	0	0	0.0%
美浜町	0	0	0	0.0%
高浜町	0	0	0	0.0%
おおい町	0	0	0	0.0%
合計	57	4817	2093	43.5%

健康診査受診者（住民健診）の年次推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
福井市	112	133	134	145	140
坂井市	4,359	0	1840	2528	3129
大野市	2,176	1,686	1614	1594	1548
勝山市	0	0	877	945	0
美浜町	1,243	1,015	0	0	0
高浜町	1,243	1,092	0	0	0
おおい町	660	101	433	0	0
合計	9,793	4,027	4,898	5,212	4,817



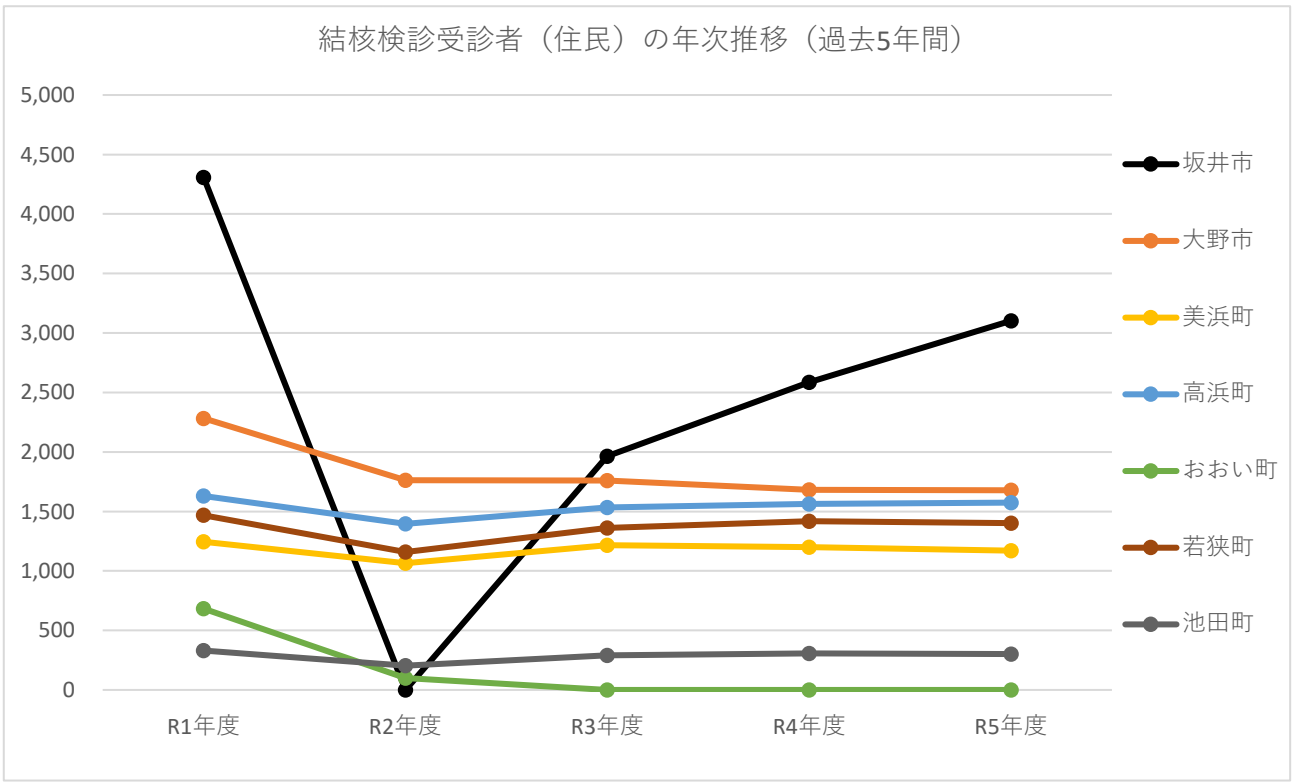
令和５年度の結核検診は６市町より受託し、延べ 101 日稼働、１日平均 91 人実施、受診者数 9,231 人（前年比 5%増）でした。

令和５年度結核検診（一般住民）結果表

	稼働日数	受診者数	有所見者	
			人数	率（%）
坂井市	33	3,103	362	11.7%
大野市	22	1,678	179	10.7%
美浜町	12	1,171	159	13.6%
高浜町	11	1,575	213	13.5%
おおい町	0	0		0.0%
若狭町	17	1,403	148	10.5%
池田町	6	301	48	15.9%
合計	101	9,231	1,109	12.0%

結核検診受診者（住民）の年次推移（過去5年間）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
坂井市	4,309	0	1,964	2,587	3,103
大野市	2,283	1,763	1,760	1,683	1,678
勝山市	0	0	0	0	0
美浜町	1,245	1,065	1,217	1,199	1,171
高浜町	1,630	1,396	1,534	1,563	1,575
おおい町	683	99	0	0	0
小浜市	0	0	0	0	0
若狭町	1,468	1,159	1,362	1,417	1,403
池田町	331	204	290	307	301
合計	11,949	5,686	8,127	8,756	9,231



が　ん　検　診

現在、わが国の死亡原因の第１位が、がんといわれています。しかし診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となってきています。
当協会では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんのがん検診を実施し、早期発見、早期治療の一助を担っております。

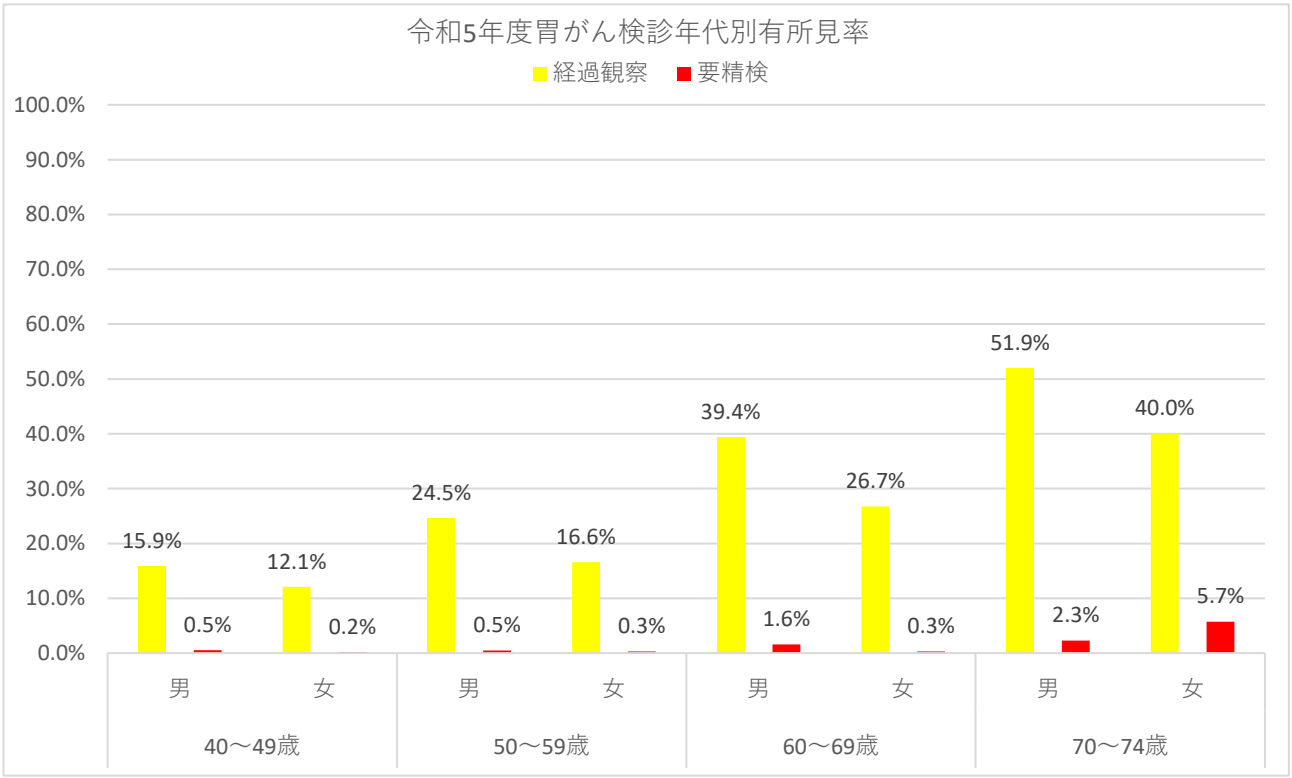
【胃がん検診】

胃がんは、胃粘膜に発生する悪性腫瘍のことです。胃部Ｘ線撮影や胃部内視鏡検査で早期発見が可能となりました。早期に発見し、適切な治療を行えば、５年生存率は約９割以上といわれています。なによりも早い段階で発見することが最も重要といわれています。

令和５年度胃がん検診受診状況は以下の通りです。

令和5年度胃がん検診結果

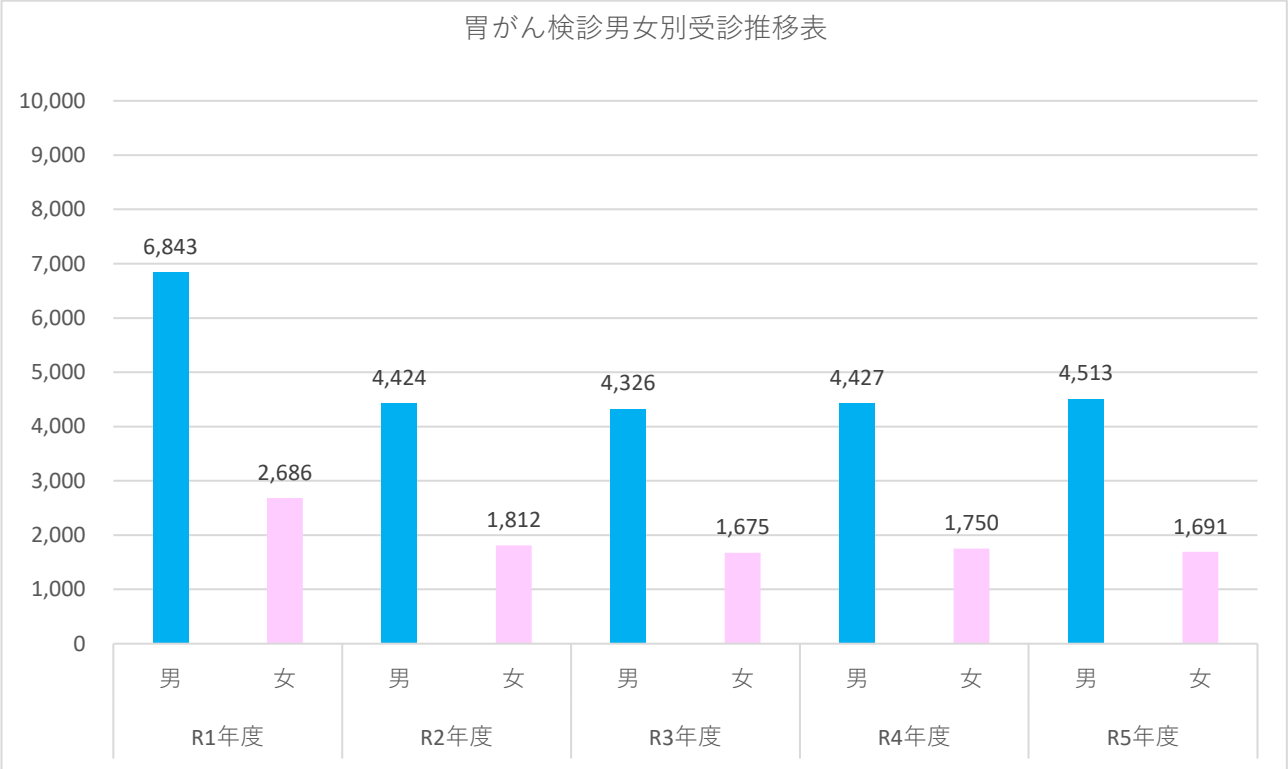
区分	性別	受診数	有所見者（経過観察）		要精検者	
			数	率	数	率
40～49歳	男	1689	268	15.9%	9	0.5%
	女	646	78	12.1%	1	0.2%
	計	2335	346	14.8%	10	0.4%
50～59歳	男	1690	414	24.5%	8	0.5%
	女	681	113	16.6%	2	0.3%
	計	2371	527	22.2%	10	0.4%
60～69歳	男	1001	394	39.4%	16	1.6%
	女	329	88	26.7%	1	0.3%
	計	1330	482	36.2%	17	1.3%
70～74歳	男	133	69	51.9%	3	2.3%
	女	35	14	40.0%	2	5.7%
	計	168	83	49.4%	5	3.0%
合計	男	4513	1145	25.4%	36	0.8%
	女	1691	293	17.3%	6	0.4%
	計	6204	1438	23.2%	42	0.7%



過去５年間の胃がん検診受診数推移及び緊急連絡によるがん発見数は以下の通りです。
尚、緊急連絡対象者の数は全受診者を対象に算出しております。

胃がん検診受診推移表

区分	性別	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
40～49歳	男	3,117	1,936	1,857	1,797	1,689
	女	1,178	783	731	673	646
	計	4,295	2,719	2,588	2,470	2,335
50～59歳	男	2,313	1,574	1,511	1,578	1,690
	女	1,101	701	646	708	681
	計	3,414	2,275	2,157	2,286	2,371
60～69歳	男	1,258	841	869	923	1,001
	女	370	300	268	326	329
	計	1,628	1,141	1,137	1,249	1,330
70～74歳	男	155	73	89	129	133
	女	37	28	30	43	35
	計	192	101	119	172	168
合計	男	6,843	4,424	4,326	4,427	4,513
	女	2,686	1,812	1,675	1,750	1,691
	計	9,529	6,236	6,001	6,177	6,204



緊急連絡対象者数

区分	緊急対象	ｶﾒﾗ生検	返書数	がん疑い
R1年度	127	16	29	2
R2年度	70	13	41	2
R3年度	42	6	25	0
R4年度	40	12	17	3
R5年度	43	3	22	1

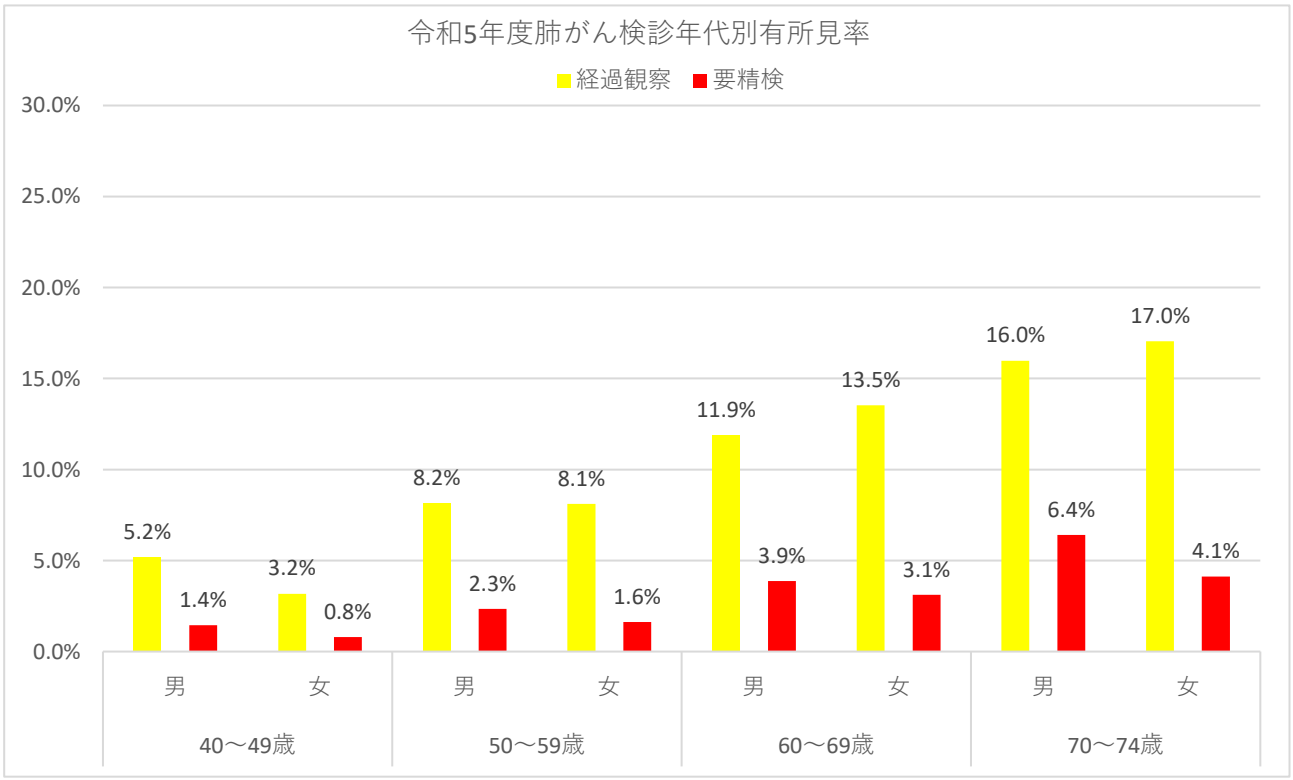
【肺がん検診】

肺がんは、日本人のがんによる死亡原因のトップであり、肺の気管、気管支、肺胞の一部の細胞ががん化したものです。肺がんの要因の多くは喫煙ですが、タバコを吸わない人でも周囲の煙を吸う受動喫煙により、発症のリスクが高まります。

令和５年度肺がん検診受診状況は以下の通りです。

令和5年度肺がん検診結果

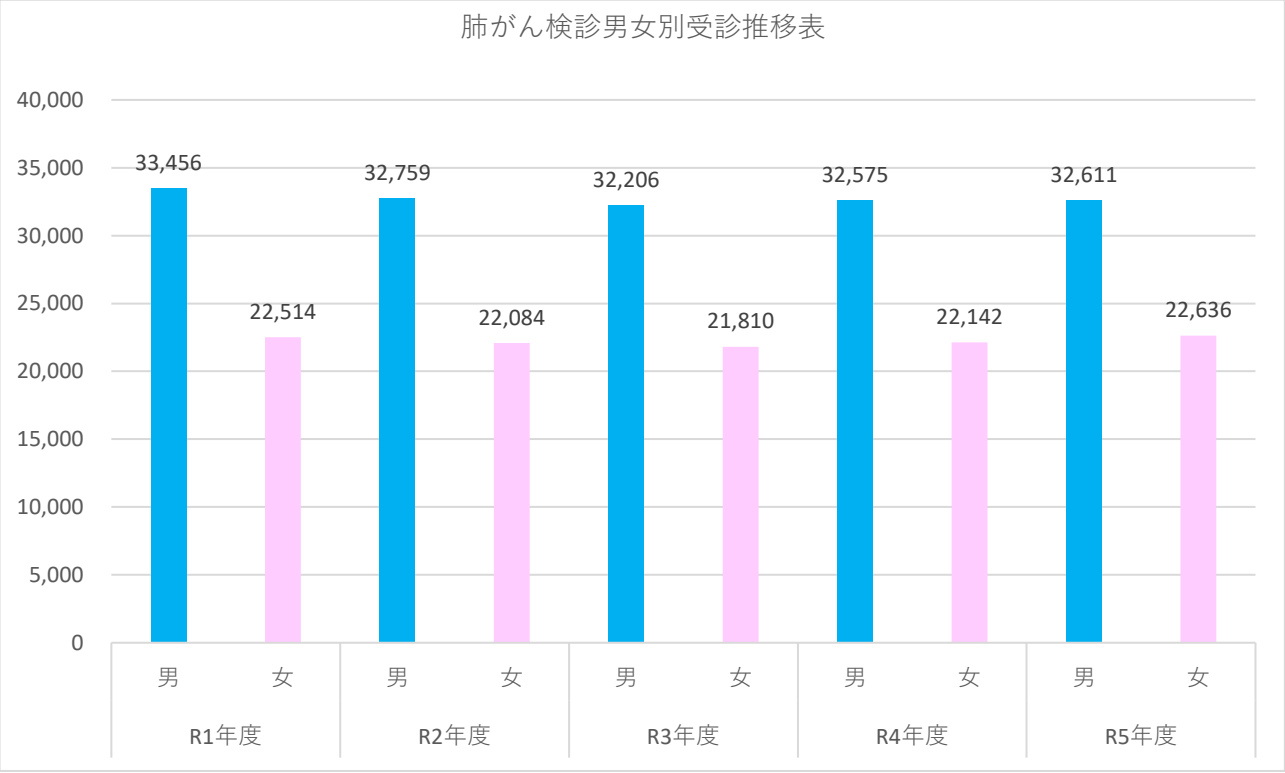
区分	性別	受診数	有所見者(経過観察)		要精検者	
			数	率	数	率
40～49歳	男	12,208	635	5.2%	177	1.4%
	女	8,313	264	3.2%	66	0.8%
	計	20,521	899	4.4%	243	1.2%
50～59歳	男	11,484	937	8.2%	269	2.3%
	女	8,399	681	8.1%	137	1.6%
	計	19,883	1,618	8.1%	406	2.0%
60～69歳	男	7,092	842	11.9%	275	3.9%
	女	4,880	660	13.5%	152	3.1%
	計	11,972	1,502	12.5%	427	3.6%
70～74歳	男	1,827	292	16.0%	117	6.4%
	女	1,044	178	17.0%	43	4.1%
	計	2,871	470	16.4%	160	5.6%
合計	男	32,611	2,706	8.3%	838	2.6%
	女	22,636	1,783	7.9%	398	1.8%
	計	55,247	4,489	8.1%	1236	2.2%



過去５年間の肺がん検診受診数推移及び緊急連絡によるがん発見数は以下の通りです。
尚、緊急連絡対象者の数は全受診者を対象に算出しております。

肺がん検診受診推移表

区分	性別	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
40～49歳	男	13,735	13,531	13,392	12,711	12,208
	女	9,066	8,917	8,777	8,469	8,313
	計	22,801	22,448	22,169	21,180	20,521
50～59歳	男	10,376	10,464	10,403	11,169	11,484
	女	7,388	7,361	7,440	8,060	8,399
	計	17,764	17,825	17,843	19,229	19,883
60～69歳	男	7,514	6,850	6,585	6,858	7,092
	女	4,824	4,531	4,352	4,557	4,880
	計	12,338	11,381	10,937	11,415	11,972
70～74歳	男	1,831	1,914	1,826	1,837	1,827
	女	1,236	1,275	1,241	1,056	1,044
	計	3,067	3,189	3,067	2,893	2,871
合計	男	33,456	32,759	32,206	32,575	32,611
	女	22,514	22,084	21,810	22,142	22,636
	計	55,970	54,843	54,016	54,717	55,247



肺がん検診緊急連絡対象者数

区分	緊急対象	返書数	がん疑い
R1年度	1043	678	33
R2年度	725	458	21
R3年度	732	463	18
R4年度	890	557	19
R5年度	1004	628	18

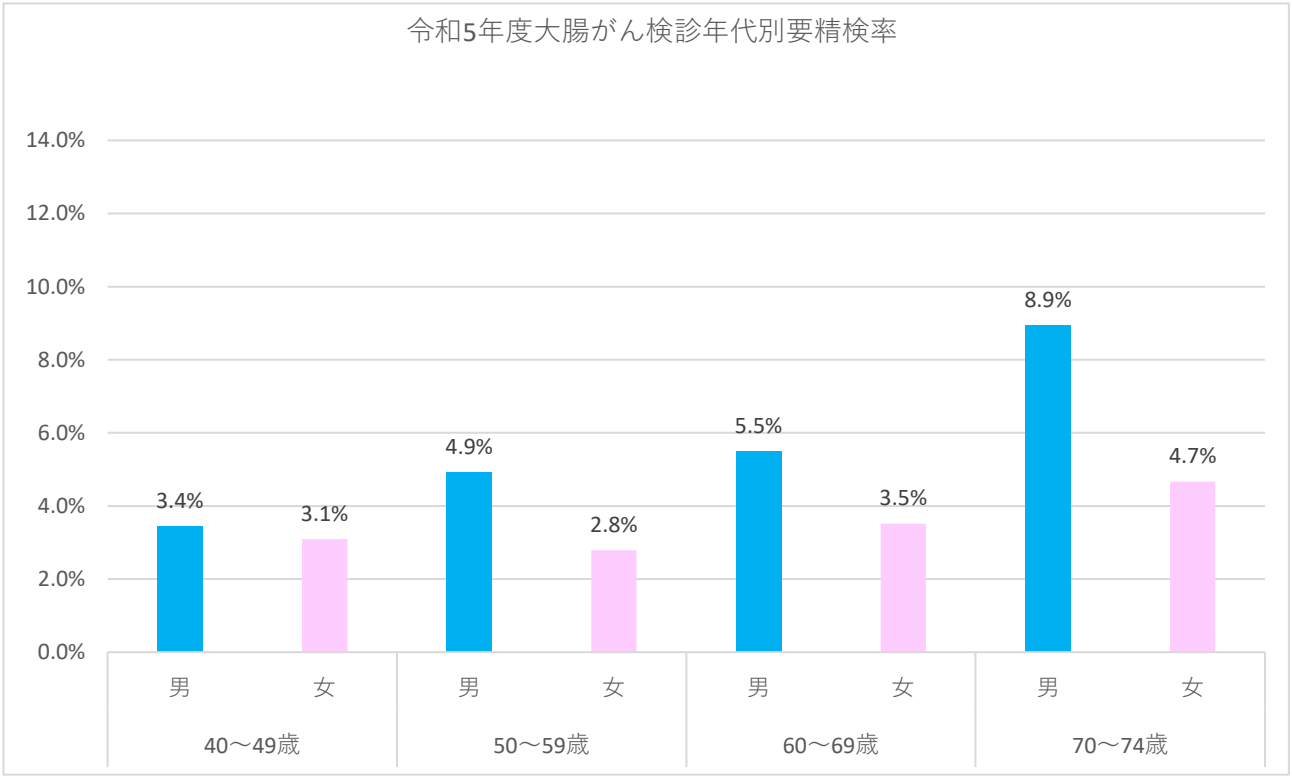
【大腸がん検診】

大腸がんは、大腸（結腸・直腸・肛門）に発生するがんで、ポリープががん化するものと、粘膜の細胞が変異してがん化するものがあります。日本人の大腸がんは 70%がS状結腸と直腸にがんが発生するといわれています。

令和５年度大腸がん検診受診状況は以下の通りです。

令和5年度大腸がん検診結果

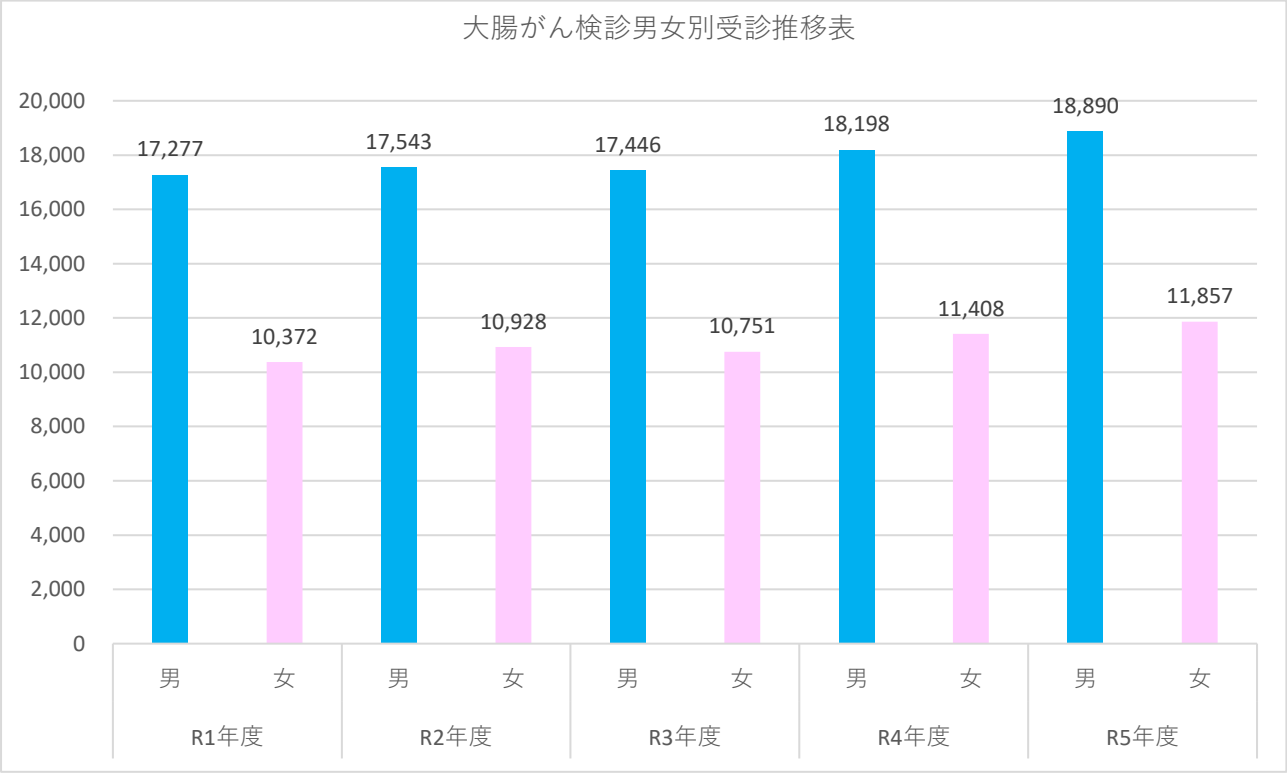
区分	性別	受診数	要精検者	
			数	率
40～49歳	男	6,916	238	3.4%
	女	4,204	130	3.1%
	計	11,120	368	3.3%
50～59歳	男	6,663	327	4.9%
	女	4,621	129	2.8%
	計	11,284	456	4.0%
60～69歳	男	4,303	236	5.5%
	女	2,560	90	3.5%
	計	6,863	326	4.8%
70～74歳	男	1,008	90	8.9%
	女	472	22	4.7%
	計	1,480	112	7.6%
合計	男	18,890	891	4.7%
	女	11,857	371	3.1%
	計	30,747	1,262	4.1%



過去５年間の大腸がん検診受診数推移及び緊急連絡によるがん発見数は以下の通りです。
尚、緊急連絡対象者の数は全受診者を対象に算出しております。

大腸がん検診受診推移表

区分	性別	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
40～49歳	男	7,293	7,080	6,986	6,864	6,916
	女	4,386	4,431	4,194	4,185	4,204
	計	11,679	11,511	11,180	11,049	11,120
50～59歳	男	5,772	5,852	5,844	6,302	6,663
	女	3,926	4,032	4,046	4,372	4,621
	計	9,698	9,884	9,890	10,674	11,284
60～69歳	男	3,657	3,789	3,750	4,041	4,303
	女	1,847	2,103	2,132	2,382	2,560
	計	5,504	5,892	5,882	6,423	6,863
70～74歳	男	555	822	866	991	1,008
	女	213	362	379	469	472
	計	768	1,184	1,245	1,460	1,480
合計	男	17,277	17,543	17,446	18,198	18,890
	女	10,372	10,928	10,751	11,408	11,857
	計	27,649	28,471	28,197	29,606	30,747



大腸がん検診緊急連絡対象者数

区分	緊急対象	返書数	大腸がん
R1年度	1377	493	17
R2年度	1271	518	18
R3年度	1174	391	14
R4年度	1509	398	21
R5年度	1581	448	16

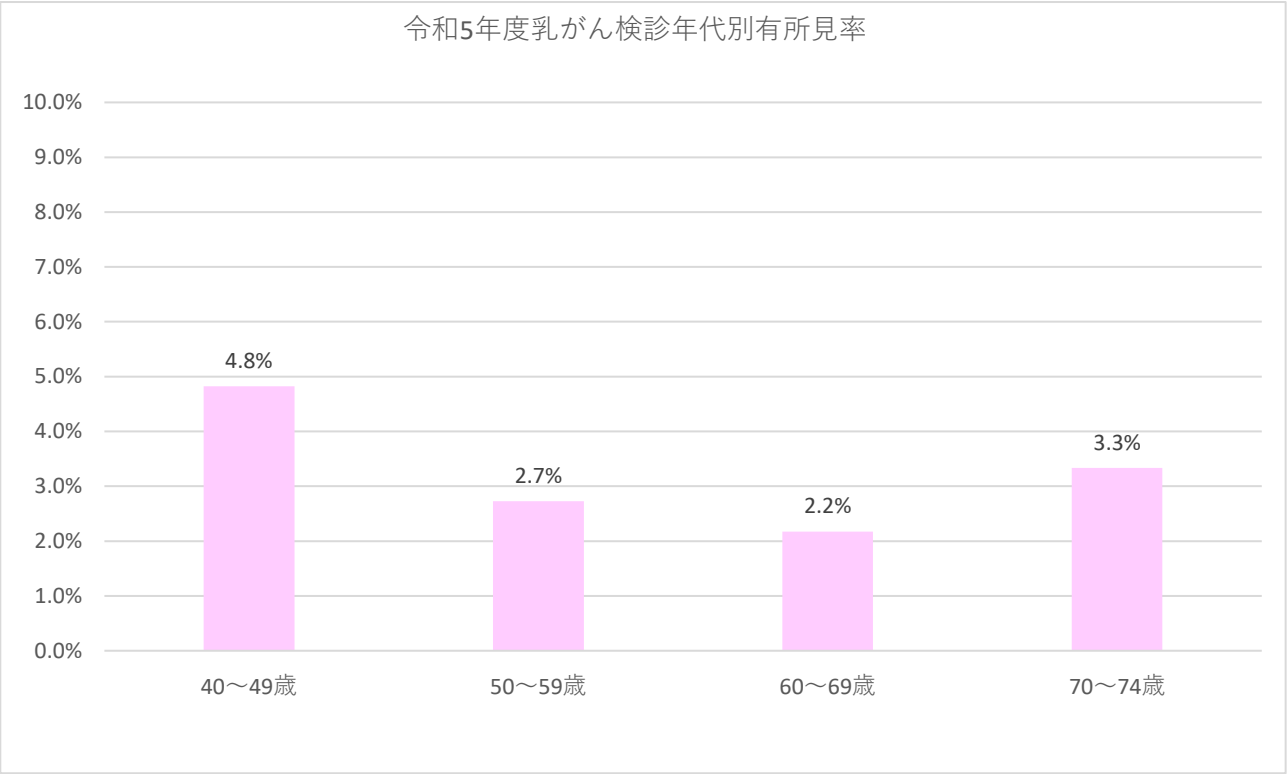
【乳がん検診】

乳がんは乳腺の組織にできるがんで、乳管・乳腺小葉から発生します。早期発見の場合 90%以上は完治すると言われていますが、乳がんが進行すると、リンパ節や骨、肝臓などの臓器に転移し命を脅かすことになります。

令和５年度乳がん検診受診状況は以下の通りです。

令和5年度乳がん検診結果

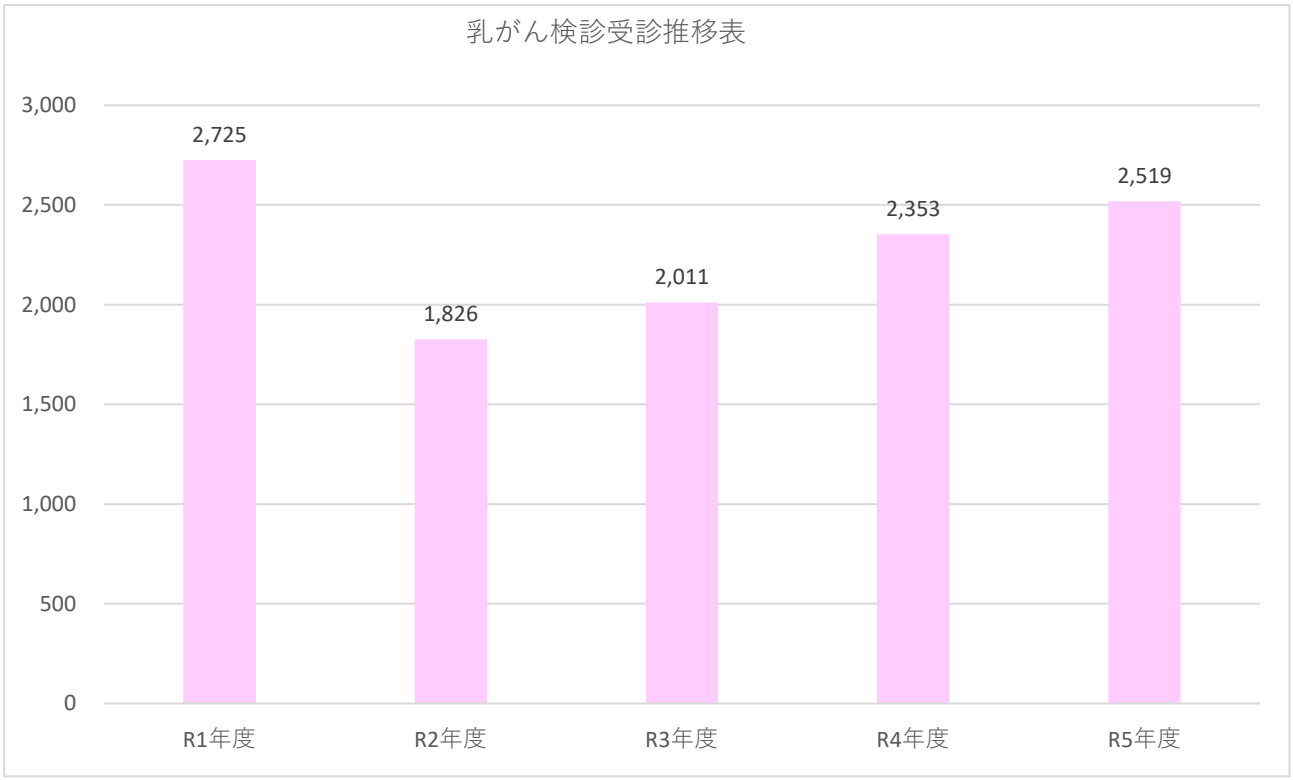
区分	受診数	有所見者	
		数	率
40～49歳	1,037	50	4.8%
50～59歳	1,100	30	2.7%
60～69歳	322	7	2.2%
70～74歳	60	2	3.3%
合計	2,519	89	3.5%



過去５年間の乳がん検診受診数推移及び緊急連絡によるがん発見数は以下の通りです。
尚、緊急連絡対象者の数は全受診者を対象に算出しております。

乳がん検診受診推移表

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
40～49歳	1,323	884	934	938	1,037
50～59歳	1,000	687	785	1,021	1,100
60～69歳	352	231	247	346	322
70～74歳	50	24	45	48	60
合計	2,725	1,826	2,011	2,353	2,519



マンモグラフィー緊急連絡

区分	緊急対象	返書数	がん疑い
R1年度	43	35	6
R2年度	58	47	6
R3年度	45	33	1
R4年度	70	64	14
R5年度	60	46	7

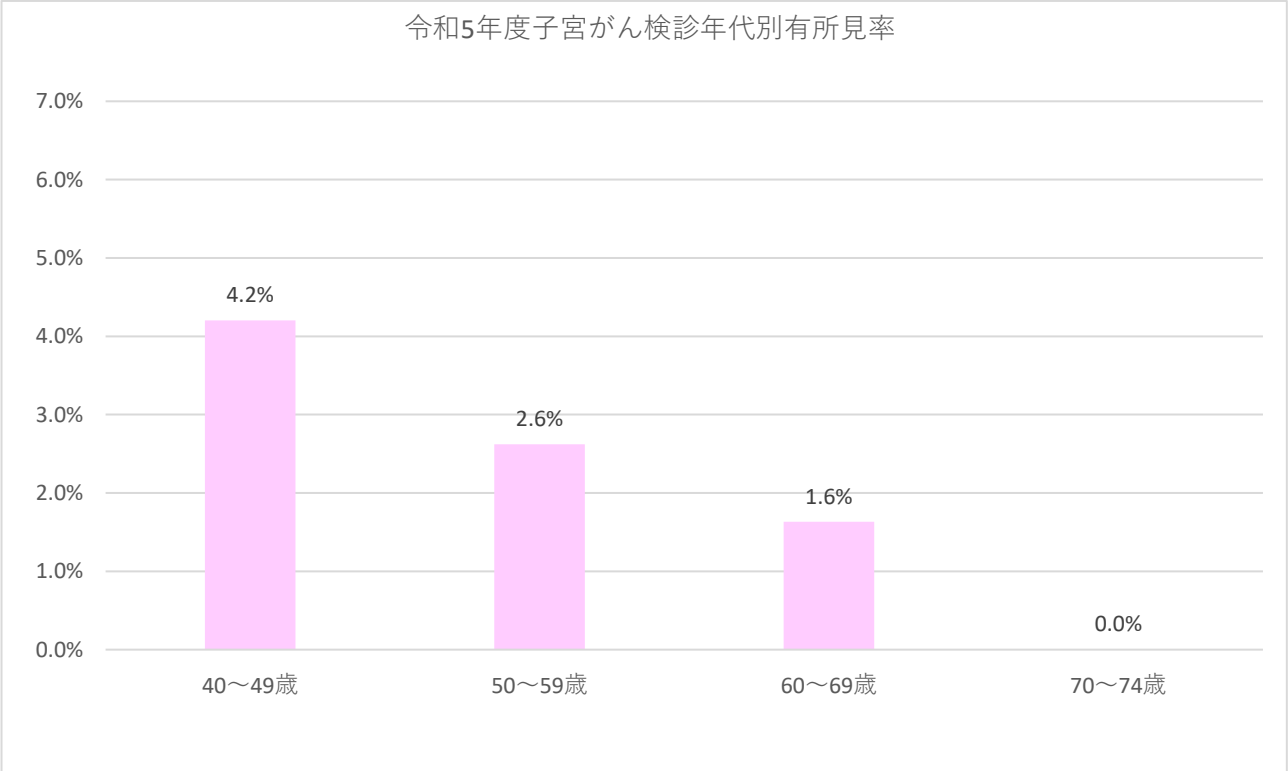
【子宮がん検診】

子宮がんは、子宮の入り口にできる子宮頸がんと子宮の奥にできる子宮体がんに分類されます。子宮頸がんは検査がしやすく、発見されやすいがんで、早期に発見すれば治療しやすいがんですが、進行すると骨盤やリンパ節を通り肺などにも転移します。早期発見が極めて重要です。

令和５年度子宮がん検診受診状況は以下の通りです。

令和5年度子宮がん検診結果

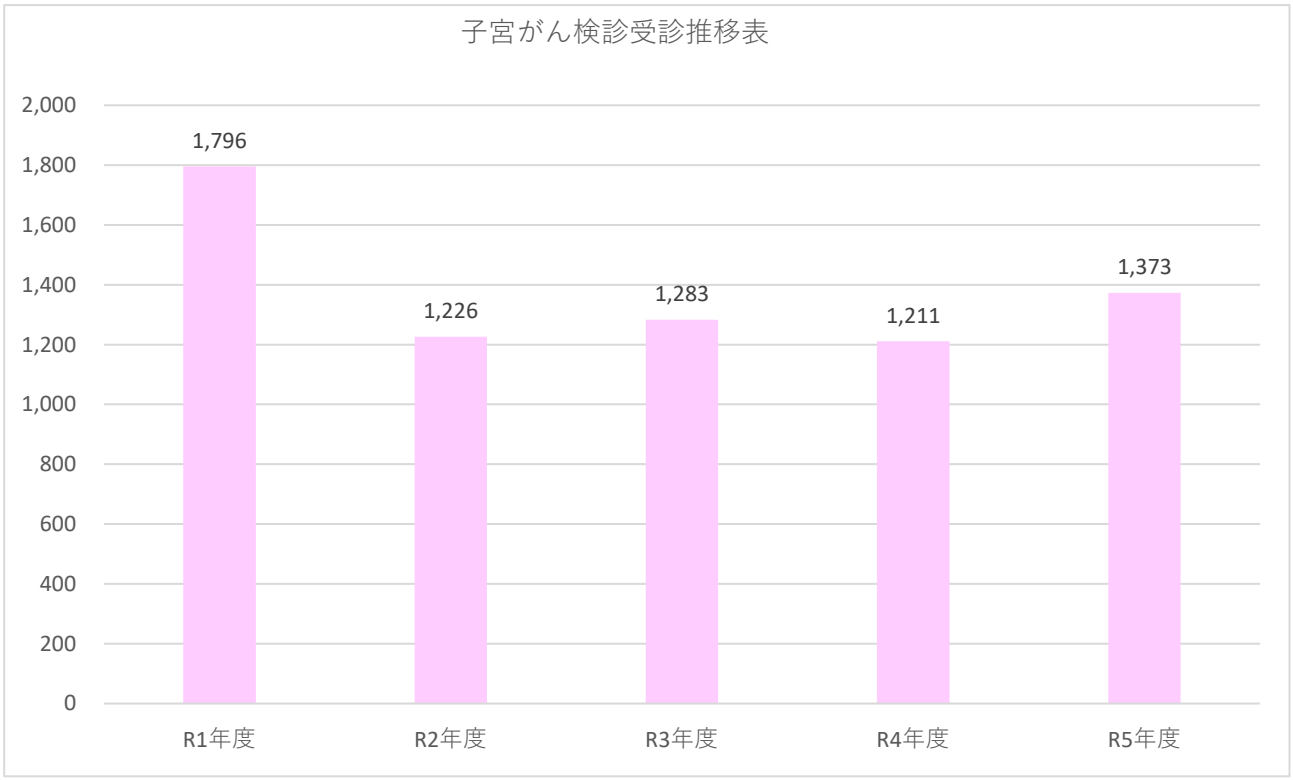
区分	受診数	有所見者	
		数	率
40～49歳	595	25	4.2%
50～59歳	572	15	2.6%
60～69歳	184	3	1.6%
70～74歳	22	0	0.0%
合計	1,373	43	3.1%



過去５年間の子宮がん検診受診数推移及び緊急連絡によるがん発見数は以下の通りです。
尚、緊急連絡対象者の数は全受診者を対象に算出しております。

子宮がん検診受診推移表

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
40～49歳	892	580	606	489	595
50～59歳	712	486	511	523	572
60～69歳	178	144	146	181	184
70～74歳	14	16	20	18	22
合計	1,796	1,226	1,283	1,211	1,373



子宮がん検診緊急連絡対象者数

区分	緊急対象	返書数	がん疑い
R1年度	57	6	0
R2年度	80	26	4
R3年度	86	41	3
R4年度	123	55	4
R5年度	65	33	5

※がんの人数はCIN３　子宮頸部腺がん　高度異形成　上皮内がんなどで要治療となっている数を数えています。
※令和元年度までは人間ドック受診者のみを対象としていましたが、令和２年度より一般健診受診者でも子宮がん検診の精密検査案内をだすようになったため、返書数が増えています。

公益財団法人　福井県予防医学協会
第 49 号　令和 5 年度
公益財団法人福井県予防医学協会　事業活動報告
（非売品）
発　行　日　　令和 7 年 9 月 1 日
発　行　人　　理 事 長　　嶋　崎　　元　博
編集・製作　　総務部及び関係各部署
発　行　所　　公益財団法人　福井県予防医学協会
〒918 - 8238
福井市和田 2 丁目 1006 番地
TEL（0776）23-4810
FAX（0776）23-4876
E-mail　info@fukui-yobou.or.jp
URL https://www.fukui-yobou.or.jp